

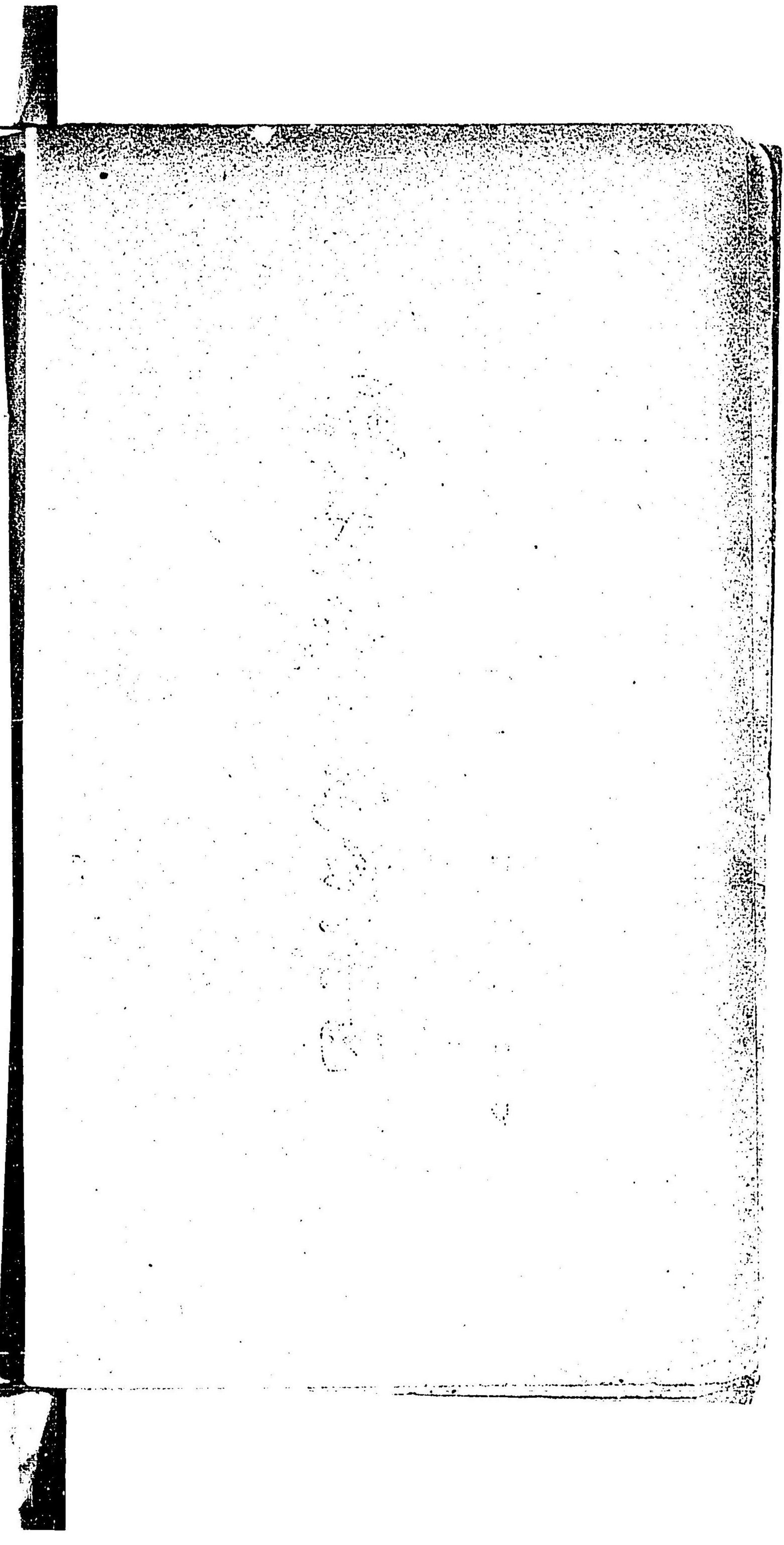
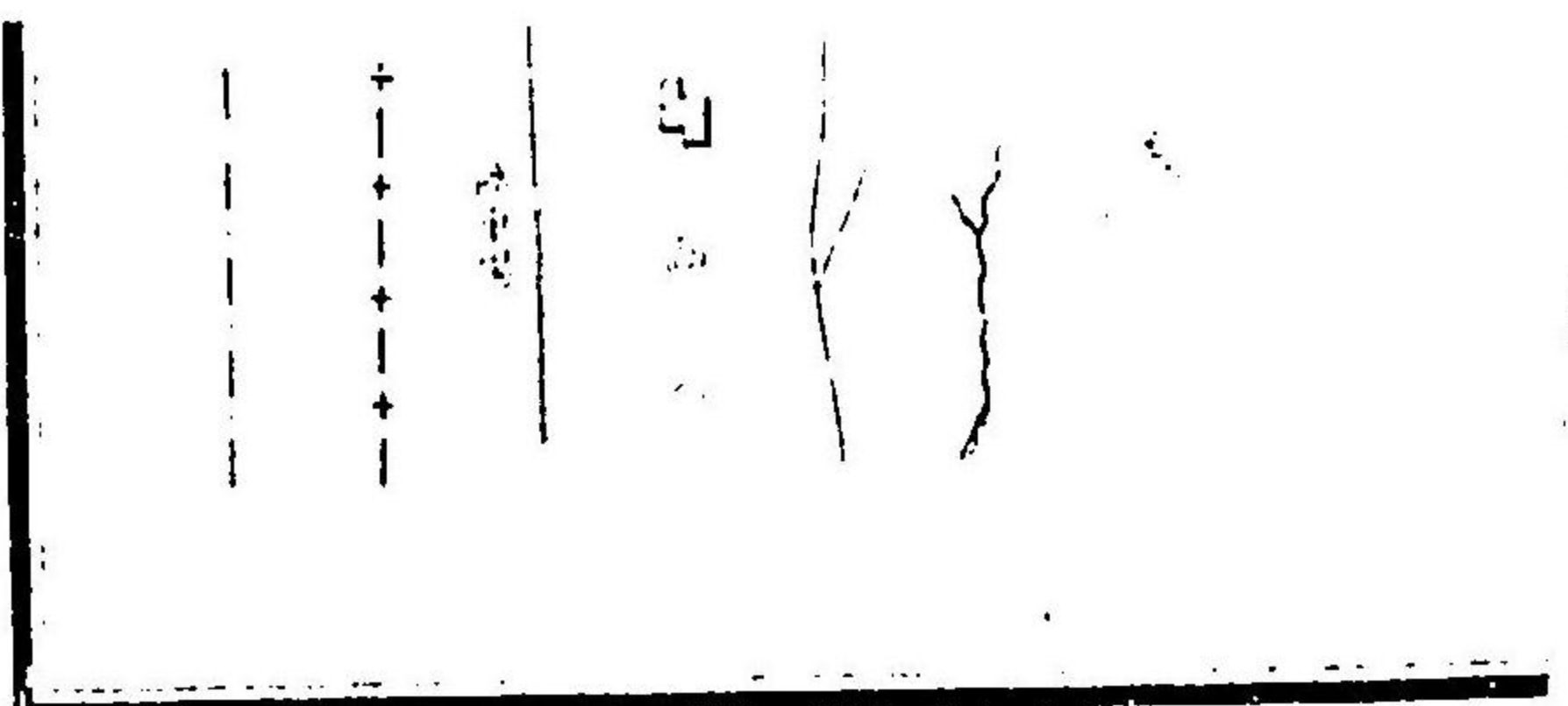
韓國法政學

韓國鐵道沿革案內

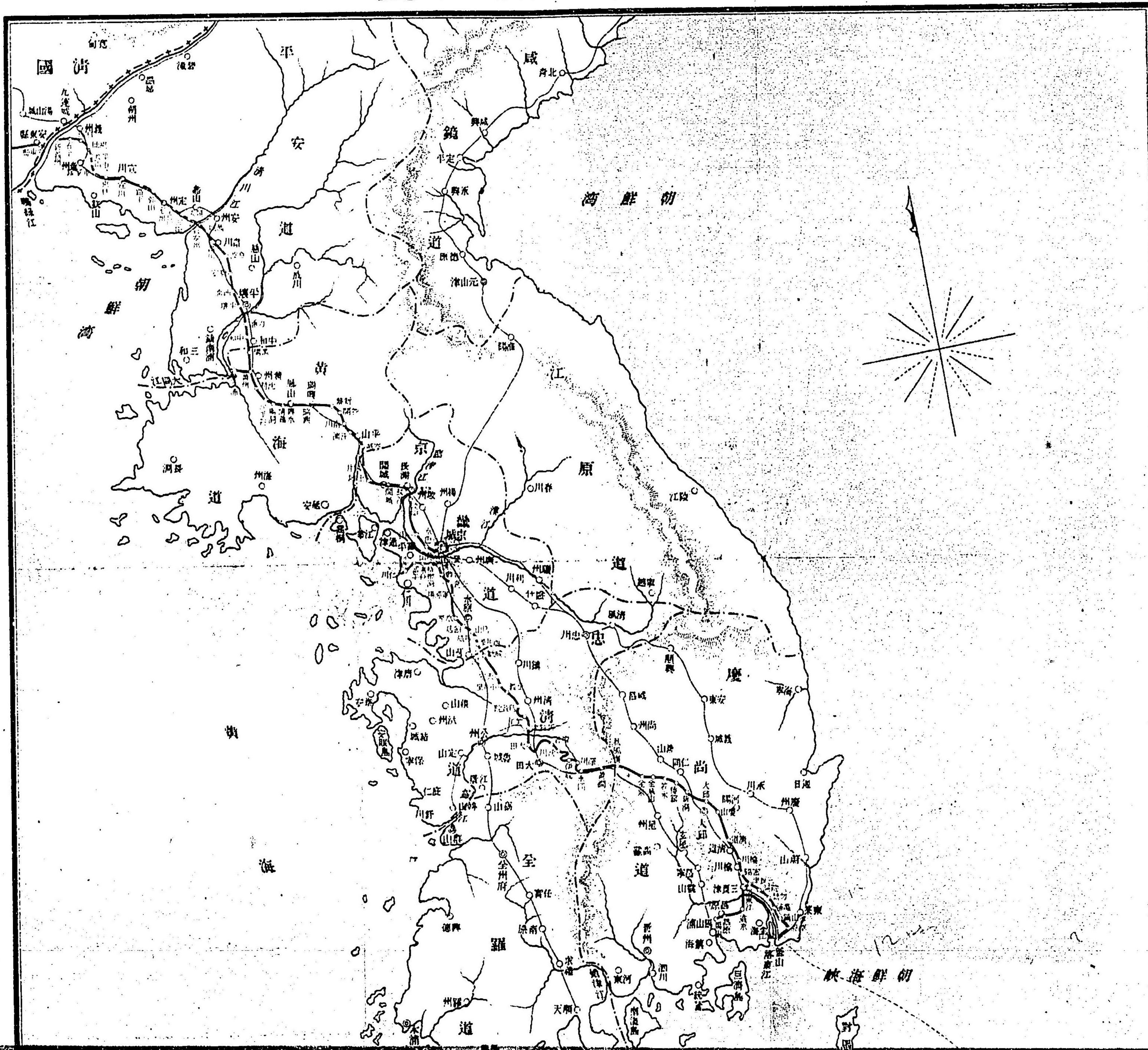
統監府鐵道管理局

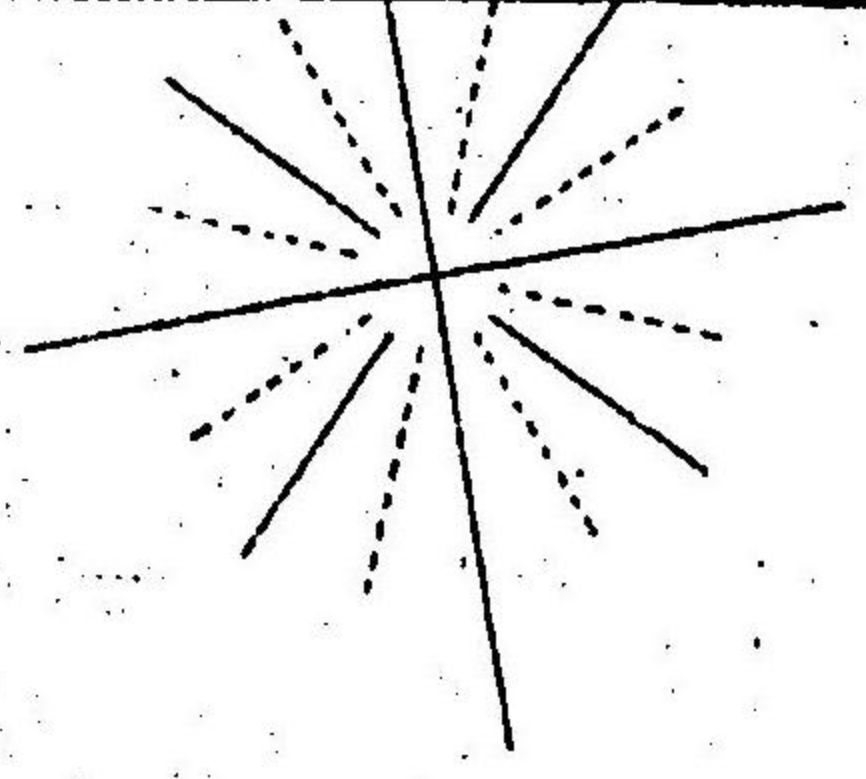
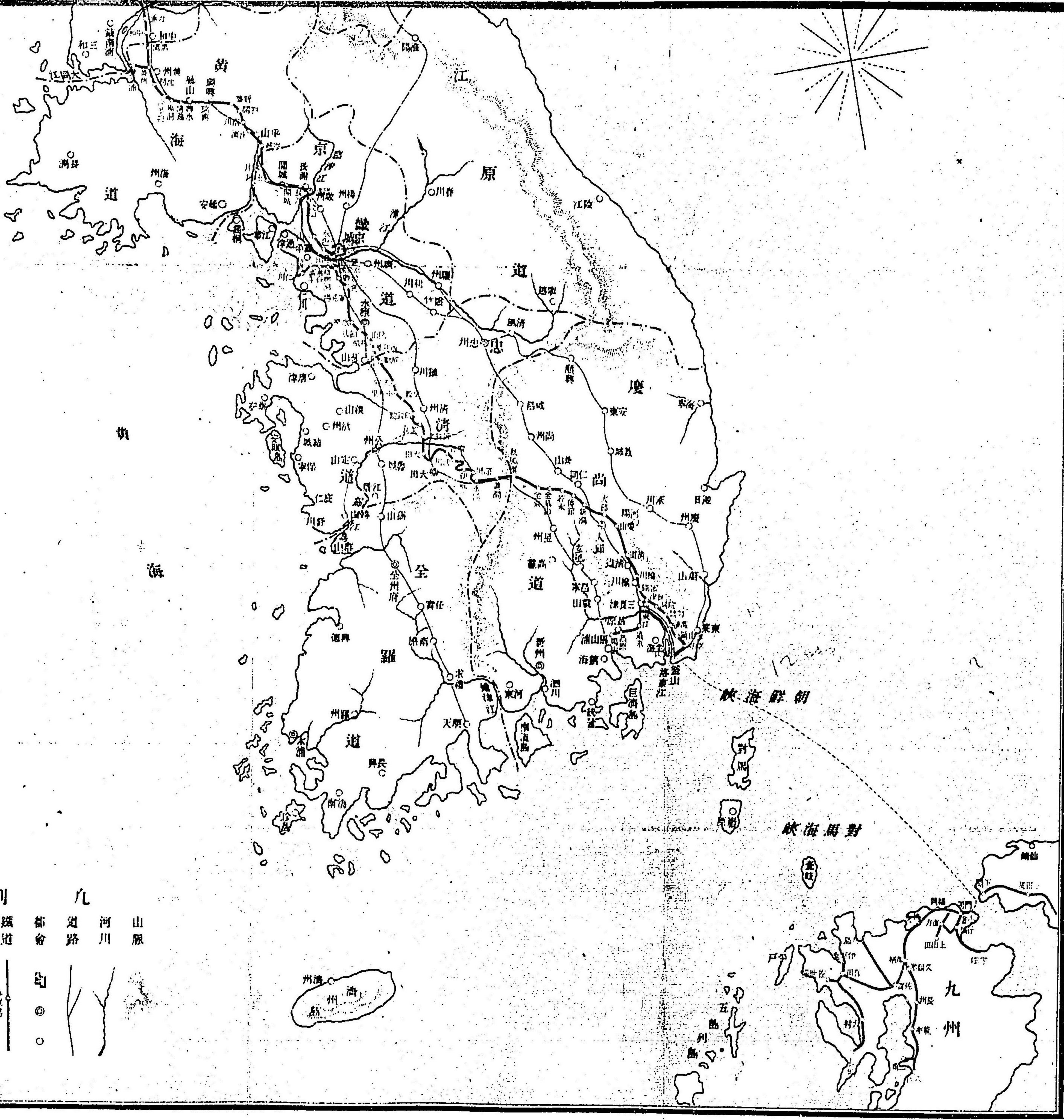
統監府鐵道管理局 發行





韓國鐵道路線圖





例

道界	國境	鐵道	都會	山路	河川	山脈
---	+	—+—+—	◎	○	—	—
		伴取地				

はしがき

此の案内書は公務の餘暇掛員をして編纂せしめたるものにて材料は従來の案内書又は各驛長の報告等に依りたるも元來韓國には各地の戸數人口又は沿革等に付確實なる材料を得るに困難なるのみならず一定の期間迄に出來せしむる必要上短時日の裡に稿を了りたるものなれば多少杜撰の餘無きに非ざるべし之等は他日適當に訂補し完成せしむる筈なり幸に之を諒せられ御氣付の塵は可成注意を與へられん事を希望す

637/43

(1)

韓國鐵道線路案內目次

京釜線ノ部

釜山驛

貿易○漁業○龍頭山○龍尾山○絕影島○東萊○官衙○會社○寺院○學校○
旅館○料理店○人力車賃金表○通信

草梁驛

津江成大君招魂碑○官衙○會社○學校○旅館○料理店○待合

釜山鎮驛

鎮城○小四城趾○永嘉臺○東萊府○梵魚寺○釜山水原地○官衙○學校

龜浦驛

金海○洛東江○瀑布○孤浦川鐵道橋

勿禁驛

通度寺○新酒幕隧道

院洞驛……………四
 龍山○鶴院關隧道○院洞川鐵道橋梁
 三浪津驛……………五
 鶴院關○無月山隧道○青龍山隧道○官衙○學校
 密陽驛……………七
 嶺南樓○第一月淵隧道○第二月淵隧道○第一防川隧道○第二防川隧道○密陽江鐵道橋梁○官衙○學校○旅館○料理店
 榆川驛……………九
 嶺川寺○榆川川○榆川隧道○第一隱谷隧道○第二隱谷隧道○榆川江鐵道橋梁○第一龍水川鐵道橋梁○官衙○學校
 清道驛……………一〇
 清道城○藥水瀧○文廟○官衙○學校○旅館○料理店○省規隧道○河圖隧道○清道川鐵道橋梁
 慶山驛……………三
 慶興寺○孤山齊齋○琴湖江○聖岩○新川鐵道橋梁

大邱驛……………三
 市口○重ナル取引物品種類○農商工業狀況○遠城公園○八公山○孔子廟○秋歸亭○七星石○慶州○迎日海○官衙○會社○學校○旅館○料理店
 新洞驛……………六
 倭館驛……………元
 磨城山○仁同府○梅院○星州○第一倭館隧道○第二倭館隧道○洛東江鐵道橋梁
 若木驛……………三
 金鳥山驛……………三
 金鳥山
 金泉驛……………三
 直指寺事蹟碑○官衙○旅館○南田川鐵道橋梁
 秋風嶺驛……………四
 德大山○限智賢碑○陶器製造坑
 黃澗驛……………五

寒泉八景○校村○官街○學校○黃洞隧道

永同驛

落花臺○覺溪隧道○第二永同川鐵道橋梁○第一永同川鐵道橋梁○深川鐵道橋梁○官街○學校○旅館○料理店

深川驛

玉吉瀑布○錦江○第二錦江鐵道橋梁

伊院驛

寧國寺○官街○龜下隧道

沃川驛

龍岩寺○二止堂○摩尼山城○陽山○俗離山○俗離寺○官街○沃川鐵道橋梁

增若驛

第三增若隧道○第二增若隧道○第一增若隧道○九丁里隧道

大田驛

柳城溫泉○萬龍寺○鐵釜○恩津湖勸○官街○會社○旅館

新灘津驛

古城趾○立岩○馬尾浦川鐵道橋梁○英江隧道

英江驛

芙蓉山○獨樂亭○廣竹岩○懸寺○公州○江景○旅館○尾湖川鐵道橋梁

烏致院驛

濟州及道憲事蹟碑○鴨脚樹○蔚山城○落影山○華陽洞○官街○學校○旅館○料理店○城谷隧道

全義驛

小井里驛

廣德寺

天安驛

溫陽溫泉○湯元溫陽館○割引乘車券○成佛寺○官街

成歡驛

月峰山○安城渡○稷田○官街○安城川鐵道橋梁

平澤驛

五

五

五

五

五

五

五

四

四

四

四

五

三

古戰場○安村○屯浦○官街○會社○旅館

西井里驛

振威驛

烏山驛

餅店驛

洗馬蓬○寶積寺

水原驛

龍華殿○華城將軍○華陽樓○文廟○未老閣亭○屏岩湖水○華城行宮○洛南軒華○寧殿○講武堂○七間水○訪華園柳亭○龍淵○探武臺○梅香橋○九間水○龜山○奉寧寺○普蓮庵○白雲寺○水原八景○勸業模範場○農林學校○農商工部林業科種苗園○官街○學校○會社○驛ヨリ各所ニ至ル里程○旅館○料理店

軍浦場驛

運々森

安養驛

始興驛

冠山○官街

永登浦驛

官街○學校○會社○旅館

鰲梁津驛

漢江○南漢山○三春寺○月波亭○四忠書院○第二漢江鐵道橋梁○第一漢江鐵道橋梁○官街

龍山驛

麻浦○孔德里大院君舊陵○萬里介○銅雀津○龍津○官街○會社○學校○寺院○旅館○料理店○人力車賃金表○電車鐵道

南大門驛

西大門驛

昌慶宮○昌德宮○景福宮○慶熙宮○慶運宮○大理石十三層塔○龜碑○公園○普信閣○萬歲門○訓練院○東廟○北廟○女廟○獎忠壇○清涼里○角山○北漢山城○大古寺○文珠庵○僧伽寺○天然亭○獨立門及獨立館○碧

帝館○石波亭○洗心亭○鴻峯城○濟川亭○梨泰院○南廟○侍衛聯隊跡○國
丘壇○倭城臺○南山○官街○學校○病院○銀行○會社○新聞社○旅館○料
理店○劇場○人力車賃金表○電車鐵道○同上賃金表

梧柳洞驛

二〇

素砂驛

二〇

富平驛

二〇

紐峴驛

二〇

桃山公園○觀湖所

仁川驛

二二

日本公園○月尾島○永宗島○江華島○鼎足山○官街○會社○學校○病院○
神社佛閣○旅館○料理店

洛東江驛

二六

洛東江鐵道橋梁○馬沙陸道○官街

進永驛

二九

村井農場○官街○旅館

昌原驛

三〇

近殊城趾○孔子廟○板峰○官街○學校○會社○旅館○料理店

馬山驛

三三

鎮海灣○月影臺○狹島○近衛丘○匡山寺○龜山鎮○加助島○熊寺○仙人窟
○馬山城趾○蒙古井戸○官街○會社○旅館○料理店

京義線ノ部

水色驛

一

湖芝島○城山里川鐵道橋梁○中里洞川鐵道橋梁○加羅山川鐵道橋梁

一山驛

一

高梁山城○金城里川鐵道橋梁○慈岩里川鐵道橋梁

汝山驛

三

太平山寺○坡州郡大德里○汝山陸道

臨津江驛

四

臨津鎮○臨津江○臨津江鐵道假橋梁

長湍驛.....五
 德敬山○馬尾川鐵道橋梁
 開城驛.....六
 朴淵瀑布○紫霞堂○扶山洞○彩霞洞○新川嶺○善竹橋○敬德宮○杜門洞○
 鄭步周邸○南門樓○觀德亭○君子亭○高麗太祖顯陵○高麗王廟○成均館○關帝
 廟○穆清殿○壽昌宮○不列峴○太平館○教竹○宗教○商工業○風俗中特展
 とするもの○官衙○會社○旅館○交通○開城隧道
 土城驛.....四
 高麗王墳墓○土城○乾川鐵道橋梁
 鷄井驛.....五
 春石閣○長位川鐵道橋梁
 岑城驛.....五
 岑城勝閣○温井院温泉○金陵館○忠烈峴○舞臺山○龍津江鐵道橋梁
 汗浦驛.....七
 龍津江○太白山城趾

南川驛.....八
 第三附川鐵道橋梁○寒秀洞隧道○第四附川鐵道橋梁
 物開驛.....八
 雙橋川鐵道橋梁○車輪嶺隧道
 新幕驛.....九
 旅館○坪松川鐵道橋梁
 瑞興驛.....九
 興水院隧道○興水川鐵道橋梁○官衙
 興水驛.....一〇
 掃露寺○劔水川鐵道橋梁○花溪川鐵道橋梁
 清溪驛.....二
 山水院川鐵道橋梁
 馬洞驛.....二
 第一鳳山川鐵道橋梁
 砂里院驛.....三

鼓岩寺○瓜山○載寧○信川○官衙○旅館○料理店○沙洞川鐵道橋梁

沈村驛.....二四

正方山○第一黃州川鐵道橋梁○第二黃州川鐵道橋梁

黃州驛.....二五

黃州川○黃州城○官衙○會社○旅館○後江川鐵道橋梁○白石川鐵道橋梁

兼二浦驛.....二六

黑橋驛.....二七

中和驛道

中和驛.....二七

朱泉亭○黑洞○眞泉○官衙○萬里江鐵道橋梁

力浦驛.....二九

永濟江鐵道橋梁○第一大同江鐵道橋梁○第二大同江鐵道橋梁

平壤驛.....三〇

大同江○大同門○練光亭○大同館○船橋里○牡丹臺○乙密臺○浮碧樓○箕子陵○豐慶宮○京義線創設紀念碑○箕子の井○萬景臺○平壤八景○鎮南浦

○官衙○旅館○料理店○人力車賃金表○人車鐵道○通信

西浦驛.....三六

遼德山○烽火山○第一普通江鐵道橋梁○第二普通江鐵道橋梁

順安驛.....三六

官衙○龍三里川鐵道橋梁○山城川鐵道橋梁

漁波驛.....三九

漁波驛道○古川鐵道橋梁○順川江鐵道橋梁

肅川驛.....四〇

五龍洞○神堂山○堂山

萬城驛.....四一

新安州驛.....四一

安州城○百祥樓○日露戰爭紀念碑○官衙○旅館○料理店○雲山金礦○附近に於ける著名地及里程○清川江鐵道橋梁○大寧江鐵道橋梁

敬美驛.....四二

博川○旅館

雲田驛.....五

何日里浦

古邑驛.....六

五山隧道○大吹川鐵道橋梁○稻尾浦川鐵道橋梁○狹島川鐵道橋梁○同邊谷鐵道橋梁

定州驛.....七

御筆聖蹟碑○附聖紀蹟碑○鮎川橋○忠魂碑○孔廟並朱熹廟○新安館○將臺改築紀念碑○官衙○學校○寺院○旅館○料理店○五龍浦川鐵道橋梁○鷺取川鐵道橋梁○東橋浦川鐵道橋梁○郭山隧道

郭山驛.....五

郭山川鐵道橋梁○五軒川鐵道橋梁○好岩里川鐵道橋梁○東瀨江鐵道橋梁○石橋川鐵道橋梁

路下驛.....五

第一龍洞江鐵道橋梁○第二龍洞江鐵道橋梁○宜川隧道

宜川驛.....五

官衙○旅館○第一東江鐵道橋梁○第二東江鐵道橋梁○第三東江鐵道橋梁
東林驛.....五

清江川○金山○東林鎮城趾○東林瀑布○清江川鐵道橋梁

車籠館驛.....五

梨花浦○官衙○旅館

南市驛.....五

龍骨山○四林鎮古城趾

良策驛.....五

真策館

祇觀驛.....七

龜嶺山○龜嶺隧道○三橋川鐵道橋梁

白馬驛.....七

白馬山城○統軍亭○三橋川○白馬隧道

石下驛.....五

第一第二第三第四鴨綠江邊溪鐵道橋梁

新義州驛

安東縣の義州府○惠山鎮○龍岩浦○官衙○會社○旅館○料理店○鐵道交匯

韓國鐵道線路案内目次終

線路の狀態及沿革

現今當局所管の營業線路は總延長六百三十七哩九分にして京釜、京義及馬山の三線に區分す

京釜線は釜山より大邱、大田を過ぎて西大門に至る幹線に永登浦より分岐して仁川に至る支線を併せたるもの、京義線は京釜線龍山を基點とし開城、平壤を経て新義州に至る幹線に黃州より分岐して兼二浦に至る支線を併せたるものを云ひ又京釜線三浪津より分岐して馬山に至るものを馬山線と稱す、而して京釜及京義の二大幹線は韓國の南北端を縦貫し南は釜山に於て下關間の定期連絡船に依り日本内地との交通を容易ならしめ、北は新義州より當局經營に係る鴨綠江上

の連絡によりて對岸清國安東縣より安奉鐵道線を経て大陸鐵道に接續し支線は仁川、馬山、兼二浦等主要なる港灣又は河口に出で、海外諸港間に發著する客貨を吞吐し實に世界的交通の主要線路なり、左に項を別て其沿革を略述すべし

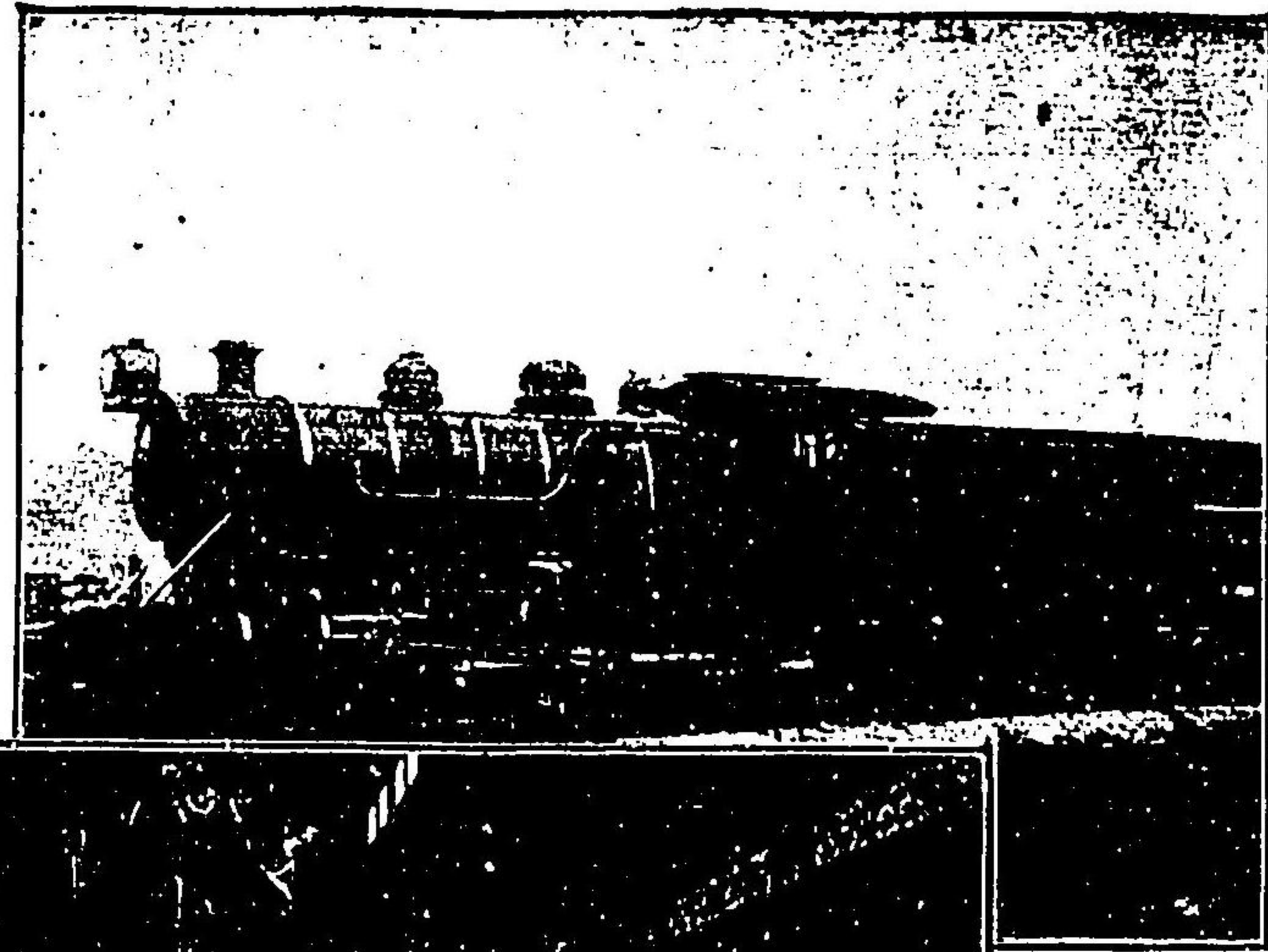
京釜線 全線二九四哩三分にして草梁、永登浦間(二六七哩六分)は明治廿七年八月日韓兩國間に協定せられたる暫定條約及三十一年九月締結の京釜鐵道合同條約及三十三年九月發布の法律及勅令により三十四年六月元京釜鐵道株式會社に於て之を創設し同年八月工を起し三十七年十一月全線を開通し翌三十八年一月一日より運輸の營業を開始せり

西大門、仁川間(二十五哩七分)は明治廿九年中米國人ゼームス、アールモールス氏が韓國より建設の特許を得て工事中三十一年十一月元京仁鐵道合資會社之を引継ぎ三十三年十月全線を開通し三十六年十月更に元京釜鐵道株式會社に合併せり

草梁、永登浦間及西大門、仁川間は如斯にして爾來元京釜鐵道株式會社に於て經營し來りたるが明治三十九年七月日本政府に買收せられ當局の所管に移れり而して草梁釜山間(一哩)は當局に引繼後其工事に着手し明治四十一年四月一日開業を見るに至る茲に於て本線二九四哩三分は全く開通せり

京義及馬山線 京義線三一八哩六分は明治三十七年

三月元臨時軍用鐵道監部に於て起工せられ翌三十八年四月清川大寧兩大江の架橋を除き線路を開通し超て三十九年三月兩橋成り茲に全通し馬山線(二五哩)は同しく三十七年八月工を起し翌三十八年五月開通す而して兩線共所謂兵馬倥偬の間に速成せられたるものなれば設備其他に於て完からず旅客荷物は便乘便載を爲すに止め京義線は三十八年七月より馬山線は三十八年十月より之れが輸送の便を開きつゝありしが兩線共其の改良工事半ば竣工を告げたるを以て明治四十一年四月一日より京釜線同様運輸の營業を開始するに至れり



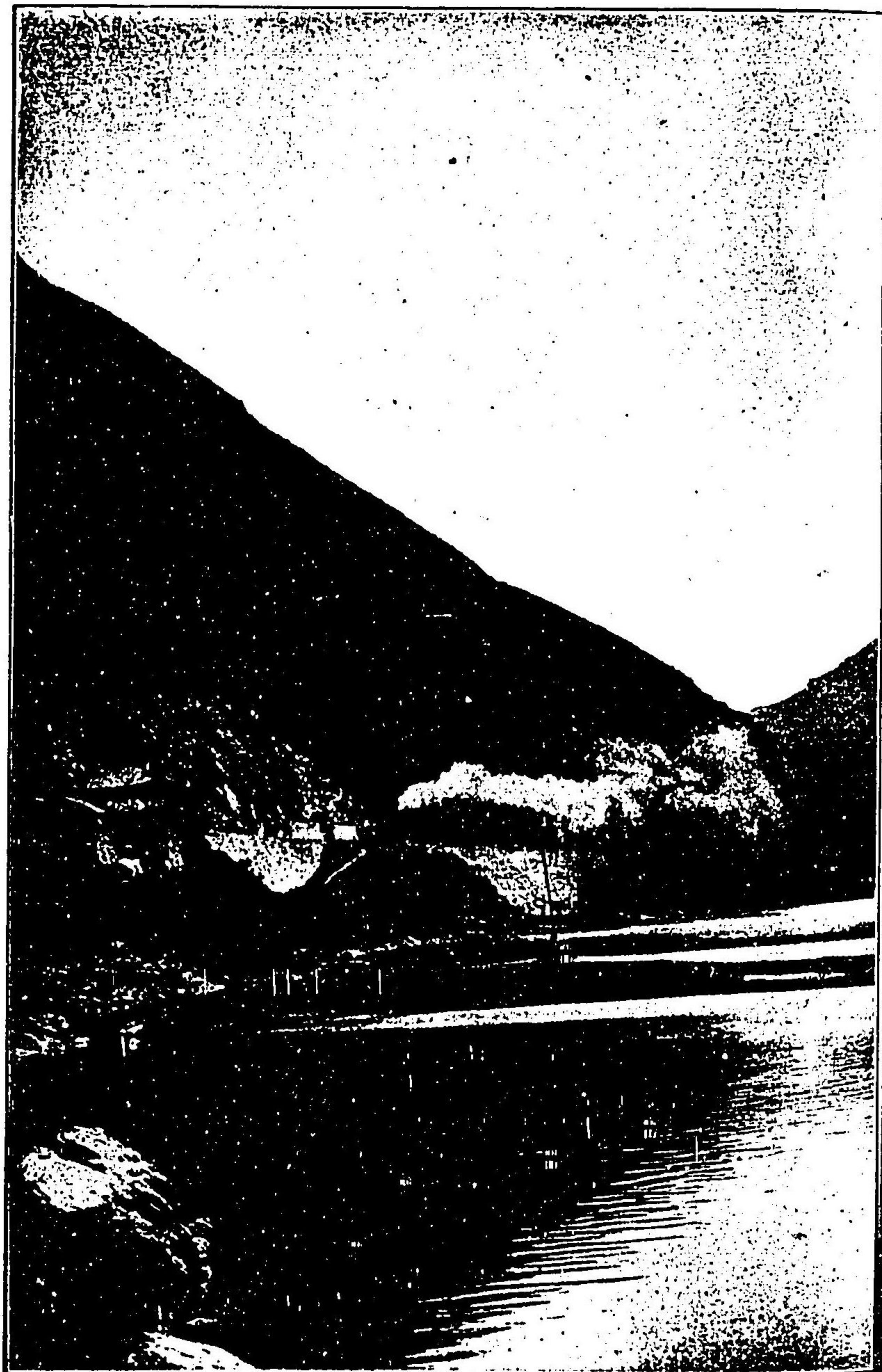
機關車



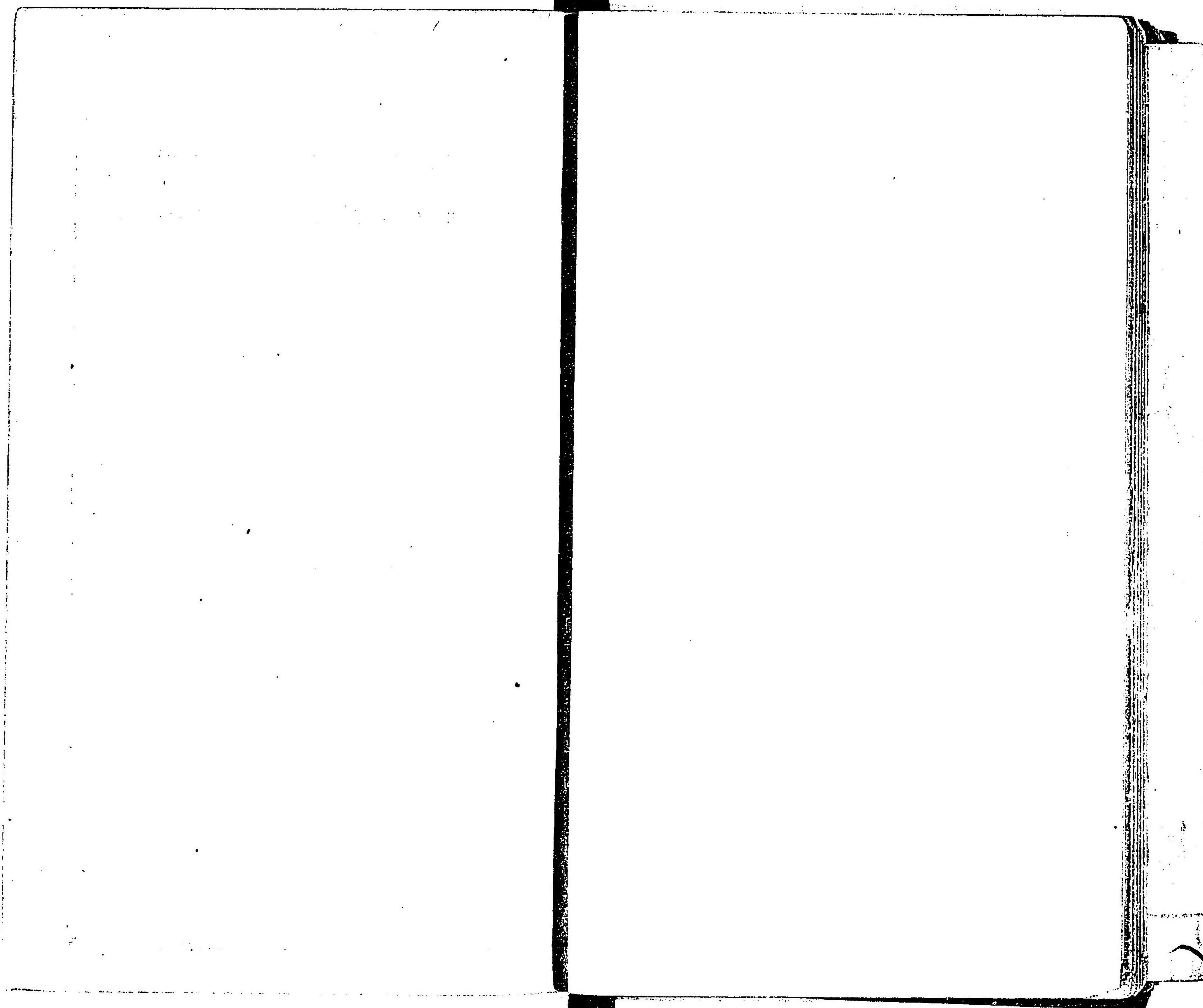
貨客車内部



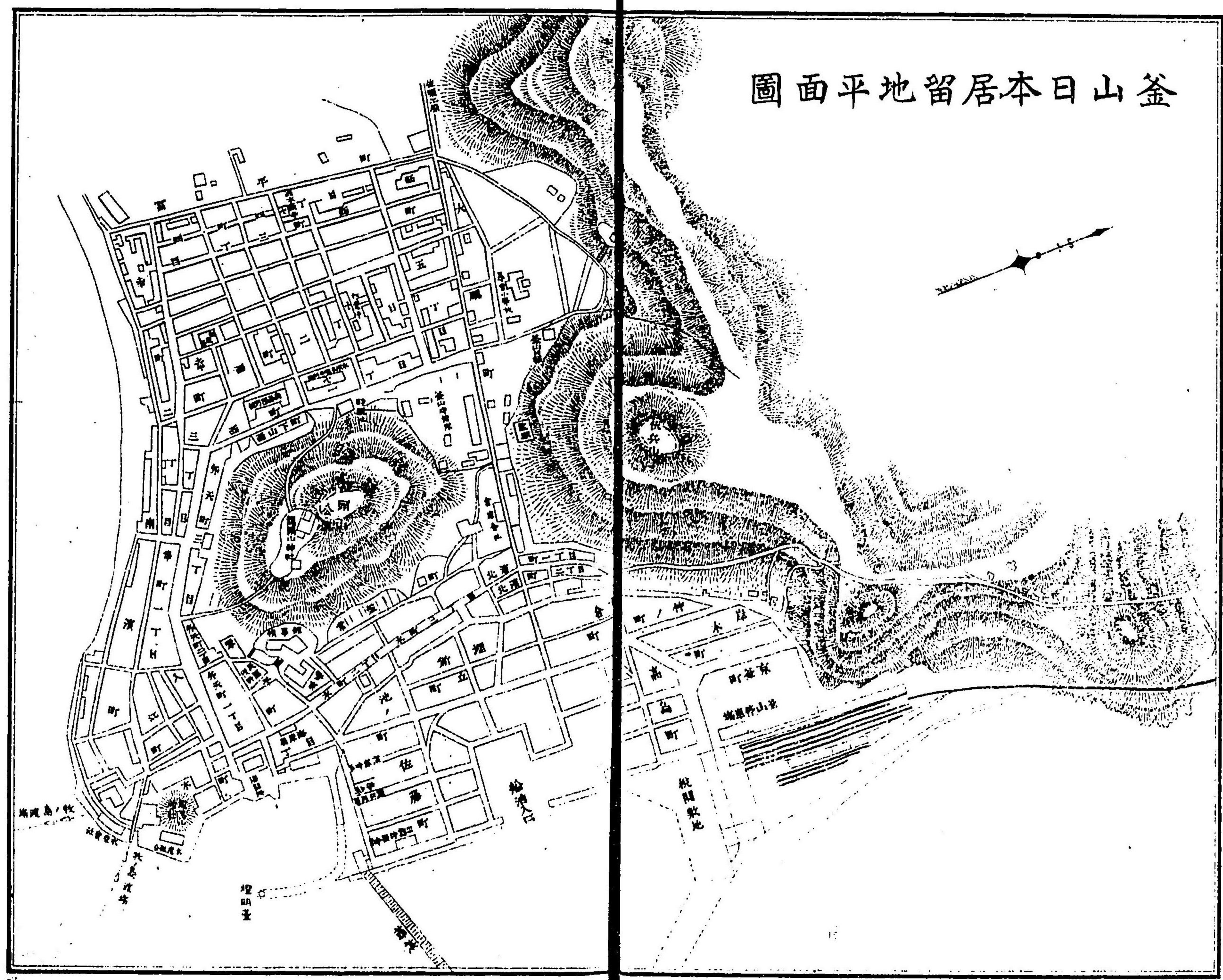
部外上同



關 院 湖



釜山日本居留地平面圖



釜山驛 (京釜線基點)

慶尙道東萊府釜山港日本居留地北濱海岸埋築地に在り、港は我對州と僅かに四十哩を距て、相對す、東南に絶影島テトクシマの横はるあり、島内に沿ふて港灣をなす港内廣く且つ深く、大艦巨船の碇繋に安全なる一大良港なり、往古より我國と密接の關係を有せしが、明治九年開港場となりたる以來内外旅客の往來貨物の集散日に月に繁盛に趣けり、日本居留地は家屋櫛比居留人口貳萬に達し宛然日本の一都會たり

⑤ 貿易 釜山貿易の多くは日本人の獨占する所にして、鐵道開通後年々増進し最近の調査に依れば、壹千四百萬圓に上ると云ふ、其重なる貨物は輸出に於ては

米、大豆、干魚、布、海苔、魚類、牛皮、骨、砂金等にして輸入にありては

木綿、金巾、石油、食鹽、陶器、木器、錫、吹金、扇製品、燭、草、酒、醬油、木綿、反物、紡績糸、絹反物、砂糖、雜貨等なり

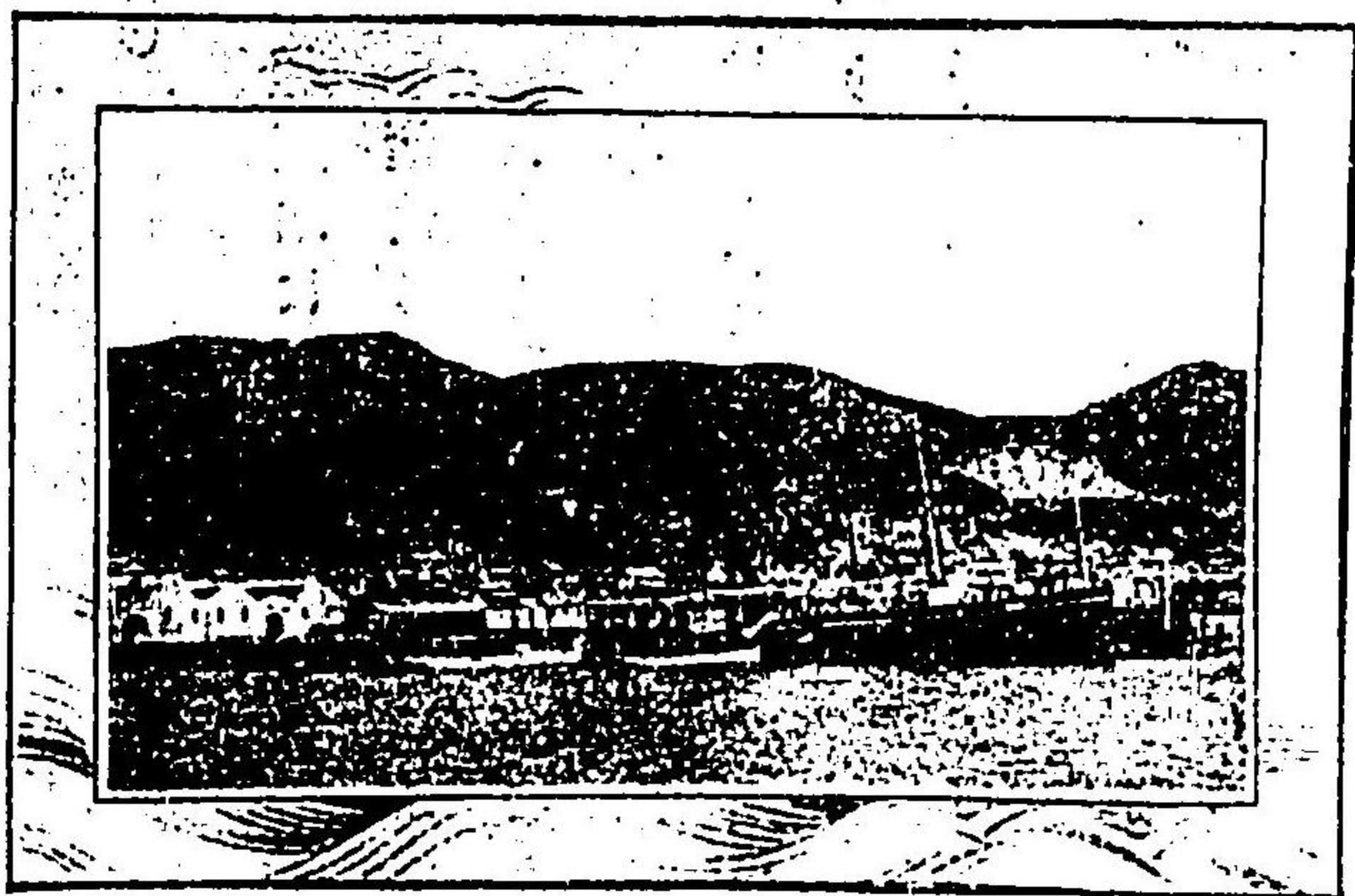
● 漁業 漁業は年一年と増加し、日本人經營に係るもの而已にて、今や船數二千隻、人員

一萬五千人以上にして、其漁獲高價に三百萬圓を越ゆると云ふ、朝鮮海に於ける漁業の盛んなる其一斑を窺ふを得べし、而して承なる漁場は朝鮮海、狹嶺海、海巨濟島、蔚山、近海

南海島、巨文島、濟州島、木浦、近海群山、沖成鏡、兩道、沿岸等、又漁業の重なる巨類は捕鯨業を
 始めとし、次で鎮海灣の鱈網漁、群山の鯛
 鱈漁、朝鮮海峽の鱈漁等、其有名なるものな
 り、其出漁者の多くは蔚山、山口、大分、長崎、香
 川、岡山、媛、姫、福、岡、熊本、鹿兒島、縣等なり、漁獲
 物は近距離にあるものは釜山、又は馬山の
 魚市場に水揚げし、亞で韓國鐵道全線に向
 つて輸送せらる、又漁場より直接日本に輸
 送するものもあり

○勝地

龍頭山 釜山の公園にして市街の中
 央にあり、松樹鬱蒼、天氣晴朗の日に
 あつては、水天彷彿の間に、我對州を
 望むを得べし、山頂に金比羅神社の
 祠あり、登臨すれば、灣内の佳景一眸
 の中にあり



釜山連絡船



龍尼山



釜山港外燈臺

龍尼山 龍頭山の東南隅にあり、絶影島と
 相對す、山頂に老松數株あり、眺望絶佳
 加藤清正の小祠あり
 絶影島(一名牧の島、往昔牧場
 たりしか、以て此名あり)釜山港の東南にあ
 り、周圍七里、屹然と
 して釜山港の隱蔽と
 なり、之れをして良港
 たらしむ、南面は松樹
 繁茂し、砂濱は夏季海
 水浴に適す、釜山南濱
 より渡船の便あり

温泉あり、邦人の經營にして、旅館あり、金井温泉と云ふ、草梁より三里、馬

東萊 城趾あり、城内よ
 り約十六丁、金井里に

車、人力車の便あり附近一帯に山水明媚なり

○官衙、會社、寺院、學校

- 釜山理事廳
- 釜山守備隊
- 韓國駐劄軍病院
- 統監府觀測所釜山支所
- 釜山居留民團役所
- 釜山公立避病院
- 釜山公立尋常小學校
- 釜山公立商業學校
- 東本願寺別院
- 釜山教會所
- 智恩院別院
- 本派本願寺布教場
- 第十八銀行釜山支店
- 日本郵船株式會社釜山支店
- 釜山電燈株式會社
- 釜山農産株式會社
- 釜山警察署
- 釜山憲兵分隊
- 帝國鐵道總營業所
- 釜山郵便局
- 日本人商業會館所
- 釜山民團立病院
- 釜山私立幼稚園
- 商品陳列館
- 四本願寺別院
- 妙覺寺別院
- 高野山別院
- 第一銀行釜山支店
- 第五十八銀行釜山支店
- 大阪商船株式會社釜山支店
- 釜山倉庫株式會社
- 釜山水産株式會社

△人力車賃金表

釜山及草梁間を十一區に分ち、最初乗車の區は金八錢以内とし、或區以上に亘り乗車するときは一區毎に金四錢を加ふ、其他は區外とす、夜間及降雨雪泥濘の際は二割増し、夜間にして泥濘の際は三割増し、往復は二割引、二人輓は八割増し、以内客待ちは一時間八錢以内、一日履切りは壹圓五十錢、半日一圓以内とす

(區割) 第一區 富民洞

第二區 富平町、寶水町

△交通

釜山は韓國に於ける日韓交通の基點のみならず、其海運は浦鐵航路と、北清航路との分岐點にして、船舶の出入頗る頻繁なり、帝國鐵道總の連絡船は毎日二回釜山下の關間を往復し、日本及韓國鐵道直行列車に接続す

●旅館

大池旅館、守谷旅館、岡野旅館、松井旅館、松本旅館、ひしや旅館、石井旅館、尾根屋旅館、荒井旅館、旭屋旅館、土肥旅館、筑後旅館、釜山ホテル

●料理店

鳴戸、守谷、待合亭、京阪亭、三笠、千歳、朝日、一福樓、小倉屋、養鶴舎

○韓人商務會館所

○大清國理事府

○釜山樓橋株式會社

○日韓倉庫株式會社

○朝鮮時報

○釜山煙草株式會社

○釜山日報

○釜山稅關

第三區 四町二三四五丁目 第四區 大園町
 第五區 四町一丁目四山下町幸町一丁目辨天町二三丁目南濱町廿七番以内
 第六區 入江町琴平町辨天町一丁目本町一丁目南濱町廿五番以東
 第七區 本町二三丁目常盤町佐藤町池の町埋立新町大倉町
 第八區 北濱町一二丁目より坂の上に至る
 第九區 坂の上より支那町に至る
 第十區 支那町より草梁に至る
 第十一區 草梁川より草梁北端に至る

(區外)
 富平町基點 鏡川山 金拾五錢以内
 同 古館 金拾錢以内
 同 釜山嶺 金拾錢以内
 同 東萊城內 金九拾錢以内
 同 東萊溫泉場 金壹圓拾錢以内

釜山草梁間を往復する馬車あり乗合一人金五錢、併切參拾錢とす、又片道金五拾錢にて東萊へし往復す

釜山郵便局同海岸出張所同草梁出張所ありて郵便爲替電信電話貯金小包其他總ての事務を取扱ひ本邦内地と通し與ることなし

△通信

草 梁 驛

(從釜山一哩二鎮)

釜山港内草梁の海岸に在り、右に釜山を控へ左は海岸に沿ふて釜山鎮に連る此地元と寂寥たる一寒村なりしが停車場設價以來大いに其面目を改め、今や人口千六百の多きに至り現時の繁盛を來せり

○勝 地

津江成太君招魂碑 古館の丘上にあり、同氏は對



草梁驛



同工場

州の人兵庫と稱す、人となり忠實才幹あり、參判使の職を帯び任に韓國にあり、夙に草梁の好貿易地なるを知り、寛文十二年古館を此地に移すに當り大に盡力する所あり、後二百年を經、明治九年日韓修好條約の締結せらるゝや、人初めて其先見に服し大に其志を壯とし、明治十二年居留民相計りて碑を此地に建立せり

○官術會社學校

○釜山郵便局草梁出張所

○草梁尋常小學校

○東萊監理署

○東萊警察署

○日本郵船株式會社釜山支店草梁出張所

○大阪商船株式會社釜山支店草梁出張所

○釜山税關草梁出張所

●旅館 瀧光旅館 鳴戸支店料理 テーケー支店待合

釜山鎮驛

(釜山二哩六二里)

釜山面山首洞釜山鎮市街の北端に在り、此地南は釜山及草梁と相連接し北は東萊府の通路を擁し、附近一帯の地方に對し物資の集散地にして鐵

道開通以來著しく人口の増加を示し來れり、將來農商業の發展に伴ひ頗る有望の地位を占む

○勝地

鎮城 驛の東南三丁海濱に臨みたる

丘陵の上にあり、之れに登りて釜山

港内を望めば灣内洲渚渾然として

眼中にあり、頗る形勝の地たり

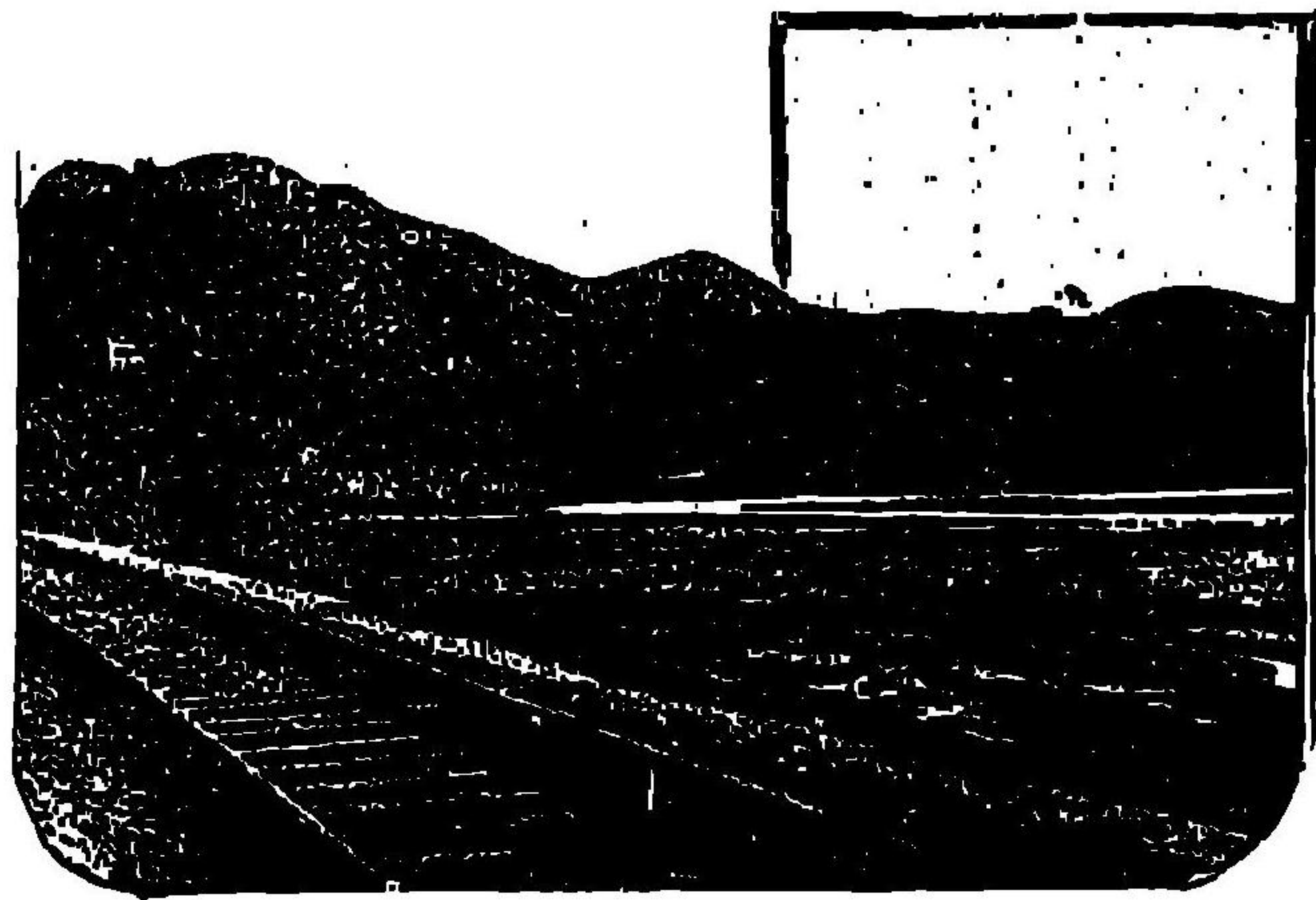
小西城址 驛の背而三丁にあり、峰臺

山の山脈に連り鎮城と市街を隔て

相對す、高さ海拔三百尺、慶長、文祿の

役小西行長の築く所、古蹟見るべき

ものなしと雖も、今猶は山嶺に殘壘



鎮城

を殘し轉た當時の遠征を想像するに堪へたり
 永嘉臺 驛の南方一丁鐵道線路の傍にあり古來兩班じょうばん即ち文武族の謂ひにして一般に上流人士を云ふの觀月場なるも今は廢頽見るに足らず
 東萊府 驛の北方二里にあり道路開通車馬の便あり古來此地に節度使を置き左道水軍の諸營を統制し來りたるの地なり
 現時觀察使所在の地にして府廳は市の中央にあり府の東北約半里にして東萊温泉あり金井山及梵魚寺を望み頗る風光に富み幽靜閑雅の地にして消閑養病の好適地とす浴場普通の設備あり
 梵魚寺 東萊温泉を距る貳里に在り庭内樹木蒼鬱せる裡清流滾々として流れ園内綠蔭影深き所頗る清楚雅趣に富み寺は新羅の僧元曉祖師の開基に係る著名の巨刹なり其規模宏大にして往昔三百の僧侶を收容せしと云ふ文祿の役兵火に罹り烏有に歸せしより後再興せしもの今猶は其舊蹟を存せり
 釜山水源地 驛の北方一里に在り聖知谷の溪流を貯水に利用し釜山草

梁方面の水道を敷設し目下之れが起工に着手し材料運搬の爲め釜山鎮城外を基點とし現場に至る輕便鐵道を布設し着々工事の進捗を急ぎつゝあり
 又埋築工事も釜山鎮を起點とし今是れが設計に従事し現今頻りに測量に着手しつゝあり是等日を追ひ事業竣成の曉は將來市の繁盛と其發展は亦大に見べきものならん

○官衙學校

○東萊府稅務署出張所 ○朝鮮學校

○日語學校



釜山鎮永嘉臺

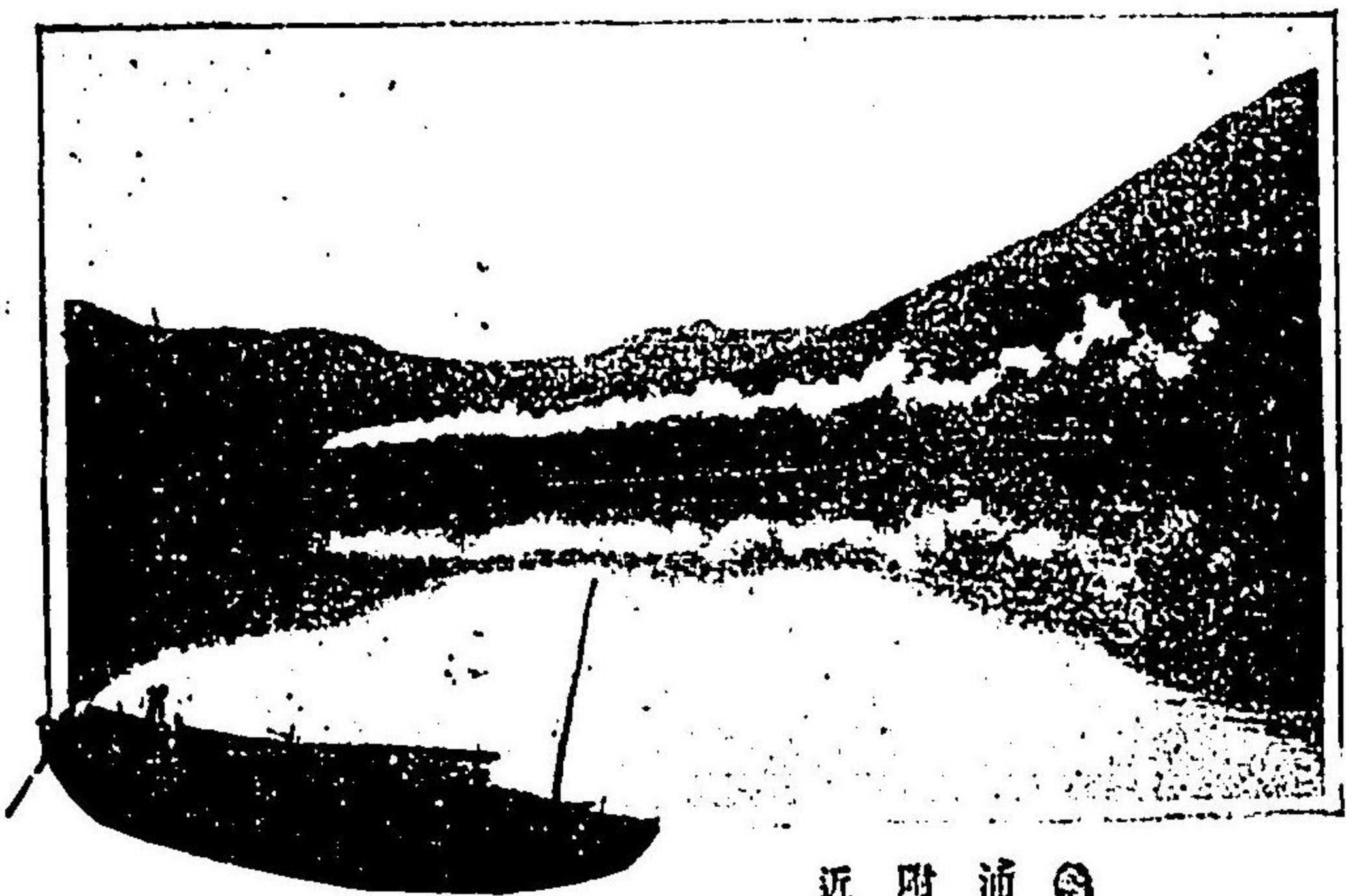
龜浦驛

(從釜山一哩一級)

龜浦市街に接したる洛東江の右岸に在り、此地慶尙全道各地に對する海陸運送の中繼所にして、商業上頗る樞要の位置を占む。北は梁山、南は釜山に通じ、西方江を渡りて金海に到り、東方嶮山を踰へて東萊蔚山に達する要衝の地なり。

○勝地

金海 古駕洛の開祖金首露の舊都にして、城中殿堂門樓多く荒廢し、風物蕭條たり。此地往昔最も我國と關係を有するは、歴史の證する所たり。日本府の置かれたるは、此地なりと云ふ。地洛東江岸に沿ひ舟楫の便あり。沿江沃野數里に連亘し、實に好個の農産地なり。水産物も亦た饒多なり。各地市場の出品、重に金海より出づと云ふ。
洛東江 源を慶尙道大白、小白の兩山に發し、西嶺東嶺よりする諸溪流を



龜浦附近

合し本江となり、行々沃野を劃流し、晋州地方よりする一大支流、江と相合し、金海を経て海に入る。江の流域七十餘里、韓國有數の大河とす。竊車は洛東江に沿ふて走る事約二十哩、車中の旅客は座しながら江上の風光を賞玩するを得べし。
瀑布 鼠峰山の麓にあり、巾六尺、直下二十尺、巨巖層疊、左右相接し、夏季清涼の地たり。又附近に虎方山と稱する水晶産出の山あり、何れも驛の東約一里、山路の妙、溪流の奇人目を悦ばしむ。

●●●●●●●●●●
孤浦川鐵道橋梁

驛を距る六哩三鎖にあり延長四五四呎

勿 禁 驛

(從釜山一九哩二六鎖)

梁山郡勿禁華山の間に在り寂寥たる寒村なるも洛東江に依り金海への渡船場として著名なり驛を距る約一里に新設されたる海軍射的場あり

○勝 地

△△△△ 通度寺 驛を距る六里梁山の北四里鷲棲山下に在り古今の名刹にして

住僧凡八百人なりと云ふ

●●●●●●●●●●
斷酒幕隧道

驛を距る三哩六二鎖にあり延長二六九呎

院 洞 驛

(從釜山二四哩六四鎖)

梁山郡院洞院洞川の洛東江に會注する所に在り

○勝 地

△△△△ 龍山 院洞の對岸にあり巖脚走りて江に入るの所深潭をなす傳へ言ふ

古來龍の棲む所なりと今に至るも韓船の此處を過ぐるもの必ず數粒

の米を潭に投じて賽すと云ふ

●●●●●●●●●●
鶴院鐵隧道

驛を距る二哩一一鎖にあり延長一九四呎

●●●●●●●●●●
院洞川鐵道橋梁

驛を距る二三鎖にあり延長

三三二呎

三 浪 津 驛

(馬山橋基點
從釜山三〇哩四三鎖)

密陽府三浪津の江岸を距る里餘岡と柳島と稱する所に在り馬山線の分岐點にして直通以外の列車に依る旅客は乗換とす



(一) 院 洞 驛

○勝地

鶴院關 驛の東方約半里に在り今を距る三百年前の築造に係り、外敵防禦見張りのため設けたる有名なる關門にして鐵道線路に沿ひ上は巖々たる巖岩を負ひ下は絶壁數仞にして碧潭に臨む、風光頗る佳なり、南北の來往必ず此所を通過せざるべからざる要衝に當り地理上極めて樞要の地なり



(二) 關院鶴

●●●●● 銀にあり延長一四五〇呎
●●●●● 驛を距る二哩一六
●●●●● 無月山陸道
●●●●● 青龍山陸道 驛を距る三哩六四

銀にあり延長五四七呎

○官術學校

○小學校

密陽驛

(從釜山三八哩三九鎮)

密陽府城の東田野の間に在り、府は本線路中南部にありては大邱に亞ぐの都會にして、今や日本人口四百五十八を有す、東北西の三面は山陵屹立し、南は平野に接し、東南隅は凝川の水流に臨む、城内概ね平地にして商賈連楹、人馬絡繹たり

○勝地

嶺南樓 驛の西方に在り、樓は密陽府の東端、凝川の岸にあり、元古嶺南寺の一部なりしに、寺廢れて後郡守金溪知之れを改築し、嶺南樓と名く、樓に登れば前面栗樹の森林を控へて平野一帶遠く相連なり、龍頭終南の



兩山左右に峙立し其間溶々たる清流の之れを繞るあり風光明媚の境なり

嶺南樓

密陽江一帶香魚を産す網漁頗る興あり又驛附近の松林には初茸を産し風光亦佳なり

第一月淵墜道 驛を距る二哩一三鎖にあり 延長二四七呎

第二月淵墜道 驛を距る二哩二一鎖にあり 延長六〇〇呎

第一防川墜道 驛を距る六哩三〇鎖にあり 延長一一八呎

第二防川墜道 驛を距る六哩四〇鎖にあり 延長一八五呎

密陽江鐵道橋梁 驛を距る五九鎖にあり延長九七九呎

○官衙學校

○財務署

○郵便電信取扱所

○公立開昌學校

○尋常小學校

●旅館料理店 下郡旅館 東京屋料理

榆川驛

(從釜山四六哩三鎖)

清道縣榆川驛の南方に在り、榆川は本道樞要の驛院にして密陽、大邱間の衝路に當る、最も農産物農饒の地たり

○勝地

磧川寺 驛を距る北方二里に在り、當寺は新羅時代僧普照國師の開基にして佛像數百を安置す、就中四天王像の如



密陽江渡船場

楡川△△ 香魚を始とし多くの川魚を産す、韓國著明の鮎漁地なり

○官衙學校

○日語學校

- 楡川驛道 驛を距る六〇銀にあり延長一七一呎
- 第一驛谷驛道 驛を距る四哩三三銀にあり延長三〇六呎
- 第二驛谷驛道 驛を距る四哩三九銀にあり延長八九呎
- 楡川江鐵道橋梁 驛を距る四二銀にあり延長四一三呎
- 第一龍水川鐵道橋梁 驛を距る二哩五〇銀にあり延長三二二呎

清道驛

(從釜山五二哩六五銀)

清道縣清道城の東南に在り、南に盤山を負ひ東北は雲門川を隔て、烏恵山に對し稍々高地なり
驛の前面一帶の松林には夥しく初茸を産す、秋季紅葉の候一層の趣味あり

○勝地

清道城 驛を距る西僅に一里、道路平坦にして交通便なり、古來歴史上の

事蹟を有せざるも、古色蒼然人をして轉た當年の俤を忍ばしむ

藥水瀧 驛の西南十八丁華嶽山の麓に在り、懸崖七十尺、四時清水を投下

す、古來藥水と稱して夏季韓人の浴客日に百を以て數ふ、近來日本人の避暑に來るもの多く、道路も漸次改修の手配中なり

文廟 驛を距る西方一里に在り、古代の建造物にして最も壯麗を極む

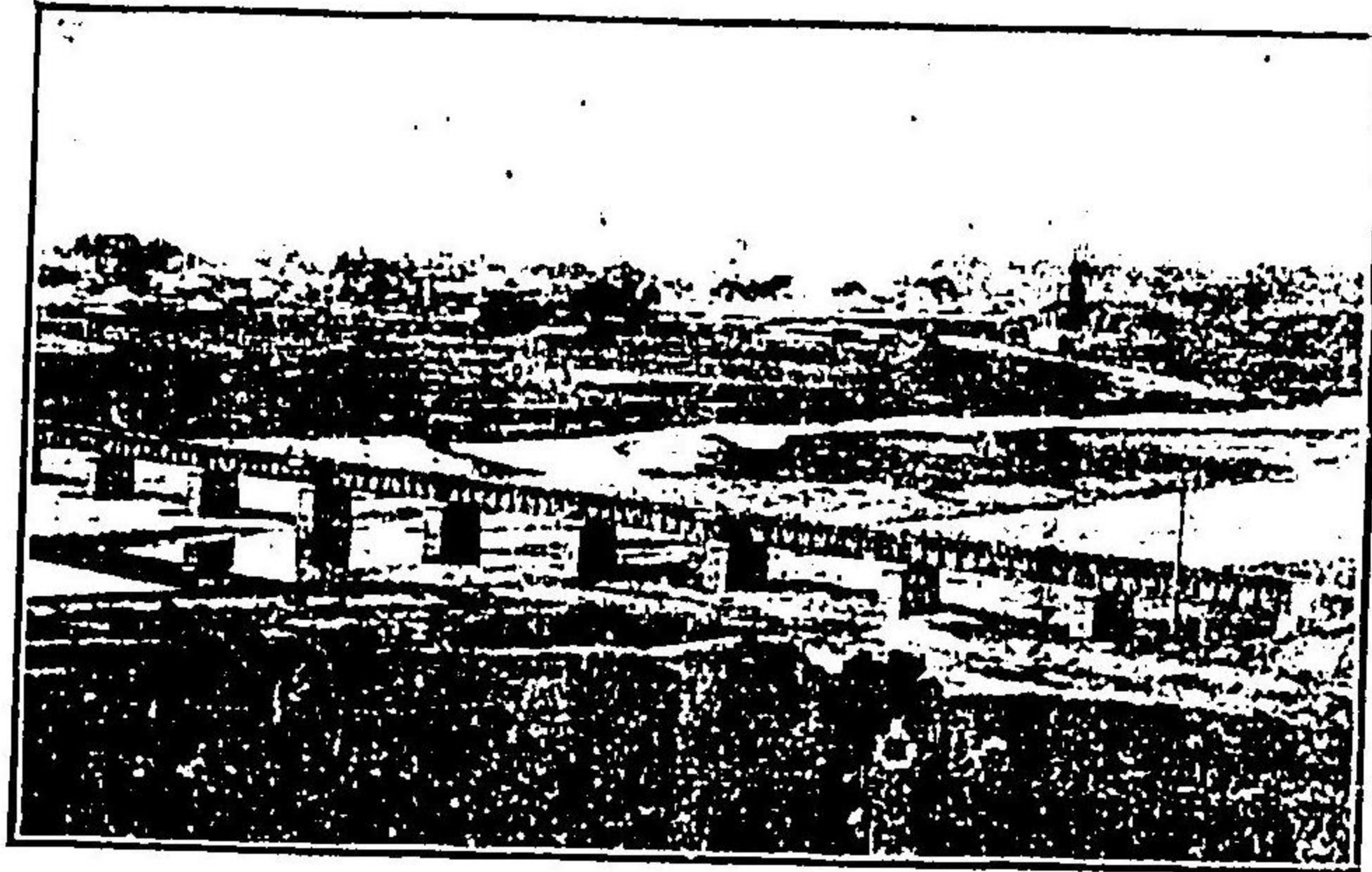
○官衙學校

○駐在警察署

○開明學校

○明道學校

- 旅館料理店 浦川旅館 博多屋料理
- 名規驛道 驛を距る六哩四〇銀にあり延長三九四八呎
- 河國驛道 驛を距る七哩六一銀にあり延長一一五呎
- 清道川鐵道橋梁 驛を距る六七銀にあり延長三二二呎



大 邱 市

慶山縣城外に在り、土地肥沃農産豐饒の地なり、附近に於ける農産物の集散地として著名なり

慶 山 驛

(從釜山六七哩四六鎮)

○勝 地

慶興寺 驛の北方一里南面山田邑内動
鶴山腹に在り、風光明媚なり
孤山書齋 驛の西方一里崎嶇たる山頂に在り、山路峻嶮攀登し易からざるも山嶺に至れば眼界豁然眺望絶佳なり
遠近學生等の研學所たり、今尙ほ使用し居ると云ふ

翠湖江 驛の北方一里半に在り、源を慶州東大山に發し諸溪流を合し本

江となり尙州洛東江に入る、江上の風光賞翫するに足る

聖岩 驛に接したる所に在り、戸數四十之れを士亭と云ふ、其後方に山あり、聖岩山と稱す、山中巉岩の聳ゆる所是れなり、文祿の役士民の亂を避けたる所なりと云ふ

新川鐵道橋梁 驛を距る九哩一〇鎮に在り延長六七〇呎

大 邱 驛

(從釜山七七哩四四鎮)

府城の東門外と北門外との間、大邱郡七星里に在り、大邱は慶尙北道の首府にして、韓人戸數四千百餘戸、人口一萬八千、日本戸數七百三十五、人口二千六百四十五の多きに達し、府城は周圍二拾餘丁、高さ三間餘の石壁を繞らし、四方に樓門を設け、南は嶺南第一關、北は拱北、東は達東、西は達西と稱したりしも、明治四十年五月、城壁樓門全部を撤去し、道路となせり、而して南門のみ紀念として保存しあり、府内最盛の區を鐘路とす、此地普通市日

の外令市あり、令市は政府の命令を以て各三十日春秋二季に開かる、實に韓國中の大市にして商賈の來集するもの約一萬餘、顧客無慮三十萬餘に達す

△普通市定日

西門外 陰曆二七の日 東門外 陰曆四九の日

市場は東、西兩方に開市するも西門外の市場を以て重きに置き、東門外市場は其出資貨物の種類西市と大差なく其數量に至りては西市の約三分の一に過ぎず

△市場重なる取引種類

米、大豆、小麥、明太魚、大豆、小豆、胡麻、雜穀、荏子、生牛、蠶魚等とす

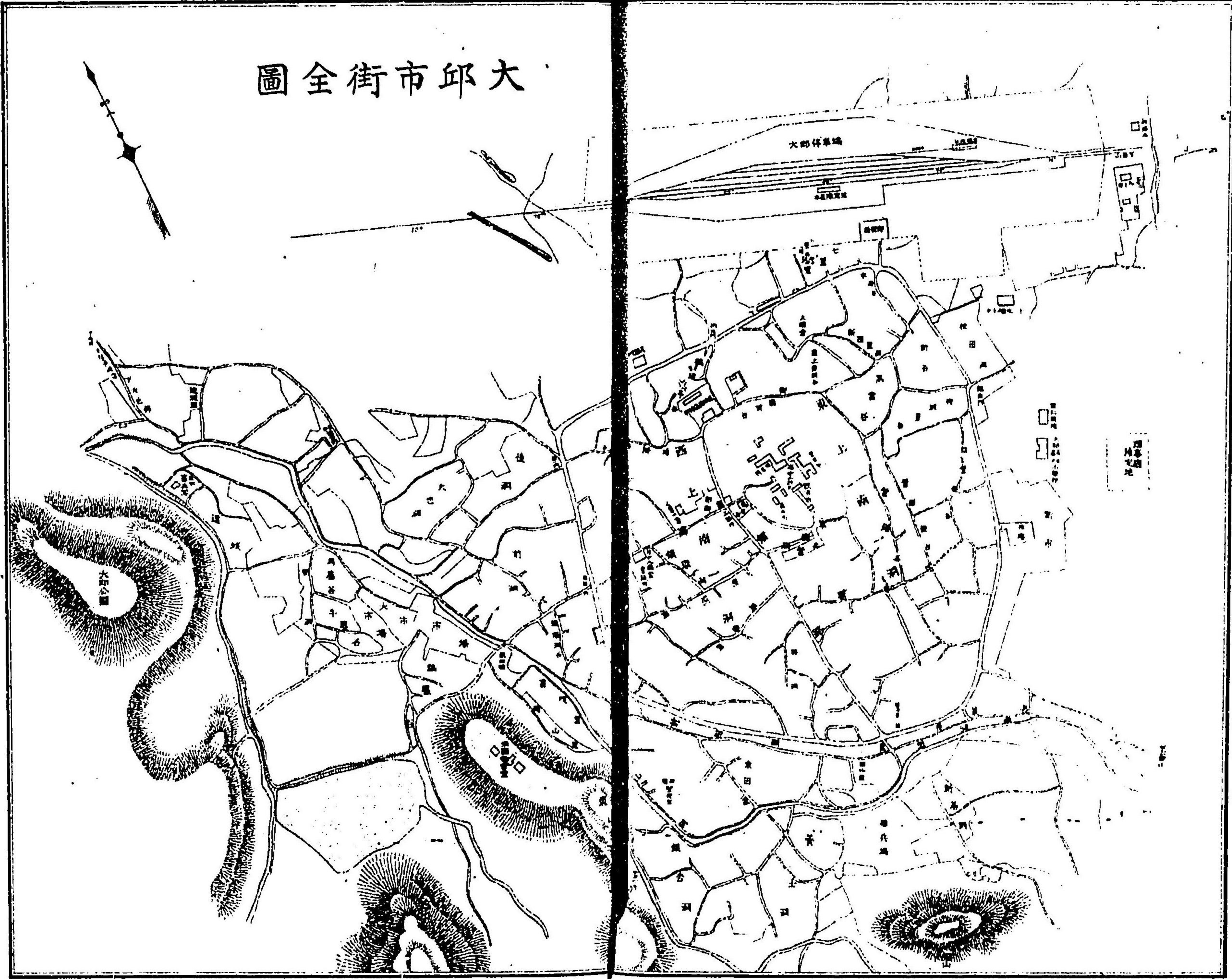
△附近に於ける農商工業狀況

農業を以つて第一とし、商業之れに次ぎ、工業は微々として振はす附近一帶土地豊饒諸種の農作に適し五穀雜穀其他烟草野菜を主とす

内地輸出としては大豆、米、荏子等其重なるものにして直接内地へ輸送するもの少なく其多くは釜山を經由す

工業は西門に土器製造所あるも微々たり、韓人向來製造は稍々見るべきものあり、又近時養蠶事業發展の趨勢あり、將來大に望みを屬すべきものなるべし

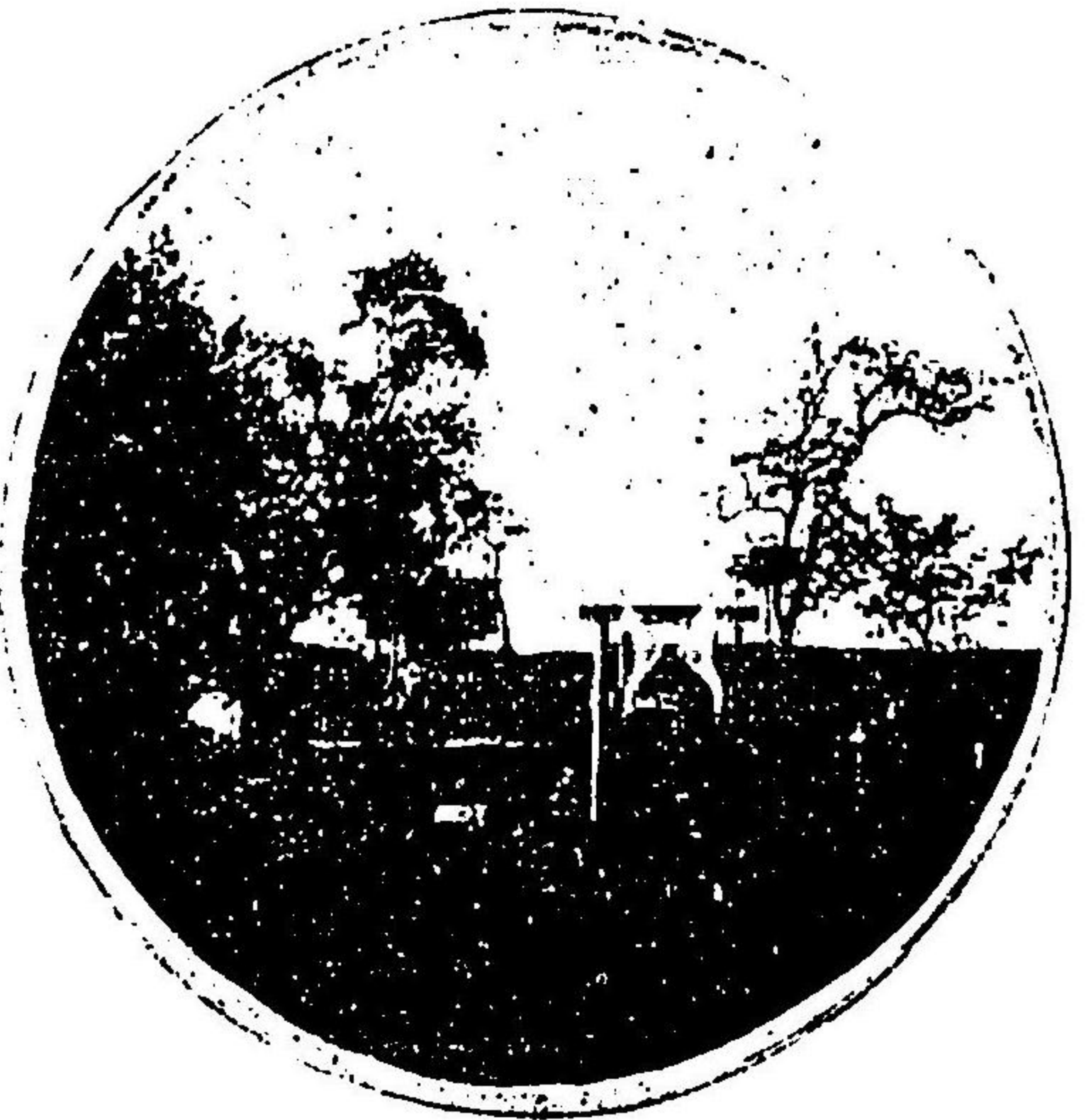
大邱市街全圖



○勝地

達城公園 驛を距る約十二丁に在り、青草山を蔽ひ、老樹散點し、奇岩怪石

所々に突出す、山頂平坦にして、公園たるに適す、目下在留邦人にて、達城公園期成會なるものを組織し、既に櫻、梅、桃、杉、檜等の苗木を移植し、將來に於て一大公園地となさんとの計畫あり、四望展開所謂大邸の八景を眼前に觀る即ち



入公山 驛の西北二里に在り、山上最も眺望に富む

- △琴湖泛舟
- △枕山落照
- △笠岩釣魚
- △隱跡琴鐘
- △鷺梁送客
- △桐寺飯僧
- △南沼落花
- △滿林炊煙

孔子廟[△] 府城東門外に在り驛を距る五丁題して大成殿と云ふ後堂に扁額あり題して明倫堂と云ふ朱熹の書なり其創建最も古し

詠歸亭[△] 孔子廟の東約一丁に在り兩班清遊の場所名けて詠歸亭と云ふ門内に池沼あり扁額柱聯題詩誦すべきもの多し

七星石[△] 驛前に在り巨岩七個恰も北斗星の如く配置し茲に一小亭ありしも今は無し亭記に曰く古昔象心なるものあり夢に七星の城北に落るを見る翌日其地に至り見れば七ツの巨石田中に列せり象心大に之れを異とし子男七人に命じ各自の名を分ちて一石づゝ刻せしむ

慶州[△] 新羅の舊都にして古へ鷄林の地なり所謂斯盧六村(關山楊山村、突山高城村、背山珍支村、茂山大樹村、金山加利村、明活山高耶村)とは其實日本人の殖民地なりとす此六村後ち發達して六部となり更に進歩して一市となせり所謂六部とは楊山部、李高城部、崔大樹部、孫干珍部、鄭加利部、裴明活部、是れなり慶州の民其性に揚李、崔、孫、鄭、裴を冠するものは六部の名に因つて性を賜はりたるものなりと云ふ州は慶尙道に於ては

大邱に亞ぐの都會なり鐵、水晶、瑪瑙其他建築材料を産出す

迎日灣[△] 慶州の東北一里に在り露人の所謂「ランコフスキ」灣これなり廣袤一里斗り其東方に岬角をなすものは即ち「クロナルト」岬なり辰韓の阿珍浦と稱せらるゝは北方陸地に接したる小嶼にして水深三尋より九尋に至る自ら慶州の門戸をなせり灣の南に迎日郡あり高麗の忠臣半嶋の英傑鄭夢周の誕生地なりと云ふ

○官衙、會社、學校

○觀察府

○理事廳



大邱遠城橋

- 第十二旅團司令部
- 大邱警察署
- 大邱郵街
- 治道局出張所
- 釜山税関所管大邱保税貨物取扱所
- 大邱同仁醫學校
- 韓國公立普通學校
- 大邱同仁病院
- 日本商業會議所
- 大邱日々新聞社
- 釜山練習所
- 仁川測候所大邱支部
- 第十四聯隊本部
- 財務監督局
- 大邱郵便局
- 慶尙北道裁判所
- 公立尋常高等小學校
- 私立遠城學校
- 大邱日本人居留民團役所
- 第一銀行大邱出張所
- 農工銀行
- 釜成女學校(韓國)
- 旅館 唯家旅館 遠城旅館 守谷旅館 田中旅館 玉屋旅館
- 料理店 遠城館 梅林館 千歲樓 大和樓 田中料理部

新洞驛 (從釜山八八哩三三銀)

大邱府新洞村にあり寂寥たる小村なり

倭館驛 (從釜山九四哩三一銀)

仁同府倭館村の東南石田洞にあり此地東は洛東江の鐵橋に臨み西北は山を負ひ南方一帯は原野にして稍々廣濶なり洛東江を上下する水運の終點にして釜山金海を往復する船舶の集泊地たり傳へ云ふ文祿の役我將士の此地に留りたるものあり是れ倭館の名ある所以なり現今其後裔一も存せずと云ふ

○勝地

●磨城山 傳へ聞く文祿の役我軍一時駐屯の際構築したる城壁なるも今は僅かに其跡影を見るに過ぎず
●仁同府 北東に位し西方平原を隔て、洛東江に臨む天生城山は府を距る約十丁餘にして巖岩巍峨として天空に従ひゆるものあり新羅の祖赫居世の築く所にして文祿の役郭再裕なるもの我軍を破りたる所な

りと云ふ

梅院 驛を距る東方約一里にして戸數五六百を有したる一小邑なり邑の後方に一小丘あり數百の老松丘を蔽ひ頗る眺望に富む

星州 是慶尙西路の要



水申ニ立テ水汲ル人

往昔我軍之れに據り威を新羅百濟に振ひたりと云ふ郡の入口に大石塔あり高さ三十尺にして十階を有す一階毎に一石より成る下方は方

六尺餘にして總て花崗石より成る

第一樓筒壁道 驛を距る五一級にあり延長二七七呎

第二樓筒壁道 驛を距る三一級にあり延長八二五呎

洛東江鐵道橋梁 驛を距る七〇級にあり延長一五三四呎

若木驛 (從釜山九八哩七二級)

仁同郡若木面にあり西北は高嶺峻嶽に抱圍せられ東南一帶田野廣濶遠く洛東江の流境界をなして連峰に對す

金鳥山驛 (從釜山一〇五哩)

開寧縣扶桑の一村落金鳥山邑に在り扶桑は開寧と星州との間に位する山中にあり東北は金山峯々として峙ち遙に黃嶽山に對す

附記星州は驛を距る南行四里にして平坦なる順路あり

○勝地

金烏山 驛の前面に高峰の雲上に聳ゆるものは是れなり山頂に僅かの平地あり此處周圍一里岩石を以つて城壁を作る四面削るが如き嶮坂を利
用し以つて對戦したるものゝ如き古趾あり古説に依れば文祿慶長の役
朝鮮の觀察使李九翼元帥權慄等慶尙道内の山城を修めて我軍を禦かん
ど欲し公山金烏龍紀甯山火王黃石山等に築き而して公山金烏の兩城は
民力を用ゆる最も多く悉く傍郡の器械糧餉を此中に收め守令を督促し
老若男女を率ひ入れ守らしむと云ふ亦頂上に至れば四隣の山川一々指
點し得べく展望の快云ふべからず

金 泉 驛 (從釜山一一四哩九鎮)

金山縣金泉市外に在り金泉は南に扶桑倭館を控へ北は金山秋風嶺に接
し東は開寧を経て尙州府に達し東南は星州に當り四通八達商業上の要
地にして今や本邦人口四百餘人口三千七百五十六に達す此地鹽の集散
地にして其市日は頗る殷賑を極り其繁華なる京釜線中大邱に次ぐの市

場なり附近金山開寧知禮の各郡は勿論尙州洛東善山等より來往し米穀
其他百貨の集散日を遂て盛んなり定市毎月陰曆五十の日

○勝 地

直指寺 驛の西北約三里黃嶽山の東に在り碑板あり其碑に曰く

直指寺事蹟碑

寺在金山黃嶽山之東南號直指報時 如大師不用坐集圓之直以手指開基處故寺之
得號以此云爾或傳原胡阿道瓶一善冷山極寺時同時開基者也而本寺事蹟碑毀而失其
文俱不可辨也蓋張初阿道俱在新羅納祇王朝而俱本國佛法者云爾世傳能如大師當羅祖
仁岡之役以神力濟之又能預告克敵之期屢屢統合後作大伽藍千並以報師德賜土田財寶
以爲報德之具自是基宗宗定宗光宗朝賜安相國所以崇奉是寺者甚五命學士林氏鹿洞寺
龍集王右軍字刻之石能如弟子信弘慧安等八人繼居之以金字寫經五百九十三函皆以保
崇黃閣金作海觀瀾以安之殿宇之修飾然爲東方第一道場凡僧徒之三昧其道爲
國師者無不由是寺而發願馬八我 朝以寺之北園有青兆安 恭靖大王御胎仍賜田
諱千寺以寵之而已有學龍大師被 光廟殊遇住是寺而經範備資故自有功德於是寺者皆
以能如學祖兩大師爲首云云至板之亂寺落爲灰墟山人仁守明禮等發願重修繼而有妙行
命元信拾遺道事 等 其後七十年間首尾力殿閣之數供佛之具衆復舊 其物曰
殿者八曰閣者三曰堂者十二曰寮者 曰莊者三曰門者四其正室三百五十三楹廚庫僧之

山内二十餘庵皆屬馬諸比丘之營非可謂動矣寺僧嘉善階呂祥欲記本寺願末鳩材伐石講
余而請文余念茲寺在勝國則協贊神謀業基于此逮于我 朝長御胎室爲 國家威慶
之基則靈異之跡利益之功豈他山寺比也寺之廢廢而旋興者亦以是夫遂其事聚之以銘曰
墨道經始之迹兮何其茫昧而無可記作之者能繼之者祖兮惟歷歷若前日事 雙楹
蒼蒼兮不老與茲寺兮終始通訓大夫前行弘文館修撰知製教兼經筵檢討官春秋官記事官
趙宗著撰 三節遺稿三卷白紙四東十三張南塘 定齋集四卷集十九卷白紙四十四
東在直指寺在街後寺白紙十四東六張

○官衙

○金泉小學校

●旅館

備前屋 旭屋 河内屋市場

●南田川鐵道橋梁 驛を距る四哩五七銀にあり延長三二二呎

秋風嶺驛

(從釜山一二五哩六一銀)

黃澗縣秋風嶺の中央にあり韓國北境より來る大山脈の分水嶺なり嶺と
稱すと雖ども南北双方より數十里間を自然に上りて嶺に達する所坦々
る平地なり

○勝地

徳大山 驛を距る十丁餘嶽峩たる峻山にして奇巖怪石層疊す頂上に至
れば四隣の山川數十の部落は一々指點し得べく四邊眺望の雄壯絶景
奇勝は覺へず快哉を呼ばしむ昔時事變あるときは直ちに此山に登り
烽火を擧げ四民に警告せし所なりと云ふ

張智賢碑 驛を距る十五丁餘文祿の役韓將張智賢が加藤清正の軍を拒
守し戦死を遂げたる古跡なり傍らに司憲府監察贈兵晋參議三槐堂張
公殉節の墓碑あり
陶器製造坑 驛を距る南方十町乾川洞及又東方十三丁角店洞の二箇所
に陶器製造坑あり韓國工業として稍々見るに足る

黃澗驛

(從釜山一三一哩三銀)

黃澗縣黃澗邑を距る半里餘に在り邑は山嶽疊嶂の間にありて東南に聳

ゆるは黄嶽山北に秀つるを白華山南に立つを山道峯と云ふ
驛を距る約五里青山郡月明洞に鑛山あり多量に黒鉛を産す韓國黒鉛會
社出張所之れが經營に従事す

○勝地

寒泉八景 驛より北方約二十丁に在り風景絶佳即ち八景とは使君峰月
留峰山羊壁龍淵臺冷泉亭花軒嶽青鶴窟法尊庵之れなり皆巖石峨々ど
して一種の風趣を呈す

校村 郡衙の東六丁餘の所に在る一部落なり李太宗の時縣監李嘗の築
きたる土城の舊址にして金泉金山より秋風嶺の街道を控へ長川の碧
流を瞰下し田野渺茫として遠く相連り頗る形勝の地たり其最高處に
孔子廟あり之れを廻りて前面に出れば鵝鶴樓あり大額を掲ぐ朱熹の
書なり此邊最も眺望に富む

○官衙學校

○郡衙

○警察分署

黃洞驛道 驛を距る一哩三七鎰にあり延長九九〇呎

○郵便取扱所

○韓國公立小學校

永同驛 (從釜山一四〇哩四六鎰)

永同縣永同市街に接したる所に在り

此地は京釜間の中央に位し忠清全羅慶尙三道に跨る市街は南に雄大な
る天摩山屏風の如く立ち北に朴進西に摩尼山ありて山嶽四周せり葉淺
白銅貨の流通區域たり

○勝地

落花臺 驛より二十丁餘永同邑の西錦城山の山腹にあり懸崖絶壁數十
丈其形臺の如く横に長川に臨む稭州の頃一妓女漢城より客を送りて
此所に至り離恨の念に堪へず無限の悲みを帯び世の厭世の感に打た

れ遂に身を断岩の上より深淵に投じて死す落花臺の稱ある所以なり

- 覺溪聖道 驛を距る三哩四九鎮にあり延長三一六呎
- 第二永同川鐵道橋梁 驛を距る一哩二〇鎮にあり延長三八八呎
- 第一永同川鐵道橋梁 驛を距る二哩六六鎮にあり延長三八八呎
- 深川鐵道橋梁 驛を距る六哩六鎮にあり延長三二二呎

○官衙學校

- 郡衙
- 郵便取扱所
- 小學校
- 守備隊
- 旅館 曙旅館、今岡旅館

深川驛

(從釜山一四七哩二八鎮)

永同郡深川村内に在り邑は北は鐵馬山を負ひ東方深川の急流に對し所謂山川圍繞の瘠地なり驛を距る里餘の山中に石灰石を發生す製造所の設けあり

○勝地

玉吉瀑布 驛より里餘玉山々中に在り水口二尺下方七尺高さ十間餘直下岩を劈き噴沫雪を飛ばす夏季酷熱の際尙薄衣を感ず山頂より四方を眺望すれば風光絶佳山麓に錦江支流の通ずるあり上下相對し觀賞措く能はざる所なり

錦江 韓國に於ける有名なる巨江なり其源一は忠清道俗離山に發し東流して忠清南道の各地を濕し一は全羅慶尙の境界六十嶺に發し北流して忠清北道を灌溉し燕岐に至りて東北の二水相合し共に忠清南道を迂廻し江流洋々として日韓貿易の要地たる群山に至りて海に注ぐ上流は水淺くして舟楫を通せず中流に至りては水漸く深く狭長なる河舟を航行し得べし

● 第二錦江鐵道橋梁 驛を距る三哩一八鎮にあり延長一〇一五呎

伊院驛

(從釜山一五二哩七七鎮)

沃川郡伊院にあり西南六聖山を控へ北は月平山を負ふ交通不便なり

○勝地

寧國寺^{▲▲} は驛を距る南方一里餘建造雄大にして僧十四五名居住せり又驛を距る約一里東南隅に望み仙臺山と云ふ高山あり風光絶佳なり

○官衙

○日明學校

●●●● 驛を距る一哩七六鎖にあり延長九五〇呎

沃川驛

(從釜山一五九哩六四鎖)

沃川郡沃川にあり沃川は又一に管城と稱す俗離德裕兩山の間に介在し北は錦江を限り西は懷徳と一嶺を隔てし相對す赤登江は源を全羅道徳裕馬耳兩山に發し流れて沃川の東に至り俗離と相合し錦江に注ぐ沃川に流るゝものは水淺く舟楫の便なし

○勝地

龍岩寺^{▲▲} 南一里に在り結構見るべく風光亦佳なり

二止堂^{▲▲} 西一里に在り趙憲遺蹟の地にして西亭子川の岸上にあり風光

明媚なり

摩尼山城^{▲▲} 古昔の石城なれども荒廢見るに足るものなし

陽山[▲] 驛を距る六里に在り新羅百濟の古戰場たり始め新羅武烈王百濟

及高句麗を伐たんとし韻連を以つて將となし陽山の麓に陣し進んで

助川城を攻んとす城兵牒して之を知り夜に乗じて逆襲突撃甚だ急な

り韻連時に馬上にあり敵の至るを俟て大に戦はんと欲す大舍詮知馬

を控へて説て曰く今賊暗中に起る公死すと雖も人の識る所となる能

はず如かず一旦此地を逃れ再舉敵を討たんにはと韻連聰かずして曰

く大夫身を以て國に許す豈に敢て名を求めんやと遂に戦ふて之れに

死す時人其死を惜み陽山の歌を作りて之れを吊へり

俗離山^{▲▲} 忠清北道報恩郡の東九里にあり滿山奇岩怪石突兀として聳立

し其西南の一角は四時白雪を帯びて高く雲表にあり山樹多くは落葉松

の一種にして往々櫻樹を雜へ冬季に於ては綠色白雪と相映し春來て
櫻花盛に開くの候沃澁之に加ふるの間遙に瓦樓を望む風光明媚真に
一幅の畫圖なり

驛より山に至るの道路東南二里にして馬峴と稱する地あり山路羊腸
疊むに石を以つてす世祖大王該山に行幸の際之を敷かしめたるもの
なりと云ふ

俗離寺 俗離山より寺に至るの道は楓樹左右に並び溪水之れに沿ふて
流れ林中の岩石青苔を帯び人寰を脱するの思ひあり

寺内樓門あり石碑あり溪水あり樓閣あり結構壯麗轉た人目を驚かす
に足る四天王は二層の樓閣中にあり木像なるも彫刻巧妙彩色燦爛た
り之に面して相捌殿あり中に八個の佛像を安置す像の高さ三尺餘大
さ二尺許塗るに金泥を以つてす之れに並んで兩花樓あり樓の東方數
十歩の所結構壯麗なる殿堂あり是れ即ち大雄寶殿なり中に三體大
座佛を安置す其高さ各一丈五尺餘腰の圍り一丈二尺許西向並座せり

何れも二千年前新羅信平王の時建造したるものにして堂宇の建築我
奈良大佛堂に酷似せり此像韓國内に凡て九體あり三體之を當寺に三
體は全州松廣寺に残る三體は鴻山の無量寺にありと云ふ

之れより西方數歩一小閣あり又佛像を安置す座佛にして高さ七尺餘
腰圍五尺許花冠を戴き金色燦爛たり其形頗る我辨才天に似たり此右
方に一小堂宇あり五百羅漢雖然として相併ぶ

此外石製の漱水台水溜石佛熾釜等あり形ち頗る巨大にして多くは青
苔之を蔽ひ古色頗る愛すべし水溜の東方數十歩に一小堂宇あり世祖
大王の御筆を藏す所なり

○官衙

○郡衙

○警察駐在所

○日語學校

○郵便取扱所

○停車場前郵便所

沃川鐵道橋梁

驛を距る七三鎮にあり延長三三二呎

増 若 驛

(從釜山一六二哩七五鎮)

沃川郡増若にあり、邑は東は環山を負ひ、西は松九峯に接し、北は末甘山に對し、南は食藏山を望み、四方山岳を以て蔽はる一小村なり

- 第三増若嶺道 驛を距る一哩七二鎖にあり、長延八五八呎
- 第二増若嶺道 驛を距る二哩二五鎖にあり、延長五二八呎
- 第一増若嶺道 驛を距る二哩三六鎖にあり、延長二九七呎
- 九丁里嶺道 驛を距る三哩五四鎖にあり、延長七五九呎

大田驛

(從釜山一七〇哩三三鎖)

忠清南道懷德郡大田邑にあり、分つて南大田北大田の二とす

北大田は停車場の所在地にして、三十七年の比は本邦人の假家屋僅かに一二戸にして寂寥たる寒村に過ぎざりしも、交通機關の完成に伴ひ、農商業者の來住するもの日に多きを加へ、本邦人の經營其宜しきを得て、急激の發展を見區劃整然たる新市街をなし、商業頗る盛況を來し、諸物資の供給又不便を感ずることなきに至れり、人家既に三百餘、人口千四百に上り、尙將來駁々發展の好況を呈せり

南大田は驛を距る南方八丁餘の地にあり、韓人市場のある所にして、陰曆一六の日に當り、近村より來集する商賈五百に近く、日韓人の顧客三千を算し、頗る殷賑を極む、本邦人の商家又五十に近く、主として對韓人の貿易を營むものにして、米穀、石油、明太魚等の集散見るべきものあり

○勝地

柳城温泉 驛の西一里餘湯村の田圃中にあるも、何等の設備なく、浴客の跡を絶てり

鷄龍寺 驛を距る四里、鷄龍山中にあり、由緒最も古き巨刹にして、堂宇十一あり

鐵釜 連山邑の西一里田圃中にあり、湖西三巨物の一と稱し、直徑九尺三寸五分、深さ三尺八寸五分、厚さ一寸、周圍二丈九尺八寸六分あり、千年以前に係る寺院の欣釜なりと傳ふ

恩津彌勒 恩津郡竹岩里灌燭寺にあり、湖西巨物の一にして、佛像の高さ

七十四尺餘、洞の周圍三十四尺ありと云ふ
江景 驛を距る西北十一里、群山に到る要路に當り、本邦人の居住するもの二百に近く、貿易又盛なり、鹽魚其他の海産物出荷多し
○官衙會社

○守備隊

○警察署

○郵便局

○居留民團役所

○尋常小學校

○興業會社

●旅館

中川旅館 龍山旅館 大田旅館

新灘津驛

(從釜山一七九哩一八八哩)

忠清南道懷德郡北面方築洞にあり、寂寥たる寒村なり
市場毎月陰曆二八の日開市附近より來集する顧客尠からず

○勝地

古城趾 驛を距る東南二里餘、縣内面鷄足山頂にあり、築くに石を以てし

さながら近時の砲壘を望むが如く、附近今尙ほ瓦礫の散亂するを見る
其誰人の築けるやを詳にせず

立岩 驛を距る東北一里、砂金を多く産出す

馬尾浦川 鐵道橋梁 驛を距る四哩にあり、延長二八八呎

芙蓉江 驛を距る六哩三八八呎にあり、延長三九六呎

芙蓉江驛

(從釜山一八七哩三哩)

文義郡蓉浦に在り、公州郡、燕岐郡、文義の三郡は此驛を以つて其境界とす
此地は古來忠清道屈指の大市場にして、錦江舟運の便あり、日を逐ふて益々盛大ならんとす、市日の如き四方幾十の道路は白衣を以つて蔽はれ、其出市者の盛なるときは、實に六七千人に達す、夏季尙ほ貳千人を下らず、取引の重なるものは、米、大豆、鹽、煙草、綿花、木綿、砂金等にして、中にも鹽の如き其盛大なる事沿線中の一位を占む、附近河川多く、錦江、尾湖川、文義川は其有名なるものなり、地味肥沃にして、五穀の産出多し

○勝地

芙蓉山 觀月觀雪の勝地にして錦江を挾んで其對岸にあり、小巒重疊翠
綠滴らんとして煙霧之れを掠め松聲恰も鼓を打ちて泰平を祝するに
似、優秀其名に背かず

芙蓉寺 驛を距る南方八丁鳩坪にあり、結構壯麗ならずと雖も亦觀月に
よし

獨樂亭 錦江の下流約一里の河岸にあり、韓國先帝及大院君の觀月場と
して有名なる堂宇、大にして清穆、美にして壯、境內古雅風致頗る愛すべ
きものあり

廣竹岩 驛の東南一里餘に金嶺あり、邦人之れが採取に従事す、品質善良
なるを以つて需要多く將來益々有望の處なり

懸寺 巨大なる大伽藍にして、文義郡全部を眺望し得るを以つて明治二
十七年、東學黨起るや某將之を本營に充てたりと云ふ

公州 驛の西方錦江の下流五里、忠清南道觀察府の在る所、洪州以下三十
七郡を管す、市民の大半は商業に従事し、本邦人の商家亦多く、其商業區
域も頗る廣大にして、殊に韓國寶藏と稱せられたる、内浦の野を扣ゆ、陰
曆二、八兩月の大市に至りては、商賈廣集取引の盛なる國中第一なり、此
地は周唐以來の古都にして、要害の地なるを以つて頗る舊蹟に富む、理
事廳、小學校、銀行、病院、顧問支部、郵便、電信、電話の設備あり

江景 公州より約七里を降りし處、商業繁華の地を以て名あり、郵便、電信
電話の設けあり、公州より江景群山共に錦江上蒸氣船を以つて連絡し
得べく、將來有望の地たり

京釜線により公州、江景に旅行するものは、芙蓉江驛より河舟に因るを以
て最も便利とす、先づ芙蓉江の波止場を出づれば、水清く、河岸の巖巖參差
して、或は起き、或は抱き、或は走り、或は舞ひ、千態萬狀、夏雲の翔けるが如
く、其下流溪壑の間を行くに至りては、奇奔激湍、怪巖躍り、白波舞ふ、奇又
妙實に旅行者をして其疲勞を忘れしむ

○旅館

○芙蓉館

尾湖川鐵道橋梁

驛を距る一哩七八鎖にあり延長七八二呎

鳥致院驛

從釜山一九三哩四二鎖

燕岐郡鳥致院の北碓山前にあり此地は忠清北道忠清南道全羅南道に通ずる四通八達商業上樞要の地にして又穀類の産地たり邑は古來よりの市場にして新舊市場あり其開市の日に於て集るもの多きは五千少なきは二千を下らず其股販なる沿道稀に見る所なり邦人の移住するもの多く最近調査に依れば日本人口六百七十を有すと云ふ附近の土地平坦廣濶にして河流に富み尾湖川及鳥川は其有名なるものなり

新羅の時、其致遠なるもの始めて此地に市場を設く故に初めは其開市者の名に因みて報致遠と稱せしし、國音酷似せるが爲めに遂に轉訛して鳥致院と呼ぶに至れりと云ふ

○勝地

清州及趙憲事蹟碑

驛を距る約四里清州は清州郡にあり土地瘠沃所謂

清州の野を扣ゆ湖西の大都會なり高麗の末鄭道傳宰相を以て朝鮮太祖の謀臣となり李崇仁を誣殺したるの地にして又文祿の古戰場たり附近名所多し菩薩寺龍華寺唐山神堂等其著名なるものなり

趙憲事蹟碑は市の西門外にあり又た倭寇碑と稱す高さ丈餘幅二尺八寸趙憲我軍を防戦して功ありしことを記するもの文章頗る誇張を極む

鴨脚樹

は清州の邑内容舎の内にあり高麗恭愍王の時王助趙胖なるもの

の明より歸り王に白して曰く臣の明にあるや禮部一日臣を呼び語つて曰く汝が國人披平君尹彝中郎將李初め來り帝に訴へらく高麗王近頃不札を謀り新に兵を動かして中國を攻めんとするの志あり其宰相李穡曹敏修等其不可なるを諫めければ王大に憤り李穡等を誅戮し其他は悉く之を貶流す宜しく機に先ちて高麗を討伐すべしと趙胖王に示すに李穡等以下の姓名を印せる尹彝等の記すると稱するものを以

てす高麗王之れを見て大に憤り、人を遣はして尹粹以下を鞠責し、更に李穡等數名を捕へて獄に下し、大に其罪を責めしも皆な冤罪を述べ堅く取りて動かす偶々大雨雨遂に臻り河川暴漲し官舎民屋悉く漂失す客館に鴨脚樹數十株あり獄吏樹に攀りて僅かに免かるゝを得たり、王大に恐れ急に赦しを下し李穡等を放免すと云ふ

上黨山城 清州府の東凡二里東峰里の北に當り一峰高く雲表に聳ゆるものは即ち上黨山なり山中巨岩各地に蟠まり懸崖絶壁削るが如し山嶺城壁あり是れ百濟上黨城の基趾にして構造頗る堅牢今尙全形を有す高さ八尺餘周圍七千七百七十三尺城内松樹鬱蒼として繁茂し中に巨井總て十二あり大旱の時と雖も尙は水を絶たすと云ふ要害堅固にして所謂一夫之れを守れば萬夫破り難きの概あり故に古來屢々亂賊の據る所なりと云ふ

落影山 清州の東八里俗離山の北麓にあり滿山松樹を以て蔽はれ又奇岩怪石に富む世に傳ふ唐の時山影中原に落つ氣を望むもの出で之

れを見れば彌勒の佛像峰巒の上に劃せり因つて落影山と稱すと山峯秀麗附近亦烟霞の勝に富む

華陽洞 落影山麓にあり鬱蒼たる老松の影溪水に落ちて流る泉石明媚にして幽邃風景の絶佳なる八道第一の勝地なりと云ふ大儒宋烈晩年茲に退隠し華陽書院及煥章寺を創建せり境内の石上には昔崇禎皇帝の御筆非禮不動の四字を刻せりと云ふも今は存せず之れを距る凡そ一里仙遊洞と稱する處あり山水明媚なる敢て華陽洞に譲らず

○官衙學校

- 郡衙 ○太田警察署鳥致院派出所 ○郵便受取所
- 小學校 ○居留民團役所 ○騎兵隊本部

○旅館料理店

- 明治屋 南海樓料理 青山亭同上 喜久翠同上

全義驛 (從釜山二〇二哩四四鐘)

全義郡全義の南にあり邑は地勢高く丘陵連亘三面を圍繞せり韓人戸數

三百人口千三百餘往年は戸數僅少なりしも、鐵道開通以來著しく増加し漸次繁殖の模様あり

○官衙

○郵衙

小井里驛

(從釜山二〇七哩二二哩)

天安郡天安小井里にあり、寂寥たる寒村なり

○勝地

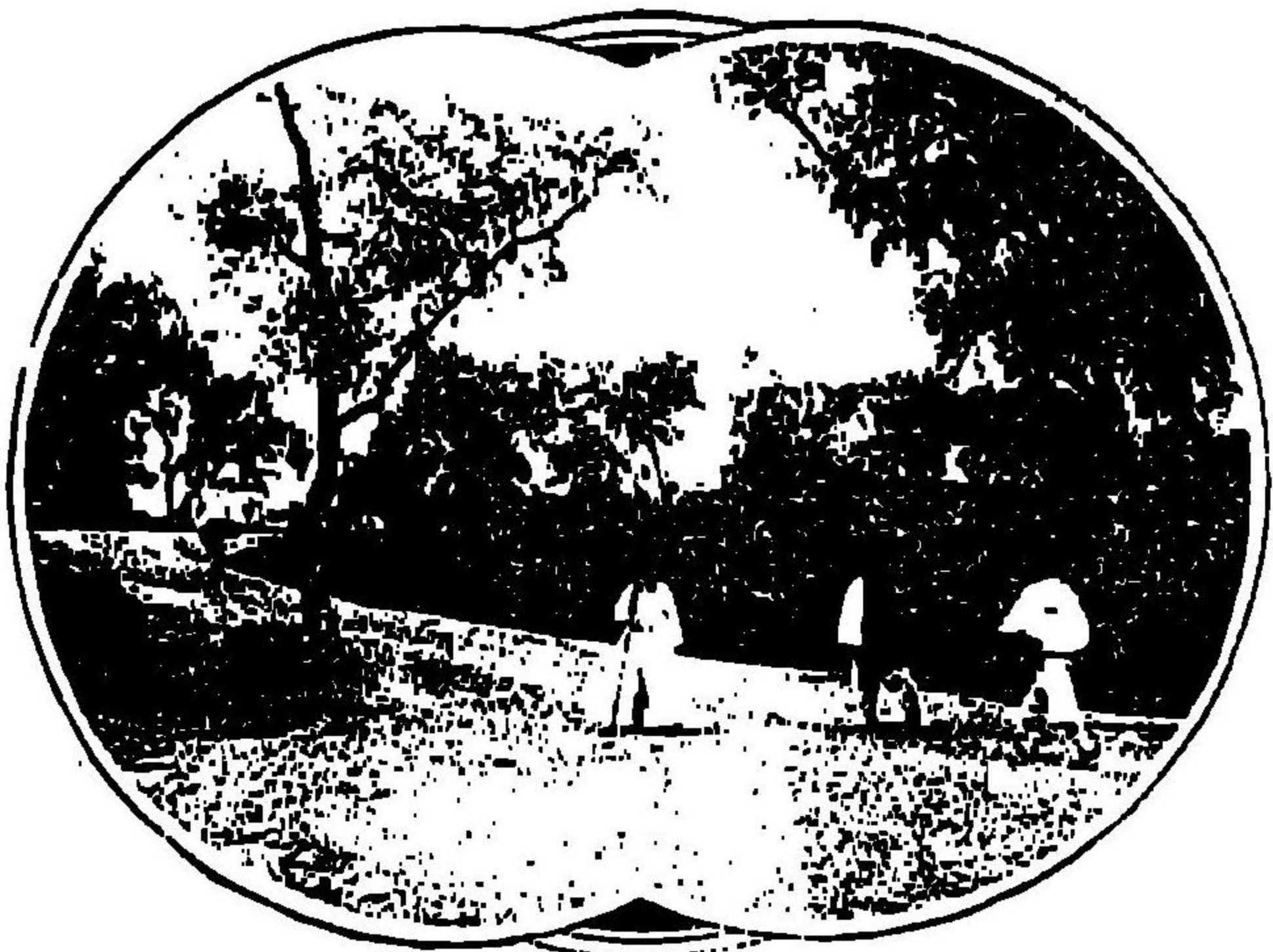
廣德寺

驛の西南三里にあり、昔時は忠清道第一と稱せられたる古刹なりしも、今は廢頽見るに足らず

天安驛

(從釜山二一三哩七五哩)

天安郡天安邑代里にあり、邑は三南街道に當り、有名なる市場なり、秋季より春季に亘りては、米穀類の出廻り多く、仁川方面との貿易稍々頻繁なり



行旅

地勢山丘多し

溫陽溫泉

溫陽郡に在り、世祖大王

葬て俗離山に行幸の歸途發見せ

しものなりと云ふ、大王初めて此

所に宮殿を建立せりと云ふも、今

は只其遺跡を有するのみ

浴場は太祖の建築に係り、故大院

君の重修せられたるものなり、泉

質阿爾加里性にして無色透明、温

度能く人に適す、韓國溫泉中の第

一位を占む

湯元溫泉館、新たに此處に増築を

なし、構造結構設備完全す

而して當鐵道は同所に往復せらるゝ、浴客に對し、期間二十一日、往復三

割引の乗車券を發賣す尙本乗車券所持の浴客に對しては宿泊料其他の諸費二割引の特約あり

驛より約三里道路平坦藤沢人力車の設けありて交通便なり

成佛寺 驛の東北約一里に在り名利にして眺望頗る佳なり

○官衙

○郵衙

○憲兵分遣本部

○稅務署

○郵便取扱所

成 歡 驛

(從釜山二二哩四五鎮)

忠清南道稷山郡に在り成歡とは内成歡外成歡とを合併したる總稱なり、人口五百有餘、牙山、屯浦の要衝に當り邦人の居住するもの約一百餘、地質砂金を含み、又岩金あり、此地日清戰役の古戰場たるを以て其名夙に顯はる附近商業上の中心と云ふべきものは、安城市にして、清川、鎮川各地より米穀、鹽、煙草等を入り、更らに此地の米穀と共に京城、仁川方面へ輸出す

鑛業 驛を距る東北三里餘にして良袋金鑛あり、澁澤淺野兩氏の鑛區にして直接之れが經營の任にあるは米國人なり、最新式の器械を輸入し

今將に第二の擴張をなさんと専ら設備中に勵せり、又韓國金鑛會社の砂金採集所あり、俱に吾同胞の經營に係り、事業の進捗と共に附近の發展も亦期して俟つべきなり

○勝 地

月峰山 驛の東北五六丁に在り日清の役、清軍の根據地たりし所なり、山腹溪間には皇軍激戰の跡、今尙歴々見るを得べし、山上に登れば屯浦白石浦の海上、恰も之を掌中に見るが如し、又山麓に滌愁樓あり、風光絶佳、元と察訪駐在所なりと云ふ、日清の役、清將合營の地なり、今は荒廢見るべきものなし

安城渡 驛の北方一里に在り、河幅五六間、日清の役、松崎大尉部下と共に

戦死したる所にして、彼の
 渡るに易き安城の云々を
 歌はしめたり當時を思ふ
 て此地を過ぐれば感慨無
 量禁ず能はざるものあり、
 而して今や何等標榜もあ
 らざるは遺憾とす
 稷山 驛を距る約一里に在
 り、邑は文祿の役黒田長政
 が水軍の將藤堂高虎の援
 助に依り、明將麻貴解生等
 を破りたる所なり、附近笠
 市場あり、従前砂金の取引
 甚だ盛なりしと云ふ



魚釣ノ上氷江淡

○官衙

○郡衙

●●●●●●●●●●
安城川鐵道橋梁

驛を距る三哩六六鎮にあり延長三八八呎

○郵便受取所

平 澤 驛

(從釜山二二七哩三一鎮)

京畿道振威郡通浦家にあり、安城の流れを隔てし忠清道平澤郡と相隣す
 地形一帯平坦にして東西五里地質肥沃にして韓半島唯一の穀産地たり
 各所に池沼の設けありて以て能く灌漑の便を得炎熱連焦草木猶枯死す
 るの酷暑と雖も早魃の虞なく五穀豐熟年々の産出數十萬石を下らず今
 や志あるもの踵を連ねて群集し農作を専勵し漸次數の増加するを見る
 に至れり西方數丁を経て軍門浦と相接す百貨運搬の便あり而して是等
 の産物は總て鐵道便を以て京城仁川を経て外國に輸送す附近河川沼澤
 多く素砂川通峰里川等其大なるものにして何れも軍門浦に至り舟楫の
 便あり西は屯浦白石浦を経て牙山灣に注ぐ東は素砂川を経て安城に達

す驛前面市街地は家屋連簷櫛比宛然たる大市街をなし日に月に新家屋の増加するに至れり京釜線中流車船舶の兩便を得たる主要地たり

○勝地

古戰場 素砂の東三十丁丘陵の下に小村落あり明治二十七八年日清戰役に當り時の將軍大島少將が砲兵陣地を設け以て敵と相睨し數時間激戰の後遂に多大の損害を與へ四離滅裂敵を東方に退却せしめ而して一夜暗憊たる殘月を眺めて露營せられ戰勝ちて後忠死せし數多軍人を祭りし古戰場なり枯草地に委し血痕滑かに醒風颯々とし襲ひ來れば慄然として轉た感慨の情に堪へざらしむ
安村 東五里にあり有名なる市場にして殊に穀類を以つて名あり商人の多くは同村に至り米穀の買占めをなし數萬の駄馬にて平澤に輸送し來る其狀連綿として數丁に亘る
屯浦 西方二里にあり安村に亞ぐの大市場にして市街櫛比人口數萬人

前面大河を控へ牙山灣の蒲潮と共に船舶の輻輳頻繁其他軍勿浦牙山邑等是れに次ぎ何れも穀類鹽の集散夥し

○官衙會社

○郡衙

○漢城共同倉庫株式會社出張所

○韓國興業株式會社

○郵便取扱所

○巡査駐在所

●旅館 加納屋

西井里驛

(從釜山二三二哩四九鎰)

振威郡西井里にあり附近丘陵起伏して汶狀をなせり

振威驛

(從釜山二三六哩一三鎰)

振威郡振威にあり邑は文祿の役黒田長政の古戰場たり地勢平坦にして平野廣潤南方遠く平澤の沃野に連る附近振威川(一名龜川)あるも水淺く

西下約三里黄口浦に至りて始めて舟楫の便あり

○官術會社

○郡街

○振成興會社日本人設立

烏山驛

(從登山二三八哩六九鎮)

振成郡烏山邑田野の間にあり、邑は平生寂寥たる一寒村に過ぎざれども其開市の日に當りては取引の盛なる水原に譲らずと云ふ烏山川は水淺く下流三里に至りて初めて舟楫の便あり

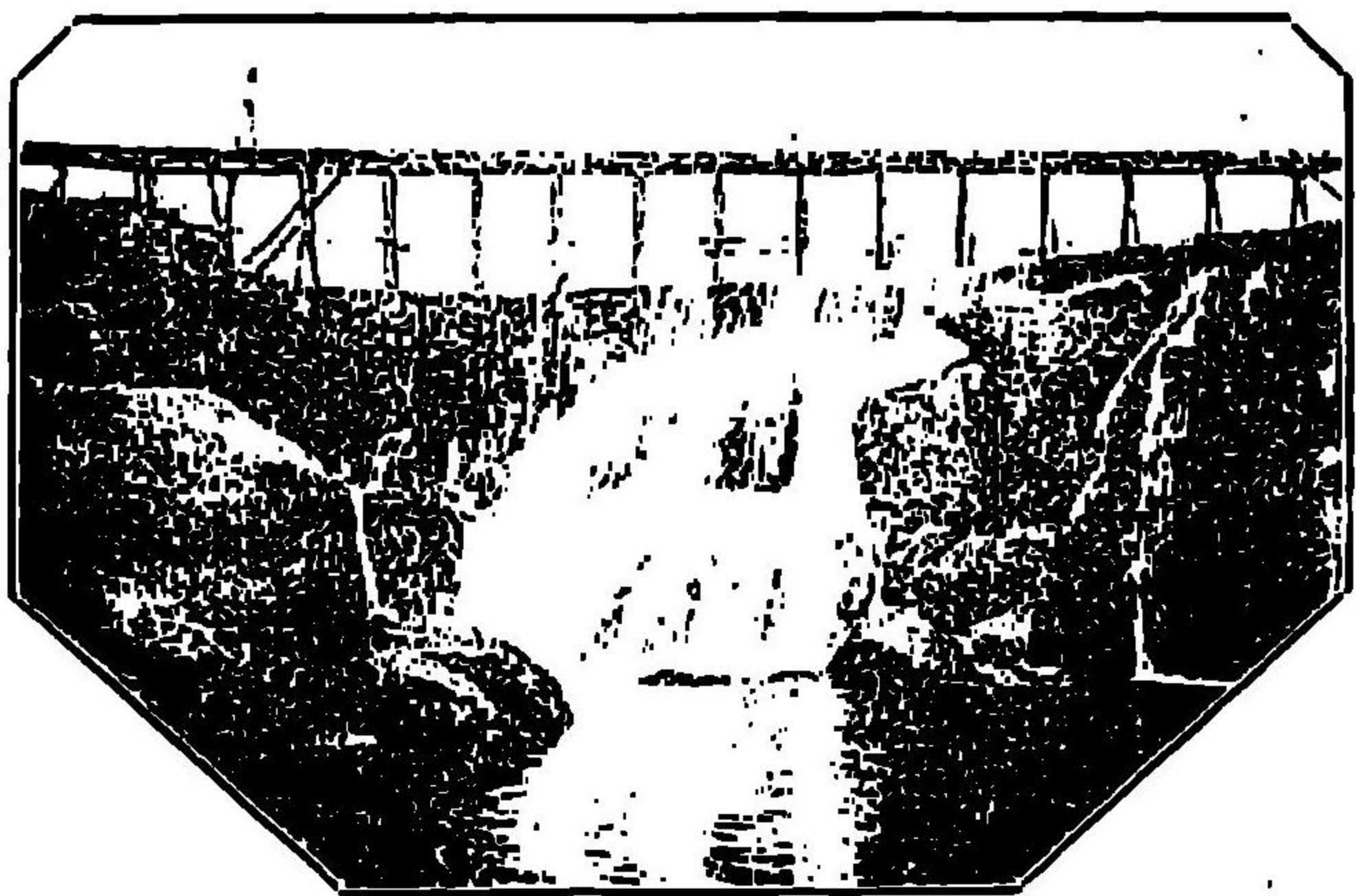
餅店驛

(從登山二四三哩七八鎮)

水原郡餅店村の傍らにあり寂寥たる一寒村なり

○勝地

洗馬臺驛の西凡一里許蒼たる松山あり洗馬臺と云ふ山麓に一小川あり



水原水運

り細南川と云ふ傳へ云ふ文祿の役加藤清正此の河水を塞ぎ敵の水道を絶つ敵偽りて城内水あるを示さんとし夜城樓に上り白米を以て馬を洗ふ清正水道を絶つも益なしとなし肉薄急に之を陥る爾來此地を洗馬臺と稱す山上に城趾を存す寶積寺 洗馬臺の絶頂にあり壯麗ならざるも之に登れば京城以南水原附近一帶の風色一望の中にあり

水原驛

(從登山二四八哩三九鎮)

水原府の西椽山里に在り府は別名を華城府と稱し京畿道に屬し觀察府の

所在地にして一府三十七郡の地方廳たり、南に八達山あり、府内の屏障たり、東北は光教山の一大山脈より南に連り、山脈に沿ふて丘陵起伏せり、八達山に登れば西南は渺茫たる廣野一望際涯なし、府城圍むに城壁を以てし、四大門を設く、東を蒼龍、西を華西、南を八達、北を長安と稱す、何れも二層樓より成り、内外二重門にして結構堅牢なり、附近は土地肥沃、農産豐稔、商業も亦頗る繁盛なり、今や日本戸數三百七十二、人口一千以上なりと云ふ

此地八達山華山を始めとし、樹木繁茂、翠色漏るが如し、本線路中絶へて見ざるの風色なり、多くは正祖の植林せしものなりと云ふ
 石材 驛を距る約二十丁の處に良好なる石材を産す、其額巨大なり

○勝地

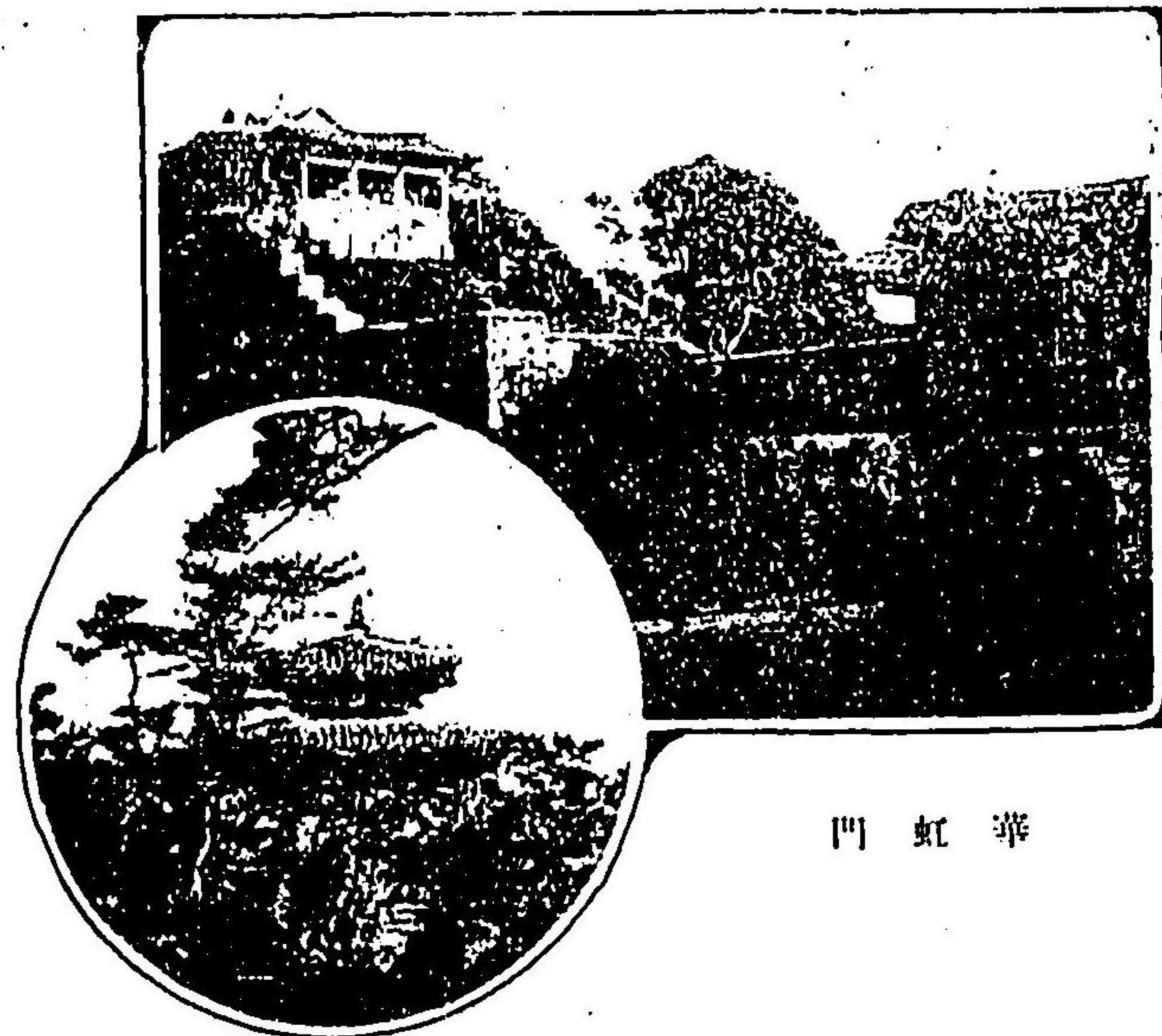
龍華殿 八達山麓にあり、山神を祀る
 華城將臺 八達山上にあり、西將臺と稱し、一朝事ある時は萬軍を指揮す

るため築きしものなりと云ふ、臺中御製の詩或は玉筆の大額を掲ぐ左の御作あり

堤防新爲重 經營不費勞
 城從平地起 壘綺遠天高
 萬衆規模壯 三軍意氣豪
 大風歌一奏 紅日在隣袍

華陽樓 八達山頂にあり、昔時望臺兼遊臺として築きしものにして、今は只其樓趾を存す、附近亦た眺望に富む

文廟 八達山南麓にあり、孔子及孟子の靈を祀れ



華虹門

華城將臺

り、正殿を大成殿と云ひ明倫堂其他五棟あり門前老大の杏樹及蓮池あり位置構造等先づ儒徒をして敬意を拂はしむ
未老閣亭 八達山腹にある小亭にして風光眺望一點の不足なく構造又奇正面に御製の詩を掲ぐ

天有此山有此亭

先王警蹕幾時停

至今傳誦不忘化

草木依然舊舊香

屏岩瀾水 八達山の東北にあり大屏風を立廻したるが如き巨岩の間より湧き出づる清水にして薬水と稱す附近清潔にして夏秋の遊場に適す

華城行宮 當時觀察府となり居れり今より百二十餘年前正宗大王の都

せんとして建築したるものにして、建築の華麗韓國第一と稱す

洛南軒 當時水原財務署となり居れり昔時は皇帝より六十歳以上の老翁に宴を賜ひし處なり

華寧殿 八達山東麓にあり是れ即ち水原城を築きたる正祖大王の英靈

を祀れる廟にして其建築壯麗を極む堀内は頗る清潔にして花木盤木等多く殊に牡丹芍薬霧島阜月五葉松楓等最も宜し

講武堂 昔時武術を練り兵書を講せし所にして建築頗る堅固なり

七間水 龍顔閣下の水門にして奇麗なる切石を以つて築きたる水口七

個あり夏秋二期の好遊地たり、正祖大王屢々此處に來遊せしと云ふ

訪花隨柳亭 砲臺兼遊臺にして四圍の景最も愛すべし殊に此亭の構造

に至りては奇又妙古代建築物に興味を有する士は是非一度之れを見るの價値あるべし

龍淵 八松亭前にある蓮池にして周圍十四丁あり

練武臺 東門内にあり東將臺と稱し昔時武術を講せし所にして今尙弓

術を學びつゝあり玉座等の設けありて構造頗る壯大且つ堅固を極む

梅香橋 七間水と九間水との中間に架り婀娜たる楊柳に抱かれたる狀

韓國中稀に見る所の石橋なり

九間水 果川を城外に透る水門にして其狀七間水の如し唯二個を増す

のみ

龜山 南大門外の小園なり、松樹森々清

流滾々として一小公園たるに恥ぢず

奉寧寺 東大門外の山中にあり、正宗大

王の靈を祭らんがため建立せるもの

閑静絶景なり

青蓮庵 光教山南麓にあり、本堂を極樂

寶殿と云ふ、七星閣、獨聖閣、奉香閣等七

種あり、風光眺望共に能く閑静にして

詩趣あり

白雲寺 光教山腹にあり、頗る眺望に富

む

水原八景

八達巖景 八達山は水原の南山にして其状恰



訪花隨筆

も飛龍に似たり高き貳拾餘尺の城壁は山頂を走り、銃眼窓櫺は穿たれ、砲臺は羅列せられ、幾多の樓臺は殘留し老松は森々として、り花木は點々として挿入せらる、雨後若し此所に遊ばんか實に身神の壯快禁する能はざるしのあるべし

西湖落照 昔時正宗大王の經營せられし貯水池にして、周圍十餘韓里、東に浮石山西に鶯峰、西雨遙に七寶山の翠ゆるあり、南隅に振眉亭あり、觀萬堤は更に一段の光彩を添ふ、夏秋の夕遊、造湖畔に吟ぜんか真に神境にあるの感あり

花山杜鵑 花山は松樹鬱蒼たる森山にして、莊宗、正宗二大王の英靈を祀り、有名なる龍珠寺は此中にあり、陰曆四月頃には滿山杜鵑花咲き亂れ、問はずも是れ花山たることを知るに至る

華虹觀瀾 華虹門は龍頭閣と稱し七間水の上に築かれ在り、清き果川は樓下を貫き涼風閣を破る、右に殿たる北樓あり、左に雅たる八松亭あり、後に淵々たる龍淵を扣へ、前に婀娜たる楊柳映り、叔父岩、叔母岩、馬堂山、光教山、八達山城皇社、社稷堂、青蓮庵、南北西の三樓、果水及水原全市等眼界にあり、而して老松之を抱き、樓下の水は泡沫を飛ばす、是れ實に水原第一の景勝地にして、夏秋此地に遊ぶものは天下無比の遊堂なりと呼ぶ

光教積雪 光教山は龍仁より起り、水原を経て廣州に亘る連山にして、果水の源を此處に發し、南麓に青蓮庵あり、山腹に白雲寺あり、而して京城の北漢山、果嶽山と併稱して京

鐵道の三高山と云ふ積雪の朝龍頭關東將蓋訪花隨柳亭或は北樓より之を認めば實に火

夫の心跡をして更に壯且つ快ならしむべし
北池賞蓮 北池は迎華にあり萬石禁と稱し蓮花を以つて名あり周圍の景又佳なり

南堤長柳 南堤は華城より花山に通ずる大路にして昔時南池の存せし頃は堤防なりし
を以つて此稱あり老木の楊柳兩側に連り春時は宛然金煙を飛ばすが如し自轉車乘馬等
の好適地にして又好散策地なり

螺陽谷月 螺陽は昔龍門と東將蓋との中間に建てる煉瓦作りの高樓にして砲臺兼遊臺な
り外形は即く内部は螺の如く實に面白き構造なり昔時は九月廿日夜大王自ら此樓に登
り月待の宴を開かれしと云ふ今は大に荒廢したるも四隣寂然秋景に富む

勸業模範場 明治卅九年創立統監府の經營に係るものなりしも其後韓
國農商工部の所管に移れり場員は技監勅任以下四十餘人殆んど日本
人を以つて之れに充つ

農林學校 は農商工部の主管に屬し韓國有爲の青年子弟へ農林業に關
する知識技能を授け併せて徳性を涵養するの目的を以て設立せられ
しものなり

農商工部林業科種苗園 は林業に須要なる種苗を養成し殖林其他を奨

勵するの目的を以て設けられたるものなり

○官衙學校會社

- 觀察府
- 郡衙
- 京畿監獄署
- 農林學校
- 農商工部林業科種苗園
- 日本居留民團役所
- 尙志農場
- 國武農場
- 川本農場
- 財務署
- 警察署
- 勸業模範場
- 普通學校
- (以上韓國)
- 公立高等小學校
- 東山農場
- 農事社

● 驛より各所に至る里程

△八達山	八丁餘	△花山	三十丁餘	△華虹門	十九丁
△西湖	八丁餘	△光教山	一里餘	△北池	一里十丁餘
△南堤	十二丁	△螺陽	十七丁	△龍華殿	六丁

- △華城將臺 九丁
- △屏岩洞水 十六丁
- △華寧殿 十六丁
- △訪花隨柳亭 十九丁
- △梅香橋 十五丁
- △骨蓮庵 一里餘
- △郡衙 十六丁
- △日本居留民團役所 十五丁
- 旅館 御蔭旅館 菊水旅館 山陽旅館 木内旅館
- 料理店 大阪亭 菊水支店 二葉 樹生 神力 梅の家
- △華陽樓 八丁
- △華城行宮 十六丁
- △講武堂 十七丁
- △龍淵 十九丁
- △九間水 十四丁
- △白雲寺 一里二十丁
- △裁判所 十五丁
- △公立尋常高等小學校 五丁
- △文廟 六丁
- △洛南軒 十六丁
- △七間水 十九丁
- △練武臺 十七丁
- △存寧寺 一里
- △觀音府 十五丁
- △勸業模範場 十丁
- △監獄署 十四丁

軍浦場驛 (從釜山二五五哩六四銀)

果川郡軍浦場村の傍にあり地勢丘陵多し邑は古來より永登浦水原間唯一の市場なり薪炭の産額も亦た少からず

○勝地

遅々臺 驛の東方約一里にして五峯山々麓にあり深遠にして松栢鬱蒼たり正祖大王華山に行幸し歸路此地に到り遙に之れを望み低徊去る能はず依りて遅々臺と名つく爾來歴世の國王皇陵に幸せらるゝ時は必ず鳳翥を茲に駐めらるゝと云ふ老松楊柳相點綴し風光亦佳なり

安養驛 (從釜山二五九哩三七銀)

始興郡安養村にあり安養川に接す地勢平坦なり

始興驛 (從釜山二六三哩四五銀)

始興郡始興邑田野の間に在り邑は郡衙所在地にして山間の一小平野なり

○勝地

冠嶽山 驛の背面約三十丁東北に亘る一帯の山脉あり其中最も高きを

冠嶽山と稱し全脈一帯を衿芝山と云ふ冠嶽山上に今を距る百餘年前の建築に係る古寺あり僧尼二名居住す虎壓寺と稱す山上に至れば風光絶佳漢江の流れ掌中のものゝ如し當寺は京城附近在住者の避暑地なりと云ふ

○官衙

○郵便

○郵便取扱所

○漢文學校

○財務署

永 登 浦

(從釜山二六八哩五一銀
從仁川一九哩三二銀)

果川郡永登浦に在り元京仁線の一驛にして仁川に至る接續點なり釜山方面より仁川に赴かんとするものは此驛にて乗換をなすべし京城と仁川間には各列車總て直通す此地は漢江の沿岸に濱し地勢平坦田野遠く連なり農産豐饒の地たり

○官衙學校會社

○度支部製陶所分工場

○京城駐屯隊監獄署

○郵便局電燈

○居留民團役所

○大塚醬油製造所

○尋常小學校

○志校組煉瓦製造所

●旅館 合旅館

鷺 梁 津 驛

(從釜山二七〇哩四七銀)

京畿道果川郡鷺幕にあり東南は山を負ひ西北は漢江を隔て龍山麻浦一望の下にあり鷺梁津は俗に甌店と云ふ東南二丁を隔て戸數凡貳百戸附近一帯の地質は陶器製作原料として良好なりと云ひ既に二百年以前より陶器を製出し今尙は二三の工場を存す又本邦人の經營する瓦製造工場あり依つて甌幕甌店の名あり邑は漢江の一要津にして江原道木材の集積地なり仁川水道は此地を基點とし漢江の淨水を引用せん計劃にて目下之れが工事に着手急ぎつゝあり仁川を相距る二十哩餘韓國水道としての大工事なり



漢江鐵道橋

○勝地

漢江 韓國に於ける有名なる大河にして驛の前面を流る所謂五大江の一なり洋々として漢城を環流し海に入る河水頗る清澄江岸亦甚だ風光に富む殊に夏秋二期は納涼觀月の勝地にして清遊の客を絶たず投網貸舟の設備あり若し夫れ嚴冬氷結して氷上牛車を走す所若くは白衣の韓人結氷を破りて白魚を捕り鯉魚を釣るの光景に至りては實に快絶と云ふべし

南漢山 驛を距る東南一里半にあり山骨突起巍峩たる禿山にして山路峻嶮攀登し易からざるもの山嶺に至れば眼界豁然千嶽万峰一望の下にあり其形勝雄偉人をして壯快の念に堪へざらしむ

三幕寺 南漢山の南端最高所に在り唐時代の建設にして巨刹なり堂宇總て五箇寺地境幽邃風光絶佳なり今は僧侶定住するも僅かに其遺跡を止むるのみ

月波亭 驛の前面丘上にあり三百年以前の建設にして頗る精巧を極む元韓皇の別邸にして後閔氏の拜領する所となり今は日本人荒井氏の有に歸せり

四忠書院 驛の背後に一小社あり李朝時代の建設にして時の忠臣四人の靈魂を祀る後の人名けて四忠書院と稱す寶物として之れに由緒ある畫幅ありと雖ども有位の人の秘藏に係り容易に緡覽するを得ずと云ふ

第二漢江鐵道橋 驛を距る二七鎮にあり延長二〇六三呎

第一河江鐵道橋梁、驛を距る六四鎮にあり延長六五一呎

○官衙

○水道局仁川出張所

龍山驛

(從新義州三〇九哩五八鎮
從釜山二七二哩二五鎮)

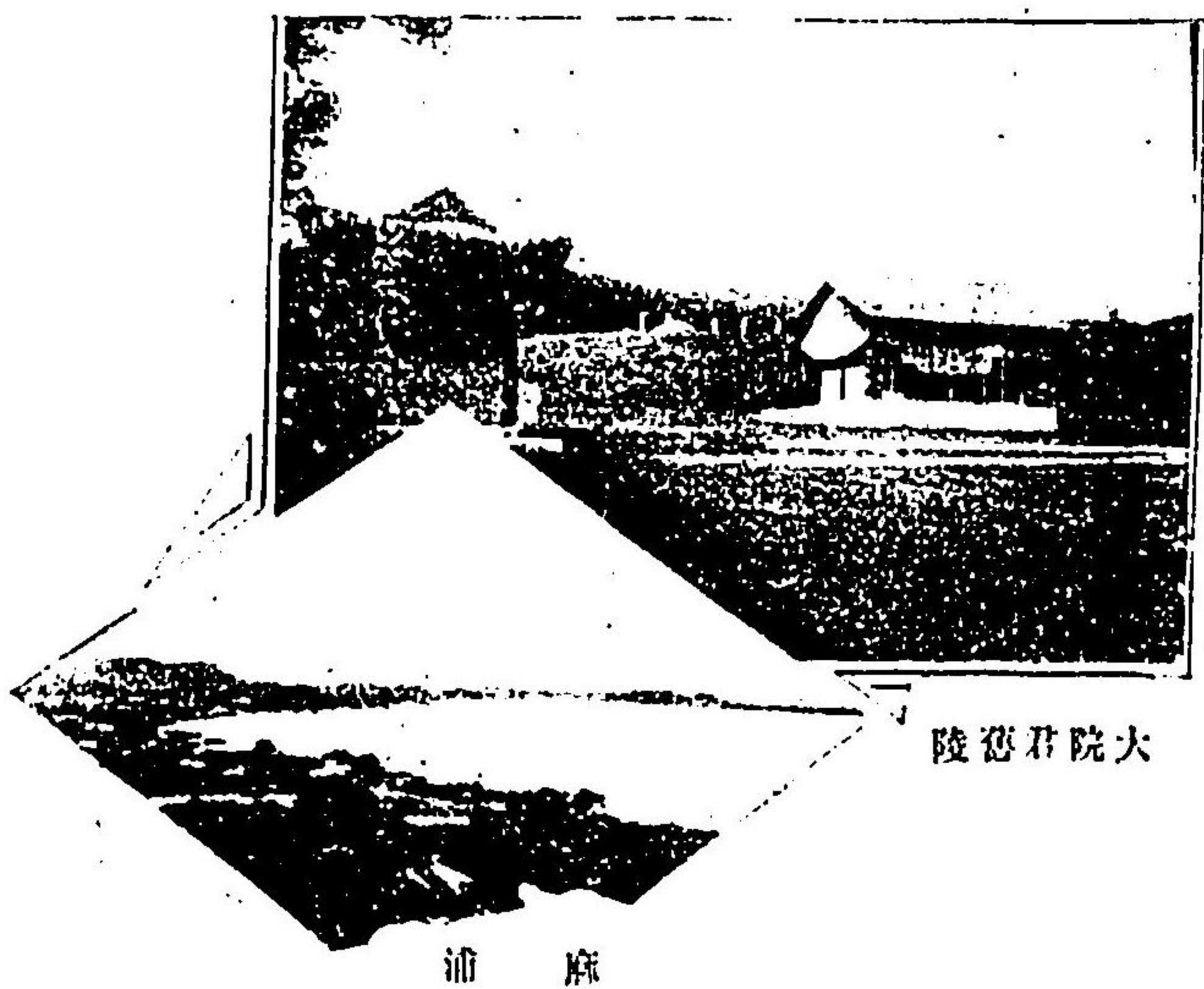
龍山津を距る數丁の處にあり、京義線の起點にして本線との分岐點なり。龍山は漢江の一要津にして古來燕島、麻浦、楊花津、鷺梁津と共に五江の一と稱せらる。邑は日露戰役と共に著しき發展を爲し市街を隔て數百の鐵道官舎は建築せられ十三師團は新築せらる。今や首府京城を呑まんとするの勢ひを以つて開け居住人口日本人四七六四韓人四〇〇〇を有し貨物の集散甚だ頻繁を極む

麻浦 龍山と相併ひ漢江の一要津なり度支部は此所に煉瓦製造所を設け是れが經營に勉めつゝあり其製出高頗る莫大なるものなりと云ふ

○勝地

孔德里大院君の舊陵 孔德里は大院君の舊陵にして麻浦にあり(楸は明

治四十一年一月坡州郡大德里に移さる)驛を距る西約二十丁京義線に沿ふて鬱蒼たる小丘を観る、則ち之れなり、碑あり題して大院君公園所と云ふ、蓋し邦人の建つる所なり、進みて境内に入れば四顧寂々として人語空しく時々伐木丁々の聲を聞くのみ、陵前左側に一の宏壯なる邸宅を見る之れ大院君の晩年隠遁閑居せられたる處にして白堊丹碧輪煥の美を盡さずと雖も却つて其素朴なるの



大院君舊陵

麻浦

邊に古英雄の風姿を想見し得べし

萬里倉一名龍山公園 驛を距る北五丁餘、韓延御陵の存する所にして一團の小丘より成り而して滿山老松蒼鬱として天を摩し、南山と相對して綠翠滴るが如し、杖を此地に曳かんとするものは元町四丁目より京義線鐵道線路に沿ふて進めば忽ち俯蒼たる深林の眼前に浮ぶを見る即ち右折して行くこと數百歩にして小逕の御陵に通するあり、是一度此境に入れば滿目の光景幽邃閑雅にして絶へて俗塵なく時々珍禽奇鳥の喧嘩として妙音を弄するの所、心氣頓に爽然として身仙境に在るの想あり、殊に小逕の雨側は松柏參叉として枝を交へ天日を掩蔽し其實景恰も山陽の所謂遇人休問南禪寺、一帶青松路不迷に彷彿として京洛南禪寺畔に遊ぶの感あり、更に丘上に到れば西南最も曠豁にして展望十數里に及び其間漢江蜿蜒として山野の間に隱見す、白帆相來往するの狀實に天下の絶景にして世人の龍山公園と呼ぶ寔に宜なりと云ふべし、此地嘗て日清の間風雲漸く急ならんとするや我大島混成旅

團の先發隊たる小原隊來りて駐屯し頻りに劍戟を磨して進軍の令を俟ちたる所にして又多少の歴史的趣味なきにあらず、文人墨客は素より天下の遊人は須からく一顧すべきの地なり

銅雀津 龍山より東北二里漢江上流にあり、文祿の役加藤清正の漢江を渡りたる所なり

龍津 龍山の東三里漢江上流にあり、小西行長の漢江を渡りたる所なり、行長は南大門より清正は東大門より相前後して京城に攻め入れり、此時行長の清正に先つこと僅かに四十分餘なりしと云ふ

○官衙、會社、學校、寺院

○第十三師團

○龍山兵器支廠

○陸軍倉庫龍山支庫

○龍山郵便局

○駐劄軍經理部 龍山出張所

○憲兵分遣所

○居留民團役所

○度支部印刷局

○韓國度量衡事務局

○警察署

○居留民團立草常高等小學校

○韓美電氣會社發電所

○第十八銀行出張所

○本派本願寺別院

○龍山魚市場

○増田精米所

○第五十八銀行出張所

○日興宗興國寺

○龍山精米所

○藤勝煉瓦製造所

●旅館 大陽旅館、丸萬旅館、田尻旅館、長崎屋旅館

●料理店 八景園、和歌の家、玉乃江、北海樓、萩の江

△交通

●驛より各町に至る人力車賃金表

△旭橋通り梅町茶町

金拾貳錢

△老松町

金拾五錢

△元町二三丁目櫻町凱旋町

金拾六錢

△元町二四丁目

金貳拾壹錢

△軍司令部

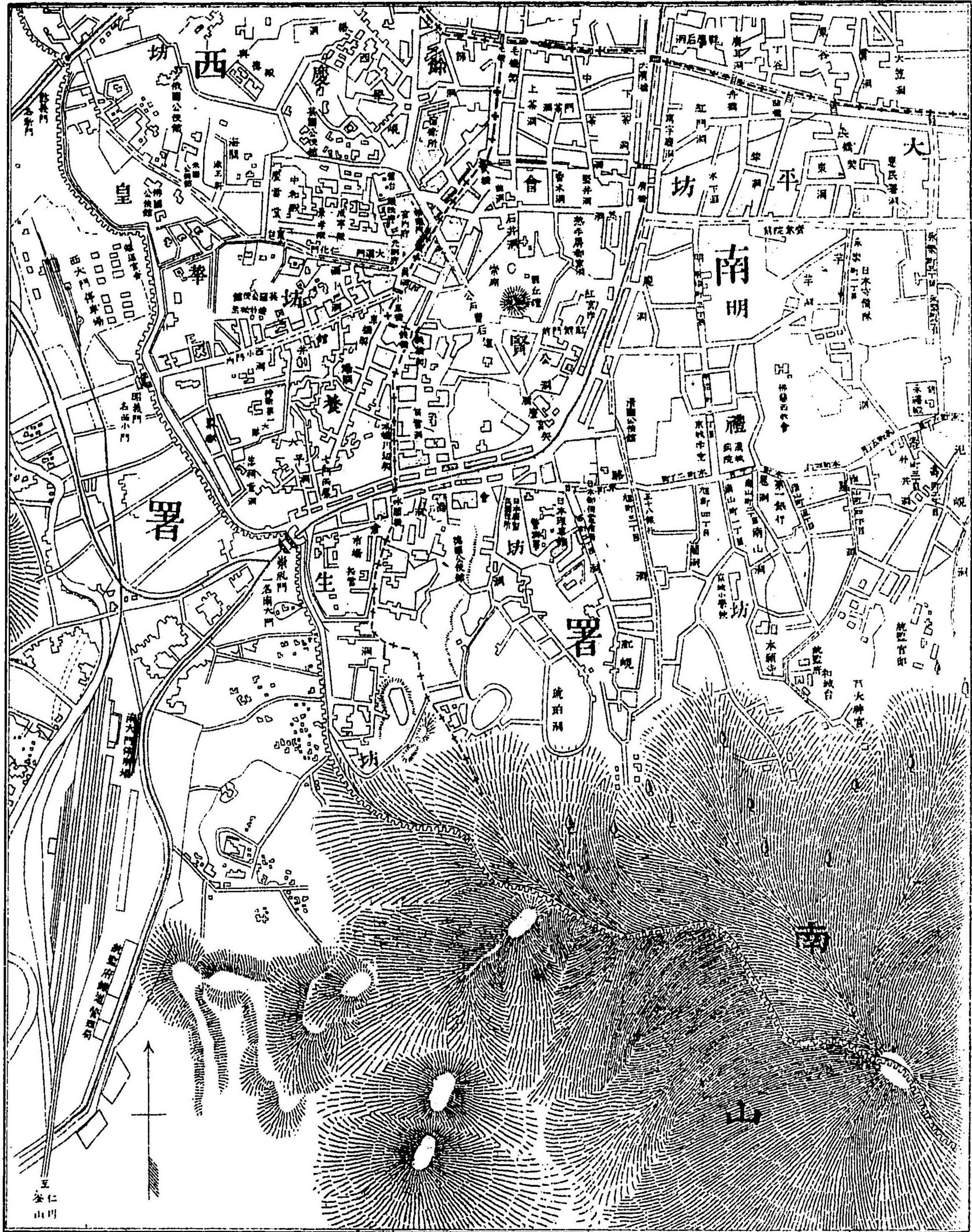
金貳拾五錢

○本願寺前を基點とし京城各町に至る賃金表

△京城南大門

金參拾五錢

圖面平近附及場車停門大南



- △同理事廳新皇城西小門 金四拾錢
- △同赤門鐘路西大門 金五拾錢
- △新町舊皇城 金六拾五錢
- △東大門 金七拾五錢

右の外時間待一時間金拾錢一日雇金壹圓八拾錢中日金壹圓二人挽二倍雨雪泥濘之際二割増夜間雨雪泥濘之際四割増

●電車鐵道 龍山京城間を絶へず往復す而して龍山を基點とし京城の中央鐘路に至り更に岐わつ右東大門終點に達し左西大門及麻浦に至る

南大門驛 (從釜山二七四哩二四鎖)
西大門驛 (二七四哩七三鎖)(京釜線終點)

南大門驛は南大門外西大門驛は西大門外にありて俱に京城城壁外にあり京城は韓國の首府にして漢城漢陽皇城若しくは韓語ソウルと別稱す西に白蓮山仁王山東に寶藏山天鮮山北に北漢山南に木覓山在りて府城を圍み漢江は府の東南を遶れり山河襟帶實に勝景の地たり府は東西

三十丁餘南北二十丁餘周圍繞らずに延長八万九千六百十尺高さ十尺乃至二十尺の石壁を以てし、八城門を設く、曰く崇禮門一名南大門、曰く興仁之門一名東大門、曰く敦義門一名西大門、曰く光熙門一名水口門、曰く彰義門一名北門、曰く惠化門一名東小門、曰く照義門一名西小門、曰く肅靖門是れなり、各二層樓より成り結構壯嚴を極む、就中崇禮興仁の二門最も雄大なり、城壁は太祖李成桂の築く所にして故大君院之を修築せり、市街は城の内外に連り區劃井然たり、其最も繁華なるを鐘路とす、東大門及西大門通の分岐點なり、人馬絡繹織るが如し、我邦人の居留地は泥岬一帯の地に屬す、滿街悉く日本風の商賈齎を列べ頗る繁盛なり、清國人は専ら南大門通り貞洞鐘路水標橋附近に居住せり、人口二千餘悉く商業を營む、其勢力亦甚た輕んずべからず、歐米人の居住地は貞洞にあり、在留者は各國を通じて僅かに八十餘名にして主に公使館員及宣教師等なり、京城は消費地なるを以て其貿易も亦輸入多く最近の調査に依れば百六十五萬圓以上に上れり、城内朝市數箇所を開かれ市



昌德宮邊亭

民の日用品を供給し其額毎朝壹千圓を下らずと云ふ其最も繁華なるは南大門通なり

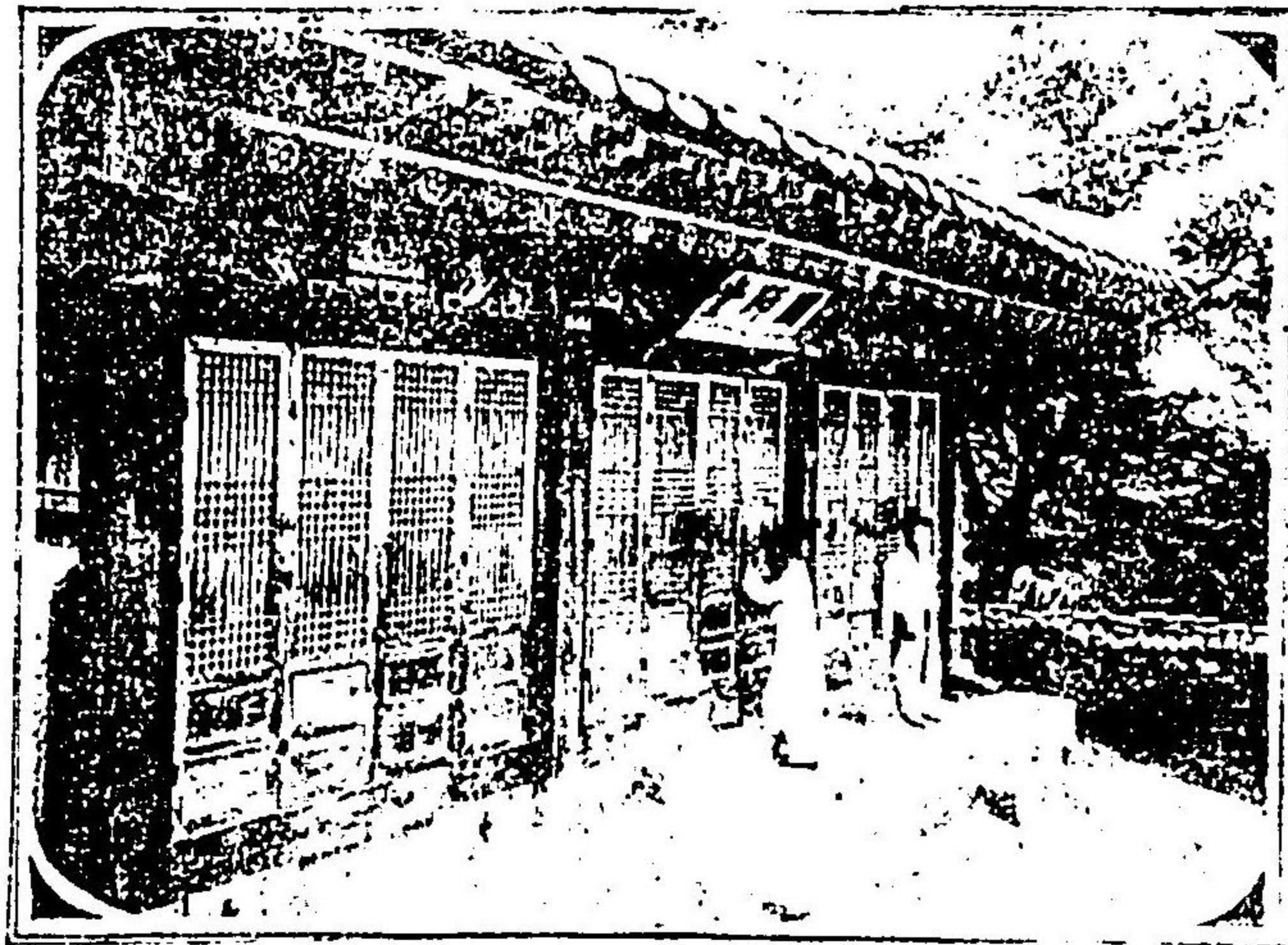
○勝地

昌慶宮 鐘路より東大門に通ずる大路中北に折れ東小門に至る約十丁餘にあり、弘化門は其正門にして太祖李成桂の時壽康宮と稱せしが李成宗の十四年貞喜王后及び仁粹王大妃及び安順王后の爲めに増築を起し昌慶宮と稱す、西大門驛を距ること約四十丁の距離にあれ

ども途中電車の便あるを以つて歩行する箇所は僅かに七八丁に過ぎず

昌[△]徳[△]宮[△] 昌慶宮の西北隣にあり等しく太祖李成桂の建造にして文祿の役に先だち焼失せしかど光海君の朝に至り再築したるものなりと云ふ宮の正門を敦化門と稱す敷地頗る廣大にして古樹繁茂し幽邃靜雅天然の風景に富み加ふるに殿堂門樓房舍離亭連なり庭の中央に園池を造り林泉四流し龜鼈群をなし數多の白鷺飛翔す一度杖を此園内に曳くものは終日其歸るを忘るゝもの妙しとせず

景[△]福[△]宮[△] は昌慶昌徳兩宮以前の建築に係り太祖李成桂統一後の宮城中最も古きものに屬す我が文祿年間民亂に罹り殿閣堂宇悉く灰燼に歸し爾來二百五十有餘年蓬草の裡に殘礎を存する而已なりしが先帝即位の初大院君攝政に當り王室の式微を痛嘆し奮然一大勇斷を以て無前の大宮闕を建築し大に皇室の尊嚴を立奉れり時之れ實に我慶應元年なりとす其後三十餘年間の王政は一に此宮闕より出で明治二十八



南 山 國 師 堂

年に至り乙未の變ありしより皇帝は遂に此宮闕を見捨て一時露國公使館に遷幸せられ越へて一年現皇居なる慶運宮に還御在らせられたり是より以後石門堅く鎖され復た鳳姿の影なく蘭麝の香なし宮城の周圍一千八百三十歩、墻壁の高さ二十一尺、四大石門を設け正門を光化門と稱し北を神武門東を建春門西を迎秋門と名づく門内は常に守衛の巡檢佇立して出入の人を誰何す西大門驛を距る十數丁電車は絶へず光化門前を往復す

慶應宮

西署餘慶坊に在り、本朝元宗の舊邸にして光海君の建造に係り、周圍九百二十歩、外牆の高さ二十五尺、往時は五門を有せしが皆廢毀せられて今は唯正門たる興化門を止むるのみ、崇政殿を除くの外本宮諸堂皆頽廢せり、昔時の宮苑蔓草萎々老松落々、詩人雅客をして轉た懷舊の情に堪へざらしむ、我明治三十三年に及んで慶應宮の後苑を造らんとし、宮牆を改築して高架橋を西大門内に架し虹橋と名づく

慶運宮

西署皇華坊にあり、往時月山大君の邸跡なりと言ふ、文祿の役後修築を加へ宮闕となし、光海君の朝慶熙宮に遷宮せられてより西宮と改め王妃の居に充つ、其後明禮宮と改稱せられ、今を逆る二十年前迄は故閔妃の私宮たり、先帝の三十二年即ち我明治二十九年乙未の變起るや露國公使館に潛幸せられ、次で此宮を修理し、我明治三十一年、此所に移御せられたれども、明治三十六年三月火災に罹り殿閣の半ばを烏有に歸せり、其後再築する所ありしも敷地狹隘にして築造も亦質素を極む、正門を大漢門と名け、其他西北に平章門、東北に布德門、北方に生陽

門あり、兵營、宮内府、禮式院、孰れも本宮城内に設けらる

大理石十三層塔

俗に蠟石の塔と云ふ、中署塔洞、パコタ公園内にあり、此塔は十層にして上部三層は卸ろされて其傍にあり、傳へ云ふ文祿の役、我軍本國に持ち歸らんと欲し、上部三層を取り卸ろしたるも甚だ重くして遂に意の如くならず、其儘に放棄して今日に至ると、實に此塔姿は今を去る五百六十年前高麗時代の遺物にして、佛像を各層各個に彫刻しあり、内外人の最も珍物視する所とす、電車に投じ鐘路に下車するを便とす

龜碑

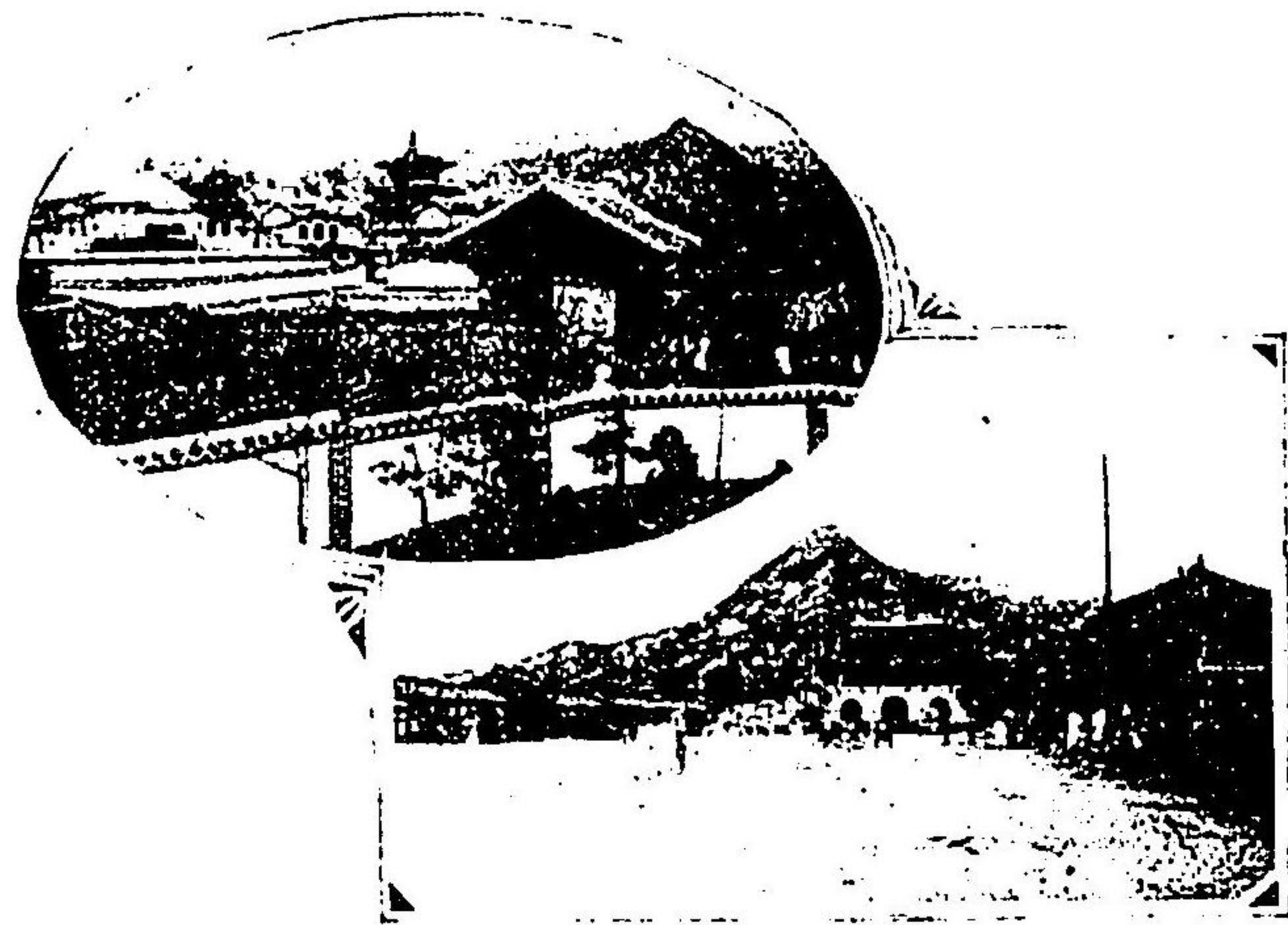
蠟石の塔を去る南三十歩同パコタ公園内にあり、龜は花崗石より成り、長さ十尺有餘、背の上に大理石の碑を建つ、碑は長方形にして頭に双龍珠を争ふの狀を彫す、横に大圓覺寺之碑なる六字を刻せり、蓋し圓覺寺は太祖成桂の建造する所、今は唯僅かに其跡を存するのみ、碑文は鄭蘭宗の書にして、實に四百二十年前の遺蹟なりとす

パコタ公園

蠟石の塔、龜の碑等の古蹟あり、地形狹隘、四面瓦壁を以つて

繞らし、周圍約三百間に過ぎず中央に池あり池畔に小亭を設く設備充
 分ならず公園と稱するよりも寧ろ邸園に近し
 普信閣 鐘路十字街にあり俗に鐘樓と稱す樓内に大鐘を懸く鐘は今を
 去ること四百有餘年前之鑄造に係り高さ一丈餘周圍二丈餘往時之を
 崇禮門(南大門)に置き日出日没の二回之を打鳴らし時を報す後明將楊
 鎬更に此樓に移すと云ふ
 萬歲門 西大門より鐘路に通ずる大路中北側にあり光化門前郵便局と
 相對し韓國風の小堂なり繞らすに鐵柵を以てし堂の中央に石碑を建
 つ
 訓練院 東小門内にあり廣潤たる空地の一隅に建ち明治十三年朝鮮兵
 訓練の任を帯びて駐韓せし我陸軍工兵中尉堀本禮造氏の宿舍たりし
 が明治十五年の變亂に際し堀本中尉は遂に此家屋に於て殺さる前面
 の空地は練兵場となり又日韓兩國諸學校生徒の春秋大運動會場等に
 使用せらる

東廟 興仁門外東大門外にあり關羽を祭れる所にして文祿の役我軍の
 爲めに朝鮮入道を蹂躪せられ明
 の援兵により亡滅を支へつゝあ
 りしが偶々豊大閣の莖するに際
 し軍を引上げたるを彼等は倭寇
 を國外に驅逐したりと爲し明軍
 の聲言に惑され是れ全く關羽遺
 靈の奇蹟なりと信じ宮殿を建て
 關羽を禮拜するに至れり電車に
 投じ東大門に降車せば數丁にし
 て到るを得べし
 北廟 惠化門(東小門)附近にあり南
 廟東廟に比し規模小なれども諸
 般の設備概ね南廟を摹倣せり先



光化門 同丘壇

帝即位後或夜關羽を夢み次で関后も亦同一の夢を見玉ひたる不思議により此地を相して此廟を建つ、正殿右側の碑文は先帝の親撰にして書は前參政故大臣輔國閔泳煥の救命により記したるものなり

文廟 一名孔子廟と云ふ孔子孟子等を併祀す、正殿を大成殿と謂ひ大祖の建立せし廟なり、大成殿の額は當時の書家黃石峯の筆なり、此廟は惠化門内成均館の南、西大門より約一里の東方にあり

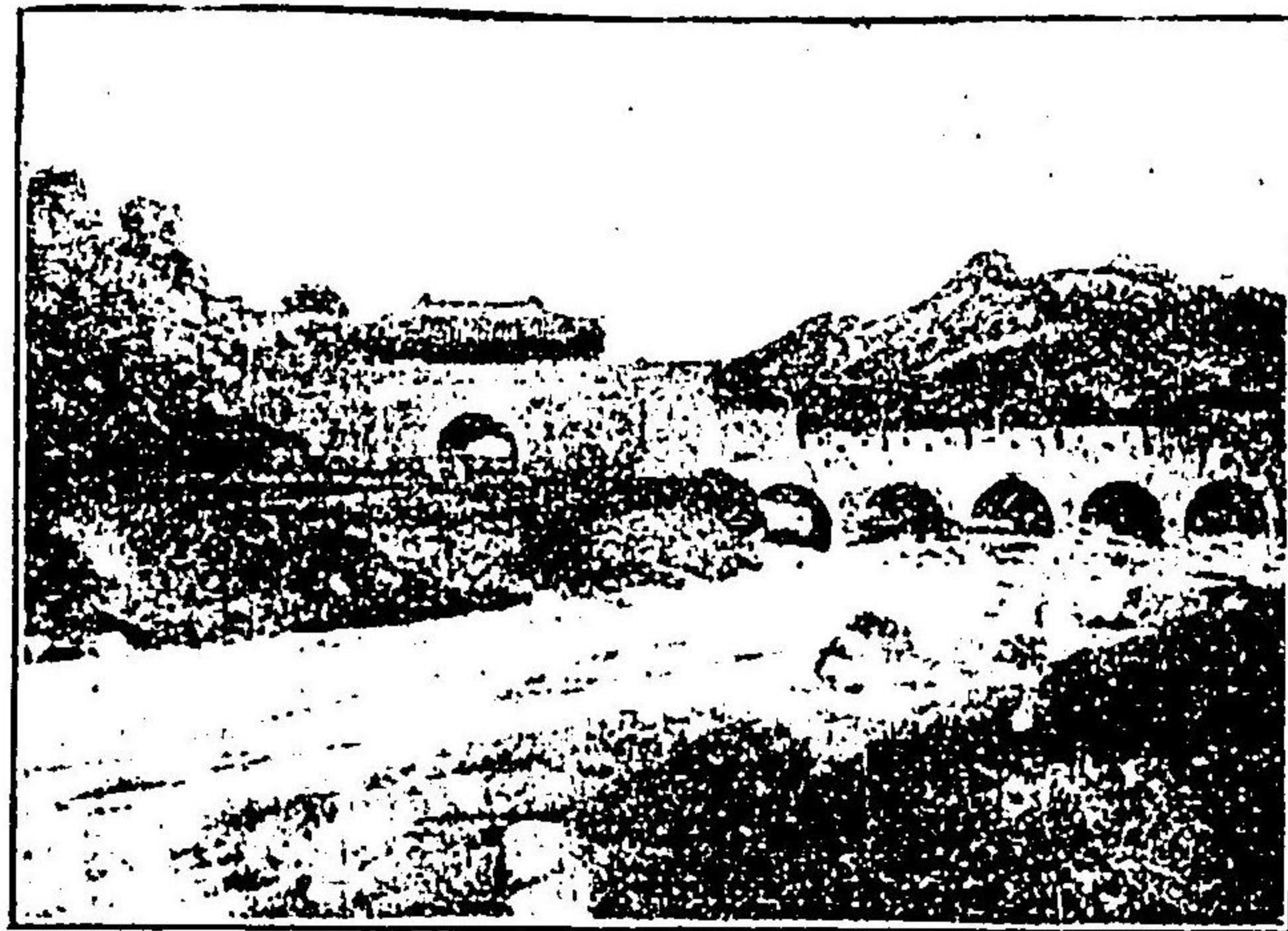
獎忠壇 水口門内の南邊にあり、南山東麓の溪間に位し壇は東方に面す此邊一面の平野にして溪流其前を流れ頗る風光に富み、四季の眺望他に得難き所なりとす然れども此地は韓國の忠臣を祭る所なるを以て猥りに雜人の出入を許さず、毎秋一回祭祀を舉行し忠臣の靈を祭ると云ふ

清涼里 東大門外約一里半故明成皇后(関后)陵のある所、陵は山麓にありて洪陵と稱す、老松雜樹繁茂し風景佳なり、電車の便あるを以つて内外人士の杖を曳くもの亦多し

角山 京城の北約三里白雲臺國望臺仁秀峯より成れるを以つて三角山の名あり、山上に北漢山城の北門あり、決斷岩浮石起石白雲水等の奇岩多く、其高さ約三十丁、坂路極めて峻峻にして懸崖絶壁より成り、匍匐して蔓を據するの嶮所あり、臺上に達すれば曠濶たる平地にして俗に千人を座すべしと云ふ、連山悉く眼下に蟠り異艸奇花岩石の間に生し老松亦其間に混り胸襟爽濶にして眼目清快、人をして眞に仙境に在るの想あらしむ、仁秀峯の頂上に小石を累積したる小塔あり、傳へ言ふ往時一人の僧ありて毎日一小石を携へ頂上に至り遂に此塔を建立せりと

其他高麗百濟時代の探るべき遺蹟多し

北漢山城 三角山脚にあり、本朝肅宗、左相李儒に命じて城壁を築かしめたるもの、周圍七千六百二十歩、四門及二暗門を設け、西に重城を築き、軍營を置き糧食を蓄へて不虞に備へ、又た行宮を建て北漢山離宮と稱す、離宮の四圍は悉く老樹喬木を以て繞され風景甚だ佳なり、當時人家五百戸を有せしが今纔に七十戸を存するに過ぎず、大南門、大西門、東將臺



北 漢 山 五 浦 水

り高麗の末世李成桂此地に於て祖師より業を受く祖師の没後門弟等

西將臺及京城北部に通ずる間道の暗門あり重興寺も亦本城内にありて諸寺中最も著名の寺刹にして高麗顯宗の祝髮寓居したる所殿内に三位の佛像を奉置せり秋天高く氣清き時試に杖を此城内に曳けば紅葉全山を染め城内の溪流素沙白石の間を縫て或は合し或は岐れ水聲潺湲として山彦に響き幽韻雅趣近郊第一の勝景地を以て其名遠近に知らる

大古寺 重興寺の東方にあり大古

祖師の建造に係るを以て此名あ

相謀りて閤を設け碑を建立したり

文殊庵 北漢山大南門外の西にある一小庵なり庵の西に五百羅漢の塑像を安置せる羅漢殿あり庵の後に大石窟ありて數百人を容るゝに足る窟の邊に冷泉湧き常に山遊者の渴を醫す

僧加寺 北漢山附近にあり都城内一望眼中にありて三伏の節と雖も炎

暑を忘る寺内に快泉湧き甘冽なり俗に藥水と呼ぶ都城内貴族の子弟常に書を携へて此地に遊びしが何時しか病者の轉養地となり僧徒離散して堂宇頽落し狐狸の巢窟ならんとせしが後修理を加へられて壯麗の寺院となれり此附近に新興寺藥寺清岩寺あり又尼寺としては豆毛浦にある僧房著名なり

天然亭 西大門外にあり古來西池の名あり池中には蓮を植へ夏季に至れば蓮花滿開し美觀を極む池畔に樓を建て清水館と稱し別に一小亭を設け天然亭と名く清水館は往年日本公使館として時の全權代理公使花房義質氏の駐劄せし所なりしが我明治十五年韓兵暴民に混同し

て訓練隊教官堀本中尉を殺害し更に一轉して我公使館を襲撃し公使
花房氏以下館員二十餘名は防戦數時間辛ふして身を逸し仁川府より
牙山灣に趣き英國砲艦に據りて救助を得たれども此時公使館は暴徒
の放火する所となり公使居室たりし天然亭を除くの外は其影を認め
ず唯僅に荒草茫々たるの間殘礎廢石の散在するのみ西大門を距
ること西南五丁に過ぎず

獨立門及獨立館 西大門外義州街道にあり左側に見ゆる洋館は即ち獨
立館にして前面の石門は獨立門なり初め館を慕華樓若くは武二所と
稱し武科の登用試験所たりしことあり後明使の口説に隨ひ迎恩門と
改め明使の送迎を此門に於て行へり明治二十八年日清役後全く清國
との關係を絶ち獨立國を宣揚して獨立門と改め同時に慕華樓を轉稱
して獨立館となす更に其傍らに國民演說臺を設け専ら一進會の會場
に充つ

碧帝館 獨立門を去る北方三里餘にあり文祿の役小早川隆景の一軍此

所に明將李如松を撃破せし所として其名を知らるれども敢て遺趾の
探るべきものなし

石波亭 彰義門(北門)を出で坂路を下ること數丁左に高さ一亭あるを
見るべし是即ち石波亭にして故大院君李呈應氏の別邸たり庭園廣く
喬木奇岩多く溪流其間を走りて風致を添へ後ろに山を控へ幽靜閑雅
春夏秋冬の眺望に富み文士騷客の杖を曳くもの多し閣上の扁額は故
大院君の親筆なり

洗劍亭 石波亭を下ること尙數丁溪流に沿ふて六角形の一亭あるは洗
劍亭なり往昔光海君綾陽君を此所に幽し密かに殺さんとする綾陽君是
を覺り義兵を擧げて光海君に向ふ軍氣大に奮ひ皆劍を岩上に磨して
一撃都城に突進し遂に光海君を卻け綾陽君を立て位に即かしむ依て
一亭を建て洗劍亭と名け後世に傳へたり

蕩臺城 洗劍亭の前面溪流を隔て相對す以前は城門を設け軍衛を置
きしが荒落頽圯して今は纔に古關坊たりし面影を止むるのみ此地三

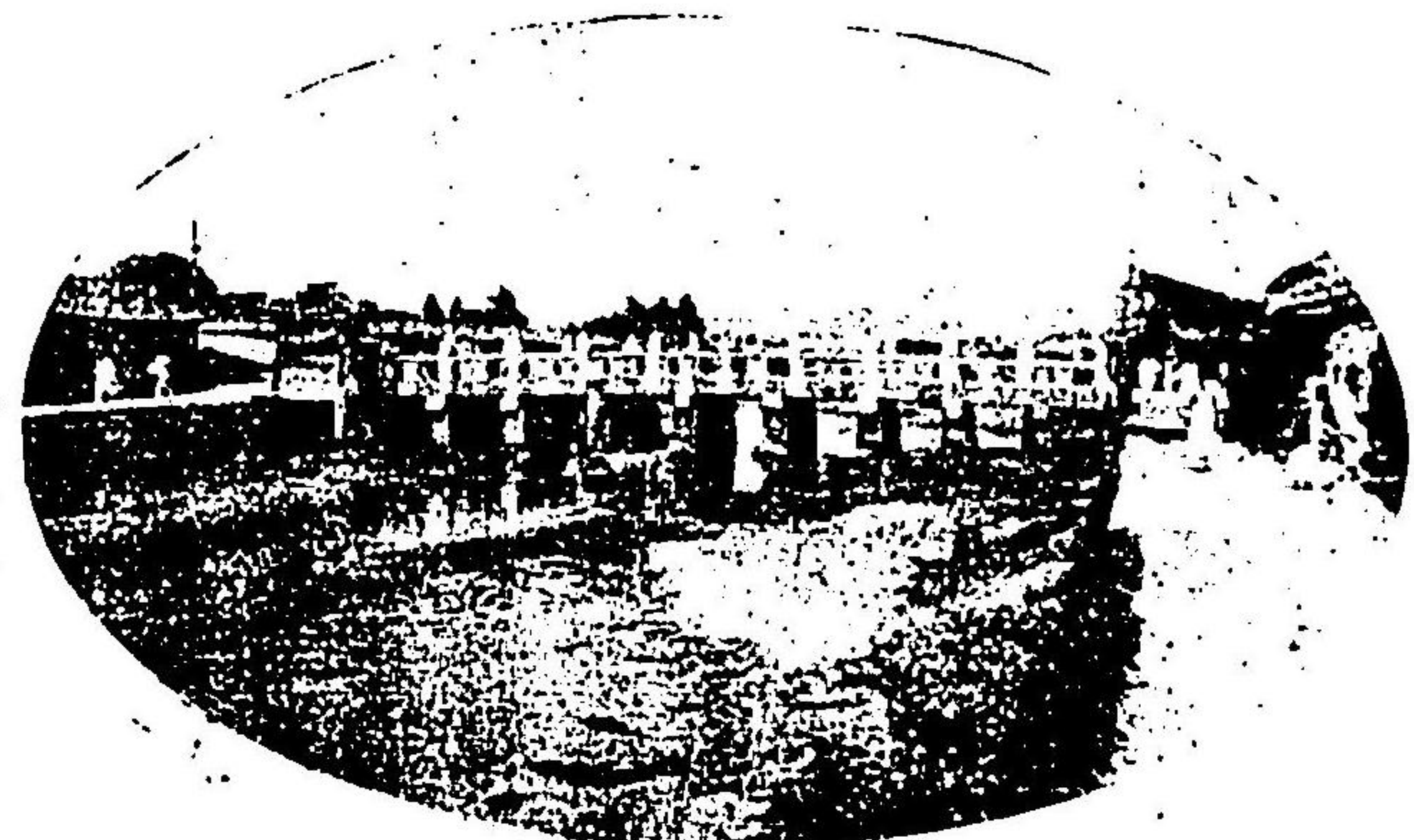
國時代新羅百濟の古戰場にして後ち高麗の太宗武烈王此所に寺院を建て、藏義寺と命名せり、其後更に湧春臺を築き、永く當年の紀念を傳ふ。濟川亭、西大門を距る約二里、漢江の北岸にあり、古代明使の來る時は必ず此亭に勸遊するを常とせり、文祿の役、右相李陽元精兵一千餘を率ひて我軍に對抗せし所、今は幾變遷して唯亭の殘礎を存するのみ。

梨泰院、南大門を出て、西十丁餘の地點より南に折れ、山逕を辿れば、八九丁にして一小村落に達す、此村を梨泰院と謂ひ、戸數百餘、戸四面山を以て圍まれ、風景佳なり、傳へ云ふ、文祿の役、我兵の此地に駐屯せること一年有餘日、當時病者老兵にして進退を共になし、得さりしもの、此地に残され、遂に故國に歸るの機なく、子孫相傳へて今日に至る、概して日本人を祖先とし、今尙他村との通婚をなさず、又甲冑刀劍類を藏する家ありと云ふ。

南廟、南大門外城壁に沿ふて左方に進まば、山の中段に高閣あるを見るべし、是れ南關亭廟にして、正殿を順聖殿と云ひ、關羽を祀る所、正面には

關羽其他の像を奉置し、繪額も亦關羽に關したるもの多し、文祿の役、遊擊將軍陳寅、蔚山の戰に負傷し、居を此所に構へて療養すること久し、後其居跡に、此大廟を建てたりと、數年前火災に罹り、現在の社殿は五六年前の建築なり。

侍衛聯隊跡、南大門より西小門に至り、城壁に沿ひたる兵營是れなり、侍衛第一聯隊第一大隊及第二聯隊第一大隊の兵舎なりし、か明治四十年七月、日韓新協約により廢兵となり、解隊を命せらるゝや、突然反亂を企て、此營舎に籠城して反抗す、時正に八月一日、之れが沈靜に向ひたる日本軍は、南大門及西小門樓上より機關砲及小銃を利用して、盛に叛兵を攻撃し

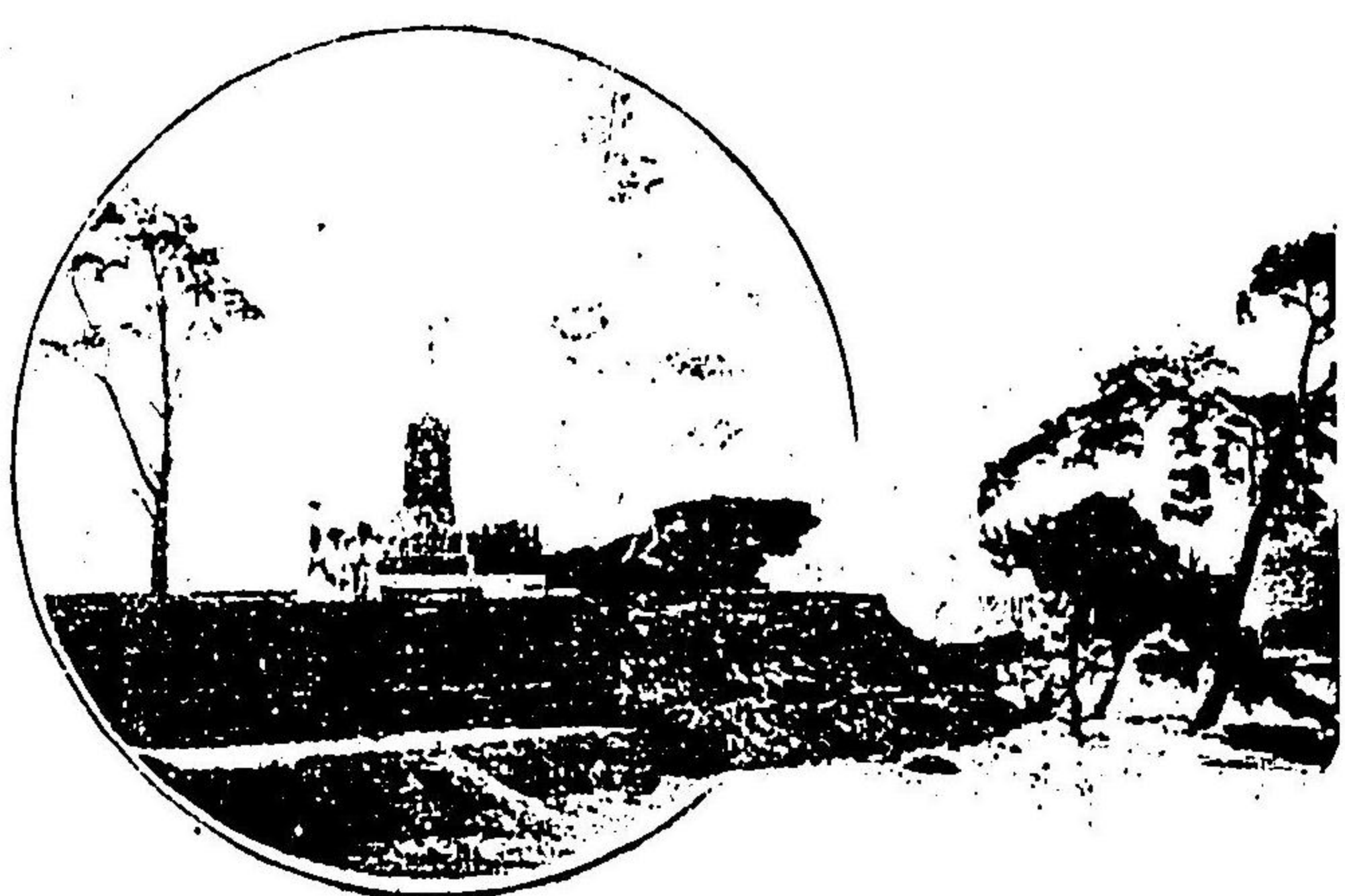


水標橋

一部隊は肉薄突撃遂に營内に侵入す、中隊長梶原大尉以下の戦死せしは此時なりとす、韓兵亦頑強に抵抗を持續せしかば遂に破られて或は死し或は捕虜となり又は曩きの鐵柵を打ち毀ち城壁を飛び下りて逃走せし者も尠ならず、閔大隊長以下叛兵の死傷算なく死屍累々各所に横わり鮮血淋漓泥土に塗し、慘狀名狀すべからず、今尙は韓兵暴行の跡を止め見る者をして當時の戦鬪を追想せしむ

圓丘壇 會賢坊公洞にあり、以前南別宮と稱せしか、我明治三十年之れを改め圓丘壇とせり、改築を起し先帝大君王の格を昇して皇帝即位式を擧げられたる所なり、八角形黃塗りの高樓は當時の式場にして、門内は濫りに雜人の出入を許さず

倭城臺 南山の中腹統監府廳のある所俗に南山公園と呼び京城市中は一覽眼中にあり、面積約五百坪、天照皇太神宮及天滿宮の社殿を建て又神泉と名くる貯水池ありて居留地に供給せる輕便水道の源泉たり、臺の正面に鎗身形の紀念碑あり、碑文に甲午戰捷紀念の文字を刻す、明治



甲午戰捷紀念碑

二十七八年戰役後居留民の建設せしものにして此附近老松蔭を交へ其西方一帶は掛茶屋軒を連ねて遊客を招く四時の風致に富み、夜間の眺望亦美觀なるを以つて人の往來織るか如し、昔文祿の役増田長盛一部の兵を此所に屯營せしめしに因り倭城臺の名ありと云ふ

南山 本名を木覓山と呼び全山悉く松樹を以て蔽はる、京城四圍の城壁は蜿蜒長蛇の如く此山の頂上を超ゆ、頂上に至るには倭城臺、甲午戰捷紀念碑の左側よりせば

凡そ二十分間にして達するを得べし頂上に至れば眼界數里に亘り龍山鷲梁津永登浦より漢江下流を始め東は遠く楊州地方を望み得べし絶頂に國師堂あり巫女其傍らに居を構へて參拜者を待遇す堂の後方に二坪餘の石壘あるは南山烽燧台なり三四年前迄は其遺墟判然せしも今は纔かに遺台を殘すのみ

○日韓官衙

- 議政府 (慶運宮の側にあり)
- 宮内府 (慶運宮中にあり)
- 通信管理局 (慶福宮前にあり)
- 内部學部度支部 (慶福宮前にあり)
- 農商工部漢城裁判所 (慶福宮前にあり)
- 侍衛大隊軍部 (京福宮前にあり)
- 平理院及監獄署 (鐘路街附近にあり)
- 法部警務部 (京福宮前にあり)
- 總稅務司廳 (和泉町にあり)
- 漢城府 (西大門街にあり)
- 觀衆所學部附 (景福宮迎秋門前にあり)
- 東部警察署 (東洞二橋にあり)
- 西部警察署 (西大門外にあり)
- 北部警察署 (北署松峴にあり)
- 南部警察署 (本町一丁目にあり)
- 陸軍衛戍監獄龍山分監 (西大門外にあり)
- 仁川測候所京城支所 (馬頭山にあり)
- 統監府 (倭城臺にあり)
- 軍司令部 (大和町二丁目にあり)
- 理事廳 (旭町一丁目にあり)

▲學校

- 憲兵隊本部 (明治町三丁目にあり)
- 憲兵隊分隊 (明治町三丁目にあり)
- 英美露佛領事館 (西大門内慶運宮の南方にあり)
- 獨白清領事館 (日本居留地附近に存在す)
- 京城郵便局 (本町一丁目にあり)
- 南大門郵便局 (南大門外にあり)
- 西大門郵便局 (西大門外にあり)
- 東大門郵便局 (東大門通りにあり)
- 筆洞郵便局 (本町七丁目にあり)
- 新町郵便局 (新町遊原附近にあり)
- 光化門郵便局 (光化門前にあり)
- 日本居留民團役所 (旭町二丁目にあり)
- 韓國人商業會議所 (鐘路にあり)
- 日本人商業會議所 (壽町にあり)
- 一進會本部 (赤門通にあり)
- 韓國基督教青年會 (鐘路にあり)
- 保稅倉庫貨物取扱所 (古市町にあり)
- 京城高等小學校 (日の出町にあり)
- 同上分校及幼稚園 (南山町二丁目にあり)
- 普隣商業學校 (明治町一丁目にあり)
- 法官養成所 (西大門外にあり)
- 工業傳習所 (東大門内にあり)
- 韓國陸軍武官學校 (北署三清洞にあり)
- 光成實業學校 (西小門内にあり)
- 明進女學校 (中署にあり)
- 培栽學堂 (西小門内にあり)
- 李花學堂 (西小門内にあり)
- 日語學校 (校洞内にあり)
- 英語學校 (工後洞にあり)

- 法語學校 (磚洞にあり)
- 英語學校 (典洞にあり)
- 師範學校 (磚洞にあり)
- 嶺山學校
- 修學院
- 德語學校 (磚洞にあり)
- 高等學校 (紅峴にあり)
- 成均館 (養賢洞にあり)

▲病院

- 大韓病院 (中署馬東山にあり)
 - 大韓赤十字病院 (景福宮西門前にあり)
 - 済衆院 (南大門外にあり)
 - 漢城病院 (明治町一丁目にあり)
 - 陸軍衛戍病院 (明治町三丁目にあり)
 - 驅敵院 (新町二丁目にあり)
- 其他居留地重なる病院は安東病院、清井病院、植村病院、養化病院等なり

▲銀行及會社

- 天一銀行 (廣通橋附近舟橋にあり)
- 第一銀行京城支店 (本町三丁目にあり)
- 第十八銀行 (銅峴にあり)
- 日宗生命保險株式會社支店 (石井洞にあり)
- 韓美電氣會社 (鐵路にあり)
- 京城實業株式會社 (本町三丁目にあり)
- 漢城銀行 (小安洞にあり)
- 第五十八銀行 (本町二丁目にあり)
- 東洋生命保險株式會社支店 (長谷川町にあり)
- 藤田合名會社 (明治町二丁目にあり)
- 京城起業會社 (南大門道にあり)

- 京城水産物株式會社 (南大門外にあり)
- 三井物産會社 (本町二丁目にあり)
- 韓城共同會社 (南大門外にあり)
- 日韓印刷株式會社 (明治町三丁目にあり)
- 内國通運株式會社京城支店 (南大門外にあり)
- 大韓勸業株式會社 (旭町三丁目にあり)
- 大東運輸株式會社 (御成町にあり)
- 韓國金鑽株式會社 (新阜城前にあり)

▲新聞社

- 皇城新聞
- 大韓每日申報
- 京城日報
- 帝國新聞
- 萬歲報
- 京城新報
- 國民新聞
- ソールプレス
- 大韓日報

▲旅館

- △アストフハウス (西大門近隣)
- △東雲旅館 (大漢門前)
- △不知火旅館 (旭町二丁目)
- △巴城館 (南山町三丁目)
- △九州旅館 (三好町)
- △天真樓旅館 (南山町二丁目)
- △旭館 (本町三丁目)
- △マラスホテル (大漢門前)
- △橋本旅館 (南大門通四丁目)
- △三ヶ月旅館 (旭町三丁目)
- △牧野旅館 (壽町一丁目)
- △櫻家旅館 (南大門内)
- △原金旅館 (南山町四丁目)
- △浦尼旅館 (壽町一丁目)

▲料理店

- △山本旅館 (曙町) △紅葉館 (南大門驛附近)
- △日の丸旅館、 (南大門通二丁目) ○梅田旅館 (南大門驛前)
- △京城日本人倶楽部 (南山町三丁目) △藤原旅館 (理事館前)
- △花月樓 (南山町四丁目) △井門樓 (曙町一丁目)
- △巴州亭 (南山町四丁目) △清華亭 (永樂町三丁目)
- △江戸川亭 (本町二丁目) △松葉亭 (南山町一丁目)
- △梅月亭 (本町六丁目) △韓洋亭 (本町六丁目)
- △エーテール (南大門驛前)

▲劇場

- 歌舞伎座 ●本町座 ●京城座
- 阪本座 ●韓人劇場

▲人力車賃金表

- 自南大門驛
- △南大門内 金拾錢 △日本理事廳及警察署附近 金拾五錢
- △本町三丁目 金貳拾錢 △統監官邸附近 金貳拾五錢

●電車鐵道

東大門を發し龍山に至るには分岐點鐵路にて乗換をなすべし而して西大門及麻浦に至るには乗換を要せず

●乘車賃金及區劃

- 一區金五錢とし左の五區に分ち學生は半額とす
- 一自東大門 至鐘路 一自鐘路 至西大門
- 一自西大門 至麻浦 一自鐘路 至南大門外鐵道驛路交叉点

- △本町六丁目 金貳拾五錢 △本町七丁目 金參拾參錢
- △永樂町赤門附近 金參拾錢 △大觀亭附近 金拾八錢
- △鐘路 金參拾錢 △景福宮及統監府 金參拾七錢
- △昌德宮表門 金四拾貳錢 △昌德宮橫門 金四拾八錢
- △新町 金四拾貳錢 △陸軍病馬廠 金四拾五錢
- △東大門通兵營附近 金四拾貳錢 △龍山停車場 金四拾貳錢
- △龍山避病院 金貳拾五錢

一時間待無料其他一時間毎に金拾錢一日雇切壹圓四拾錢半日九拾錢雨天泥濘二割増夜間一割増夜間雨天泥濘三割増

一自鐵道線路交叉点 至龍山

梧柳洞驛 (從永登浦四哩四〇紐)

京畿道富平郡水呑面にあり京仁舊街道の中央に位し、曾て旅客の晝餐驛として繁榮せしも鐵道開通後頓に衰頽し、今は村家處々に點在するのみ

素砂驛 (從永登浦八哩八紐)

富平郡石川面深谷里に在り附近大也洞と稱する市場あり毎月陰曆一六の日を以て開市す活牛の賣買甚だ盛にして今や日本人口百以上なりと云ふ

○官衙

○郡衙

○巡査駐在所

○郵便取扱所

富平驛 (從永登浦一一哩四八紐)

富平郡同所非面大井里にあり富平府を距る里餘大井里の西端にして韓國政府度支部は附近仁川郡朱安面に鹽業模範場を設け、今や製鹽試驗中なり製法は天日製鹽にして其成績良好なりと云ふ

紐峴驛 (從永登浦一八哩八紐)

仁川驛を距る東南約一里市の東端龍岡町に在り市街の北部又は東南部に往復するものは此驛より乗降するを便とす、附近菜園多く山東白菜の産地にして其多くは支那人之れを耕作せり

○勝地

桃山公園 驛の東方約十丁元陸軍墓地にして牛角洞の一小丘にあり、我明治十五年及十七年の變亂に際し堀本中尉礮林大尉以下の戦死者を埋葬せる處なり當時花房公使は僅かに身を以て月尾島より英艦に逃る花房氏墓きに日本東宮殿下御渡韓に隨從せられ歸途此處に詣られ



通岸海港川仁

たり南は遠く海上の風致を一瞥の中に望み近く仁川全市街は指呼の中におり眼を東方に轉すれば嵯峨たる山岳を縫ひつゝ蜿蜒長蛇の走るが如き鐵軌を望む右顧左顧其趣きを異にする風景誠に佳なり春季桃花爛熳綠草蹊を没するの時に至りては眞に桃山の名に愧ぢず

観測所 紐幌驛に下車し車
を各國公園に馳すれば丘
の頂上に天候を報ずる旗

轍線々とする處の洋館は即ち觀測所にして常に天候の觀測に従事し午砲を居留民に報ず仁川港の全部を一望の内に收め月尾島と相對し遠く水天彷彿の間明滅たる眞帆片帆の往來するを見る其趣き佳なり

仁川醬油株式會社 紐幌驛の東方にあり中天高く煤煙を漲らし煉瓦作りの平屋之れなり同社は資本金二十萬圓にして其釀造高九千石に上ると云ふ

類原農園 は牛角洞にあり其區域三萬坪以上にして重に果實を出すと云ふ

仁川港

(從南大門二五哩五四銀 從釜山二八八哩三銀)

仁川港の西端に在り月尾島と相對す驛と月尾島間に架したる橋上及築堤の鐵道線路延長一哩餘小月尾島に達するものを月尾島支線と云ひ輸出入物資の運搬に便益を與ふる妙しとせず由來當港は潮水の干満劇甚にして其差三十尺に及び大船巨舶は多く港外に碇泊するを常とす

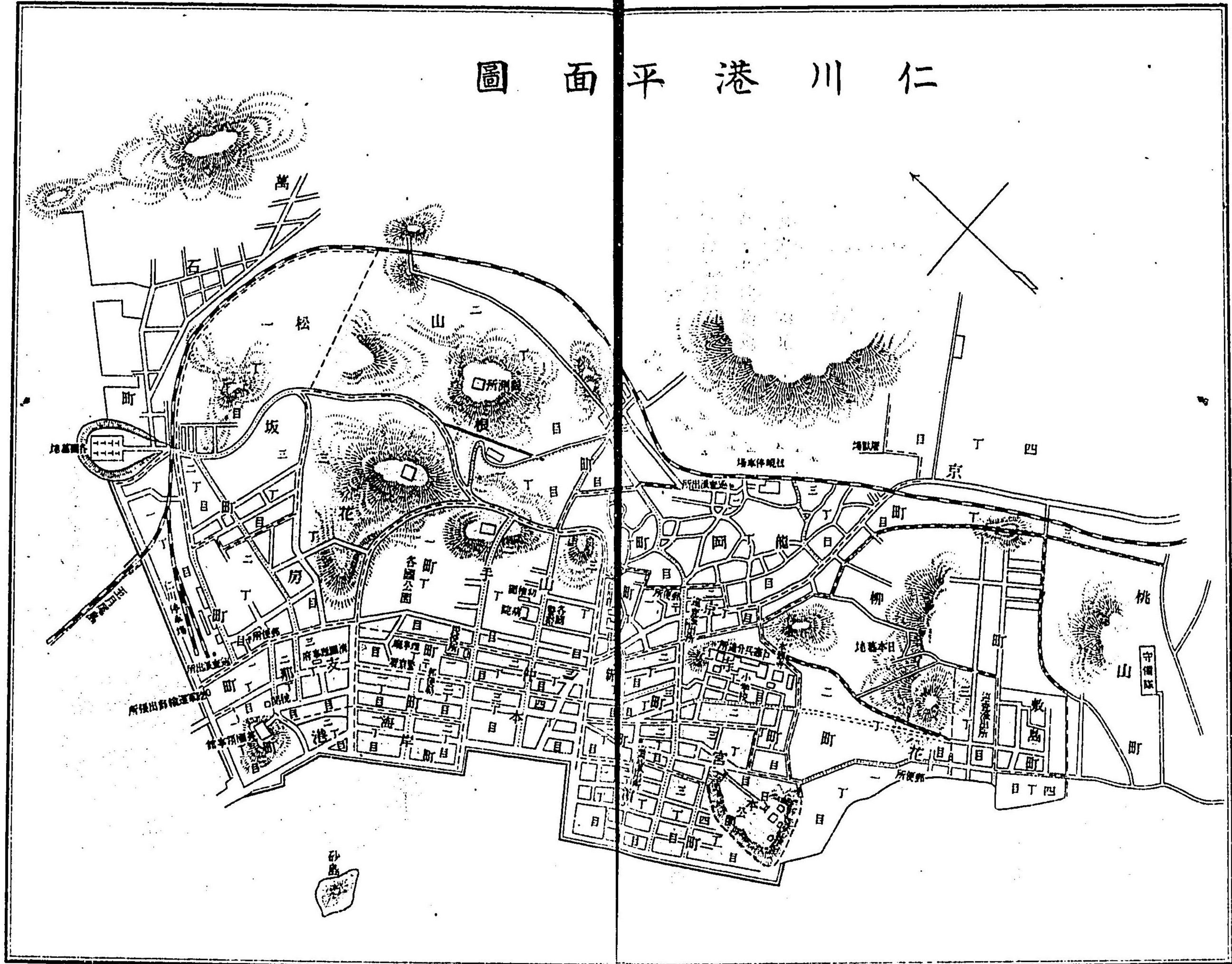
此地元と濟物浦と稱する一小漁村なりしが明治十六年開港以來漸次繁盛に趣き殊に明治二十七八年及三十七八年戰勝の結果として非常の進歩を來たし今や韓國唯一の貿易港となり日本居留民約一萬三千其貿易額の如き一千五百萬圓に達せり

市街の趨勢は西端清國居留地に起り東北延びて日本居留地各國居留地租界地外商家連簷櫛比し西北新各國居留地以西萬石洞方面は日を逐ふて家屋の建築多きを加へ當港の商權は全く我同胞の手に歸せるものと云ふべし

○勝地

日本公園 居留地の東方宮町に在り大神宮琴比羅神社天滿宮を祀れる祠あり其他繪馬堂忠魂碑(二十七八年戰役の忠死者を祀る)等あり南方海に面し風景絶佳樹木繁茂綠翠滴るが如し盛夏中秋の候一日の勞を慰せんば欲して杖を當園に曳くもの多し夫れ月夜遠く眺むれば玲瓏

仁川港平面圖



萬里海上の風色一段の趣

味あり

月尾島 仁川港灣内に在り

周圍一里餘、民家四十餘戸

明治十五年の變、我花房公

使難を此島に避け、渴に苦

む、偶々岩下に湧出する清

水を得て渴を慰するを得

たり、世之れを傳へて花房

水に云ふ、島中杏花多く春

季探勝の客を絶たず

本島と三丁を距て、相對するものを小

月尾島となし、築堤を設け、線路を布設せ

り、落潮の際徒歩し得べく、島に燈臺の設



近附島車停同 港内川仁ルヶ於ニ期水緒

けあり、三十七年二月露艦「ワリヤーク」及び「コレット」の擱沈したるは其の附近なり、小月尾島は日露の役軍需品の揚陸地たりしを以て仁川驛より大月尾島まで橋梁を架し橋上には人道の外軌條を敷設し以つて海陸運輸の企劃をなせり此の橋を月尾橋と云ひ延長四百八十間あり

永宗島 江華島の第一門にして漁家凡參百餘あり、明治九年徳川幕府瓦解の當時雲揚艦の砲撃したる所島中奇景多く棲島に富む

江華島 仁川より約三里漢江の海に注ぐ處に横はる大島にして、明治四十年八月韓國暴徒蜂起し之れが鎮撫に向ひたる我兵士及警察官數名の斃れたるも亦本島とす、周圍三十餘里實に韓國三大島の一なり(州二濟)

巨濟 懸崖絶壁削るが如く要塞砲臺相連なり、巖然漢江の要鎮たり、島内雌宮あり、武庫あり、島中甚奇勝に富む、草芝鎮波月橋、蓉花村、鎮海門、文珠山等最も名あり、試に漁船に投じて漢江を溯らんか、江華の山頂遙に一大城樓の樹間に隱見するを見る、鼎足山城即ち是れなり、草芝鎮の上流約一里にして暗礁林立、潮流旋渦奔飛、崖上の砲臺蜂集の如きを見る



之れ江華島第一の嶮と稱す兩岸怪岩奇石相抱擁し、氣骨峭料巖邊蕭疎

の茅屋山下洒々の草屋驢馬の剛畔を馳驅

仁川港 (一其 二其 三其)

する狀 宛然一 幅の活 畫たり 鼎足山 島の中 尖に屹 立し山 頂城塞 あり要 害堅固

なる天險にして往昔國王の避難所たり一に三郎城と稱し城壁九千尺
 樹木鬱蒼として晝猶暗く一條の溪流は潺々として城外に走れり蓋し
 得難き勝地なり
 仁川八景

- △鼎足の山
- △瓦釜丘の月
- △月尾島の花
- △沙尾島の夕照
- △漢江の水
- △華島の霞
- △八尾島の朝霞
- △華開洞夜色

○官衙、會社、學校、病院

- 日本理事廳
- 日本商業會議所
- 公立避病院
- 清國理事廳
- 仁川税關
- 韓國仁川府
- 日本居留民團役所
- 公立仁川病院
- 陸軍運輸部支部
- 仁川郵便電信局
- 仁川守備隊
- 清國巡捕廳

- 各國警察署
- 統監府觀測所
- 仁川尋常高等小學校
- 朝鮮日日新聞社
- 朝鮮新報社
- 第十八銀行仁川支店
- 仁川電氣株式會社
- 大阪商船株式會社仁川支店
- 松商石油仁川組合
- 仁川運送組合
- 三井物産合資會社仁川出張所
- 仁川港精米販賣組合
- 仁川共同魚市場組合
- 日英貿易合資會社
- 佐藤病院
- 日本警察署
- 韓國水道局仁川工務所
- 仁川幼稚園
- 朝鮮タイムス社
- 第一銀行仁川支店
- 第五十八銀行仁川支店
- 日本郵船株式會社仁川支店
- 日韓貿易株式會社
- 仁川水産株式會社
- 宅合名會社仁川支店
- 仁川穀物協會
- 仁川屠獸場組合
- 合名會社秋田商會
- 小倉病院
- 高木病院

△神社佛閣

- △天照皇大神宮
- 天滿宮
- △琴比羅宮
- △大谷本派本願寺別院
- △日蓮宗妙覺寺
- △眞言宗高野山教會所
- 旅館 稻川旅館 旭風旅館 原金旅館 竹原旅館 白石旅館 林旅館
- 料理店 八阪樓 鱗樓 一山樓 淺岡樓 一富士樓 仁川俱樂部ホテル

洛 東 江

(從三湊津一哩四五鎮)

慶尙南道密陽郡三浪洞の江岸にあり、日本人口二百五十韓人口三千を有す。此地軍用鐵道時代に在つては木橋を架し僅かに通過することを得たり。鐵道橋架設後一層の風致を添へ滔々たる江水は延ひて遠望數里に亘り其間點々たる韓船の浮遊する狀眞に景勝の地たり。

洛東江鐵道橋梁 驛を距る數丁にあり延長一八二九呎
馬沙鐵道 洛東江連水間にあり延長一〇六〇呎

○官衙

○日本單級小學校

進 永 驛

(從三湊津一〇哩七鎮)

慶尙南道金海郡下界面あり、此地元と廣漠たる荒地たりしも鐵道開通以來頗る繁盛を極め本邦人の移住するもの多く今や人口百五十の多きに至り盛んに農事經營に勉めつゝあり

村井農場事務所 驛を距る一丁餘にありて村井吉兵衛氏經營に係る現今殆んど三千町の地積を有し、農夫の數日本人百韓人四百を有す。該農場の重なる産物は米、麥、大豆等にして漸次發展の域に達しつゝあり、殊に洛東江水の氾濫を防ぐため延長二里に亘る巨大なる堤防を築きたり、就中注川々上に設けたる閘門の如きは其費用五万圓を投じた

る設計にして馬山線中日本の新名所たり

○官衙

○郡衙

○財務分署

○郵便取扱所

○韓國普通學校

○警察駐在所

○憲兵分遣所

○日本小學校

●旅館 進永旅館 城野旅館

昌原驛

(從三浪津一九哩三八轉)

慶尙南道昌原府西面召界洞にあり四面遠く山を以て圍み其間廣寬たる田野にして古名を義安、義昌、檜山、檜原、遠珠と云ふ、土地膏腴にして世に廣く賞揚せられたる昌原米の産地なり
近世神阪の市場に於て馬米と稱し韓國中第一位を占むるもの即ち此地の産に屬せり、陰曆毎月二七の日を以て開市し取引最も盛んなり

○勝地

近△珠△城△趾△ 驛の西方約十八丁内西面にあり三百年前の築造に係り衙門を置き兵丁を集めし所なり

孔△子△廟△(大成殿) 驛の東方二十丁昌原城外に在り、開國五百年前の建設に係り孔子を祭る、正堂内に新安の朱

熹明倫堂と書せし扁額あり

嶺△峰△ 驛の南方約四里熊川郡の境に

あり、山頂の巖石甍に似たるを以つて此名あり、傳へ云ふ新羅王朝の時對馬の島守來遊の事あり、王女來遊の島守に懸想し、其戀の成らざるより遂に病を得て死すと、死に臨み遺言して曰く妾死せば山頂對島を望



見し得る所に墓所を撰むべしと、是れを以つて王女を祭りしものなりと云ふ

○官術學校、會社

○財務課

○郵便局

○私立并進學校

○金融株式會社

○馬山警察署、昌原駐在所

○昌原地方金融組合

○昌原在留日本人會

●旅館、料理店

昌原樓(料理、乘務) 馬山樓(料理店)

馬山驛

(三四哩七九哩) (馬山驛站點)

馬山は慶尙南道中部の南邊にありて我對州を相距る約七十五哩下關より約百六十哩の北西に在り、鎮海灣口の巨濟島を以て外海の激浪を避けたる良好の馬山灣を構成す、水深く優に一萬噸以上の大艦巨舶を碇泊せしむるに足り、各國居留地は馬山灣の西南岸に沿ふて南北に連り、人家稠

密楡比し艦船の輻輳常に絶ゆることなく、商業も頗る殷盛にして殊に氣候温和風光明媚水清く波穏かにして恰も湖水の如く韓國唯一の避暑避寒の好適地とす

舊馬山は元來雜居にして各國居留地を距ること約二十丁昌原街道に在り、人家稠密海濱に沿ふて商賈齎を並らべ船舶貨物の輻輳殷賑を極む而して今や馬山晉州間に於ける道路開鑿中なりと云ふ

▲鎮海灣 海上三里航程約二時間とす、毎日馬山より鎮海灣を経て釜山に航海する汽船ありて旅客貨物の運搬をなす

▲馬山に於ける重なる輸出入品

輸出 大豆 麥 生牛 銅礦 魚類 麻布 牛皮 荏子 小豆 其他

輸入 金布 木綿 紡績糸 繩、帆 煉瓦 衣服 染粉 燐寸 石油 酒、食鹽 砂糖 木材 陶器 煙草 絹反物 其他

○勝地

月影臺 驛を距る約四丁に在り

今を去る三百年前雀某なる官
吏の居住せし遺跡にして樹木
鬱蒼夏季納涼に適し月夜の眺
望最も佳なり土人稱して月影
臺と云ふ

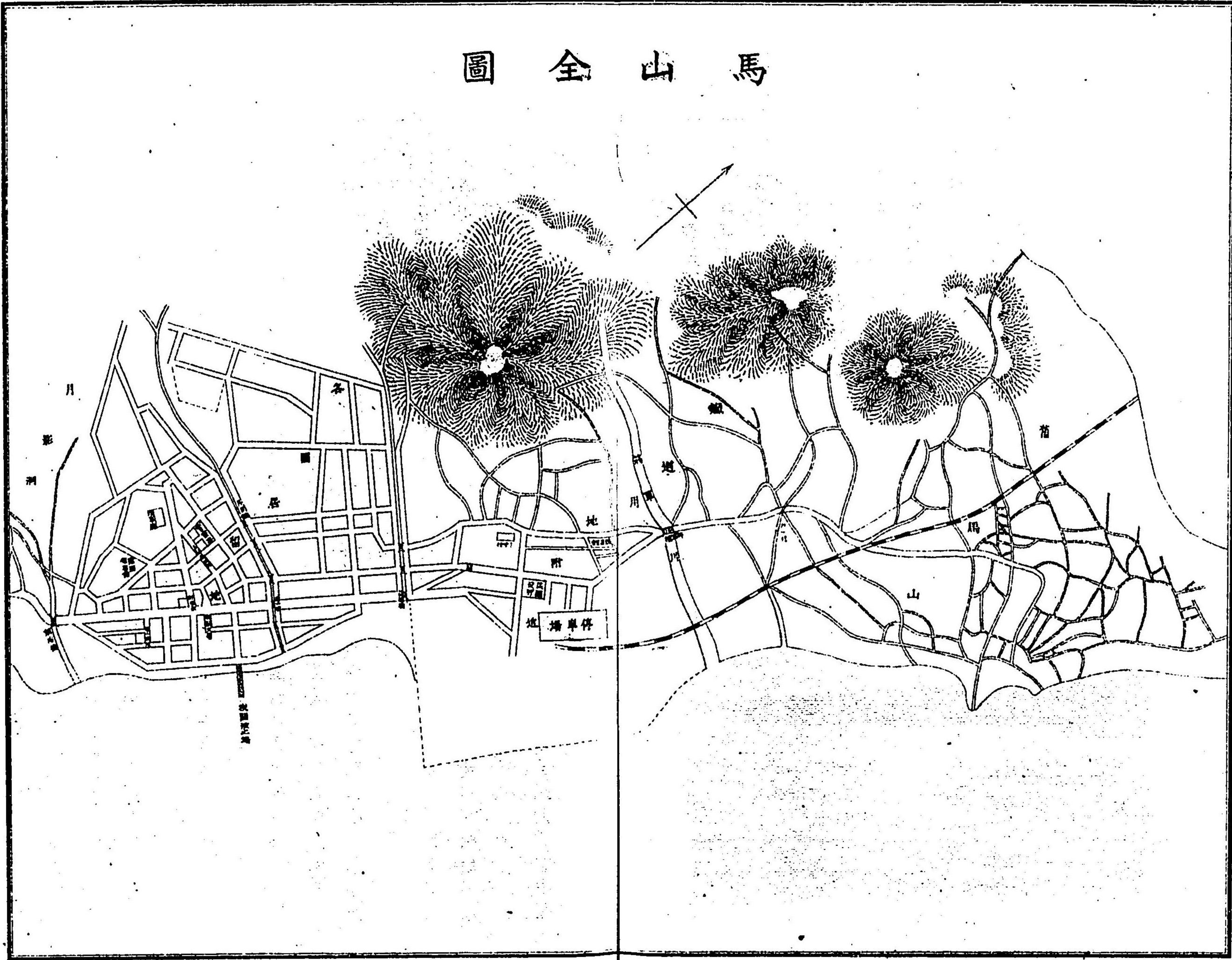
猪島 驛を距る二十八丁馬山灣
内に在る小島にして此島に至
れば露國專管居留地新舊馬山
は一眸の内におり頗る景勝の
地たり

近衛丘 日本專管居留地の一角
に在り明治三十四年近衛公爵
其勝地なるを稱し別荘を撰定



馬山市街一都

馬山全圖



せしことわり后子爵岡部長職氏來遊の際公符の往遊を追懐し霞山公
遺志の地たる標木を建立す

匡山寺 驛を距る西北約二里匡廬山の中腹にあり土地極めて幽邃樹木
蒼翠夏日の避暑に適せり春夏種々の草花多く晝水雞の聲を聞くと云
ふ幽韻雅趣の淨地たり

龜山鎮 驛より南方一里半にあり此地五拾年前迄は水軍に屬し八僉使
なるものゝ鎮術たりしと云ふ附近一帶に躑躅多く冬は狩獵に適す

加助嶋 驛より海上十三裡此島の位置は鎮海灣内に存する一島にして
巨濟島に隣接す文祿の役我水軍の假泊所なりと云ふ

熊寺 驛の東方三里餘昌原郡泉善洞の山中にあり土地幽邃風景掬すべ
き勝地なり

仙人窟 驛より海上六裡徳山洞の山頂にあり我海軍軍港境域内に屬す
此窟内に仙人と云ふ韓人住し居れり風雨其他の天變を察し里人を驚
かすと云ふ同窟は人工を以つて造成したるも一見天然窟の如し海を

抜く一千尺一眸巨濟島加徳島見下し水天彷彿の間に我對州を望むを得べし

馬山城趾 驛より東北一里昌原郡古口洞の北にあり文祿の役我第四軍

の將島津義弘の築きし城塞なりと云ふ

蒙古井戸 驛より約十丁新馬山と舊馬山との中間道路の傍にあり弘安

年間忽必烈なるもの我日本を襲ふの時當馬山灣に於て軍船軍人の準備を爲すにあたり鑿井せしを以て蒙古井の稱あり現今里人此井水を用ゆ

○官衙、會社

○理事廳

○税關

○郵便電信局

○尋常高等小學校

○舊馬山監理署

○馬山水産會社

○日本居留民團役所

○警察署

○電話取扱所

○馬山病院

○乾魚倉庫

○馬山穀物株式會社

○第一銀行出張所

○韓國拓植株式會社支店

○石油商組合

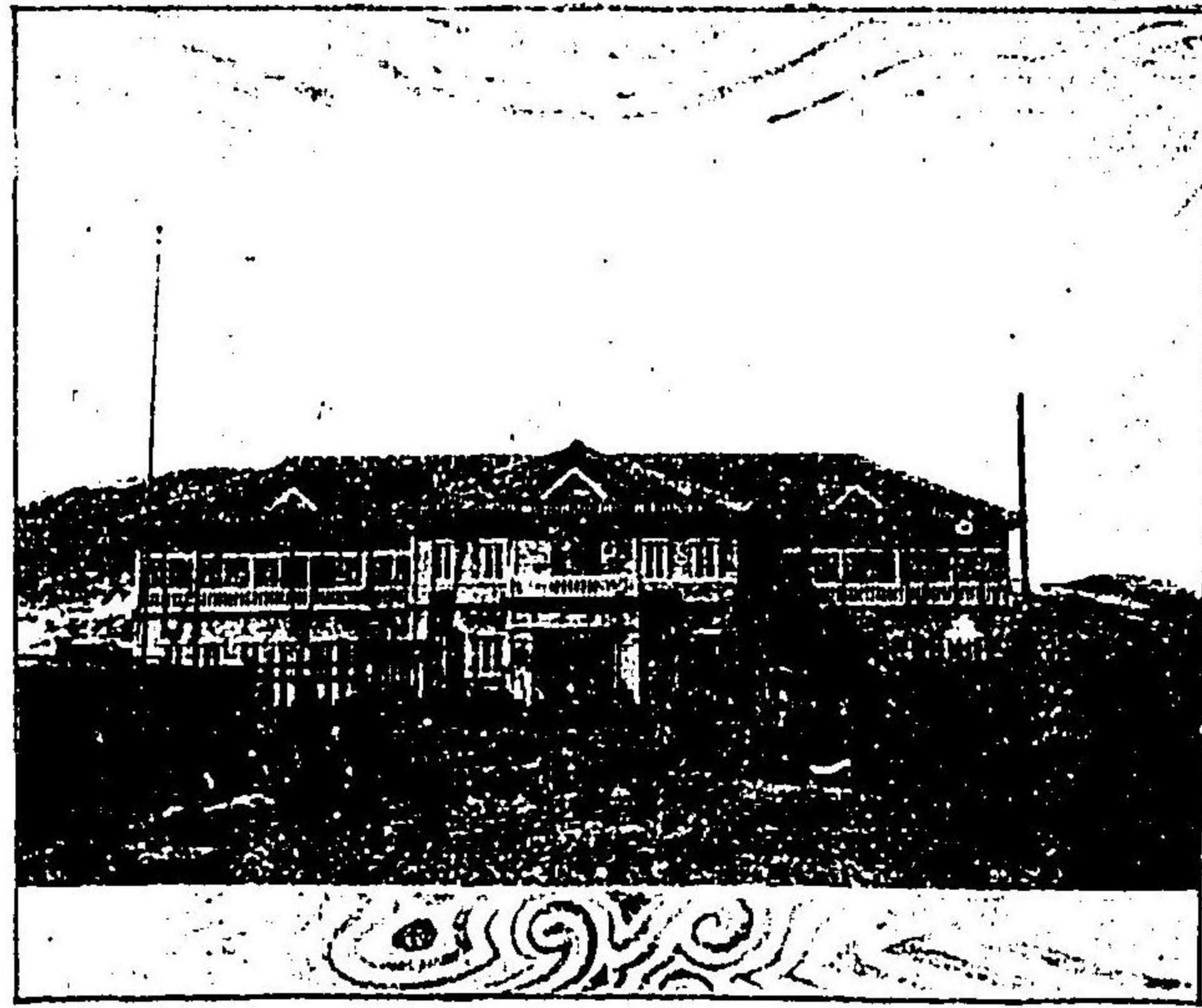
○晋州農工銀行出張所

○雜貨商組合

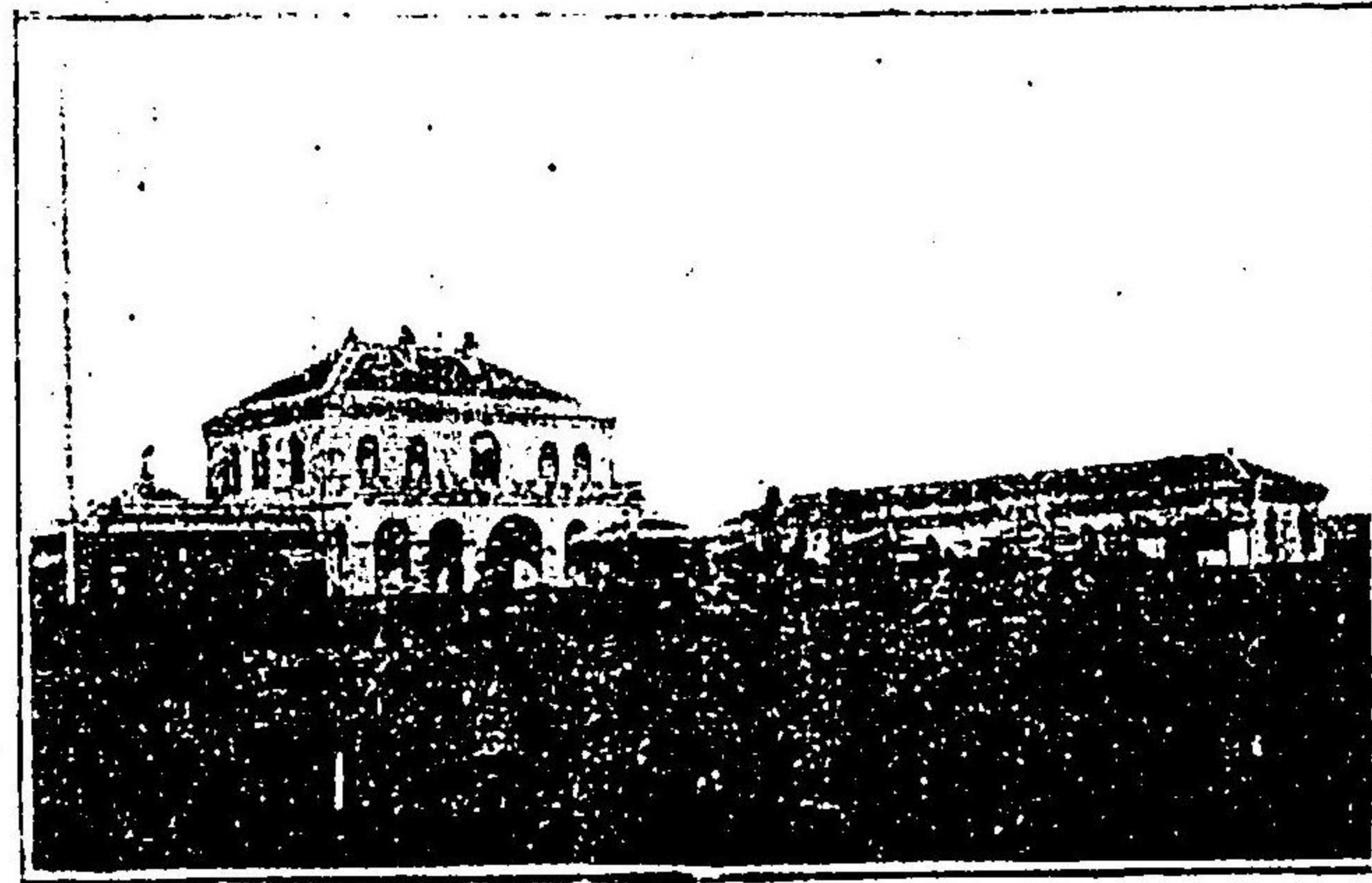
●旅館 吉川旅館 大功旅館 堀江旅館 望月旅館 石見屋旅館 藤岡旅館

●料理店 望月樓 勝川樓 いろは亭 山水亭 吾妻樓 北窗樓

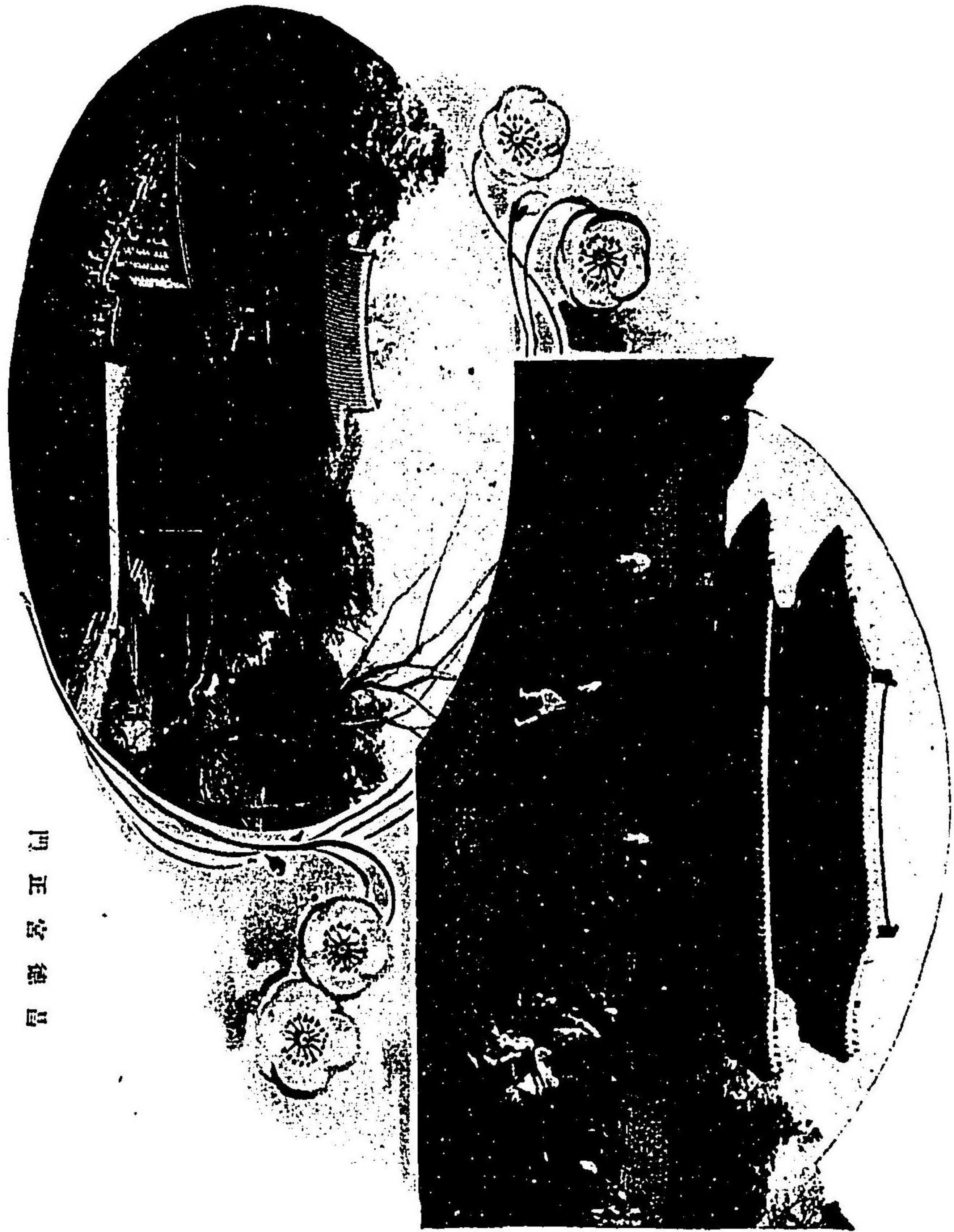




安東縣木材廠

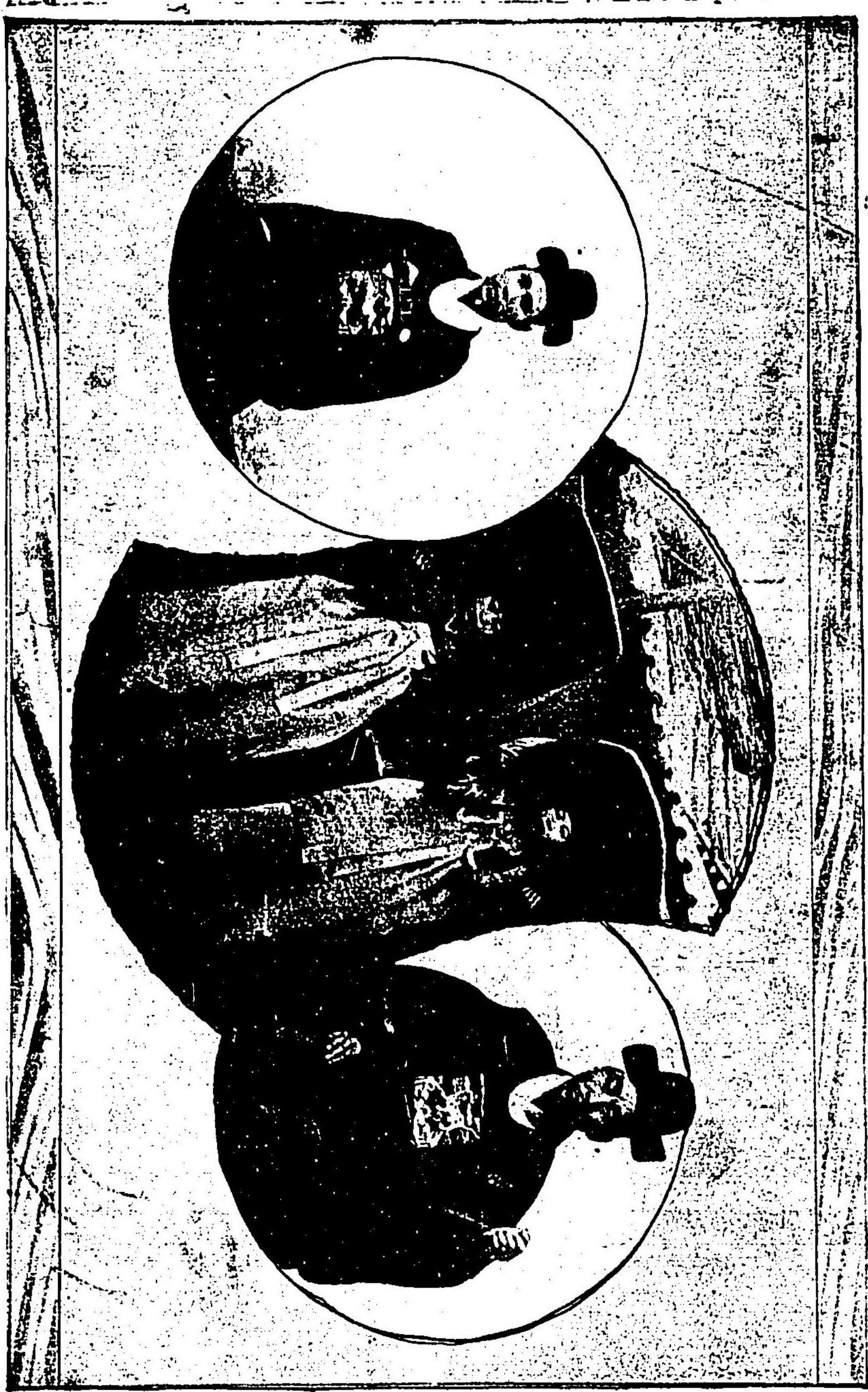


安東縣理事廳



樓合街圖處同

門正客德昌



(管文)班爾

俗風出外生拉環平

(管武)班爾

京畿道北畧延禧坊にあり、小丘起伏の地にして東方遙に漢江の流れを見るべし

水色

驛

(從龍山六哩四鎮)

○勝地

蘭芝島 驛を距る約一里漢江中にあり、周圍約二里風景絶佳夏季納涼に

適す

城山里川鐵道橋梁	龍山驛を距る二哩二〇呎にあり延長三〇〇呎
中里洞川鐵道橋梁	龍山驛を距る五哩二〇鎮にあり延長一四〇呎
加羅山川鐵道橋梁	驛を距る二哩六〇鎮にあり延長一二〇呎

一 山驛

(從龍山一六哩一九鎮)

高陽郡中面に在り、地勢西南平坦にして水田沼澤多く東北山丘起伏し沃

野豊稷の地たり

○勝地

高峯山城 驛を距る東北十餘町附近唯一の高山にして高麗朝崇禎三年の築造に係り文祿慶長の役加藤清正の攻落せし所なりと云ふ今や頽廢殘礎あるのみ山腹より絶頂に至る坂路頗る峻惡歩行困難を極む昔時は難攻不落の稱ありとか山腹に萬景寺あり今尚ほ瀝然として存す毎年陰曆三月九月の二期之れが祭典を行ふ又城の東北に面し百尺の老松枝を交へ樽芥として繁茂す若し夫れ山嶺に登り四顧すれば東は活山の青嶺を一時の中に收め西北は一望千里の瀾野にして漢江の下流は其南を流れ河舟の往來頻繁にして宛然水禽の浮泳するが如く天然の勝景愛すべきものあり

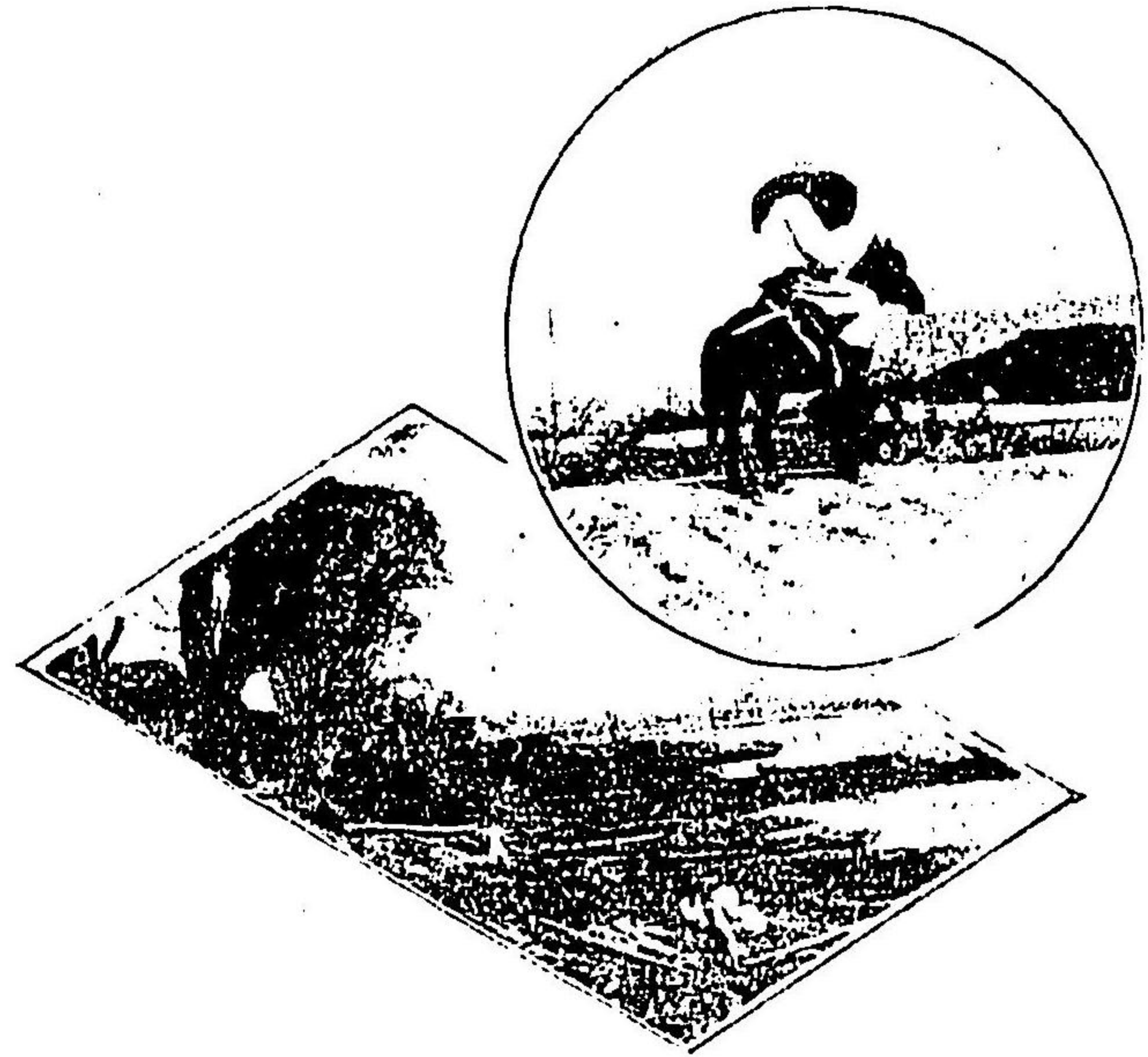
金城里川鐵道橋梁 驛を距る五哩にあり延長一八〇呎
 絃岩里川鐵道橋梁 驛を距る一〇哩一〇呎にあり延長一〇〇呎

汶山驛 (從熊山二九哩三〇呎)

坡州郡七井里に在り附近一帶の地原野にして土地肥沃農産豐饒たり臨津江に通ずる汶山浦ありて舟楫の便あり仁川方面との取引稍々盛んなり

○勝地

太平山寺 驛を距る東南約三里にあり僧侶六十名居住す此附近に於ける巨利なり毎年陰曆一



人騎馬乘

月、八月中旬には参詣者多数あり
 坡州郡大德里 驛の東北約三十丁にあり、故大院君及全妃の墓地にして
 本年一月龍山孔德里より柩を此地に移されたり、附近一帯小丘にして
 春秋共に花草多く、綾羅錦繡の如し、本朝千古の怪傑大院君は實に此地
 に眠り、英魂永へに還らず、羈縻千歲空悠悠たるの感あり、京城及開城方
 面より古英雄を訪ふもの多し

汝山隧道 驛を距る登哩六〇鎖にあり、延長七五九呎

臨津江驛 (從龍山三三哩四一鎖)

坡州郡馬井里臨津江岸に在り、臨津江鐵道橋梁は延長一七八六呎、本線中
 唯一の長橋にして、明治四十年九月以來、之れが架換工事中なるを以て、該
 工事に關して來往する旅客及荷物輸送の便に供する爲め、假りに此地に
 停車場を置き、工事完成後は之を廢止するの豫定なり

○勝

臨津鎮 臨津江の左岸にあり、壬辰の役、明將李如松の大兵を喪ひし所に
 して、二十七八年日清役には日本軍の渡河点となり、三十七八年役にも
 亦日本軍の兵站地となれり

臨津江 韓國に於ける大河の一にして、潮汐の差甚だしく、十五呎以上に
 至ると云ふ、其潮水の平なるに當りては、山水相映じ、風光明媚なるも、朔
 風寇雪を飛ばし、流水橋柱を嚼むの、凄況は人をして戰慄せしむるもの
 あり、鐵道架橋竣成の上は、江をして一層の彩飾を與ふるものと云ふべ
 し、殊に夏季清遊の好適地とす

臨津江鐵道假橋梁 驛を距る四〇鎖にあり、延長一六〇四呎

長湍驛 (從龍山三六哩五七鎖)

長湍郡中西面に在り、土地肥沃、廣奕たる田野にして、韓國有名なる大豆の
 産出地なり

○勝地

徳積山トクツキ俗に徳物山と稱す。驛の西方二里にあり峻嶮なる高嶺にして山頂に廟あり高麗の宰相崔榮將軍の畫像を安置す世俗の崇拜高く山頂に四十餘の人家あり主として參拜者の爲めに斡旋す山頂より四方を一望せば鳥白山は遠く雲表に聳へ漢江臨津江龍津江の三大河は眼前にて相合し河口に孤立せる江華島は池の島に等しく蜿蜒たる鐵道線路は足下に蟠り轟々として疾驅する流車は恰も猛虎の嘯くに似たり

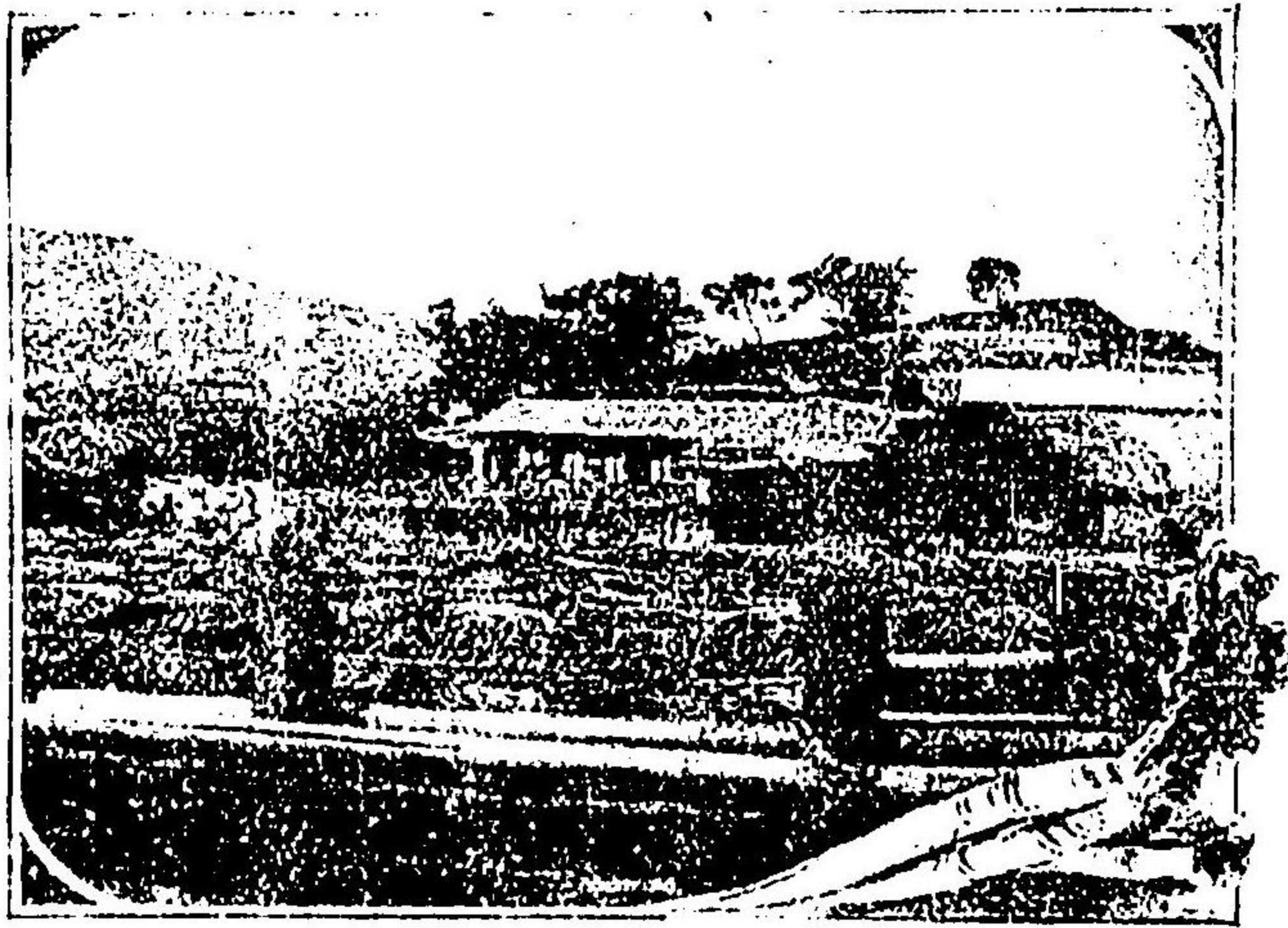
馬尾川鐵道橋ウシノカワテツ 驛を距る一哩一〇銀にあり延長八三四呎

開城 (從龍山四六哩四六銀)

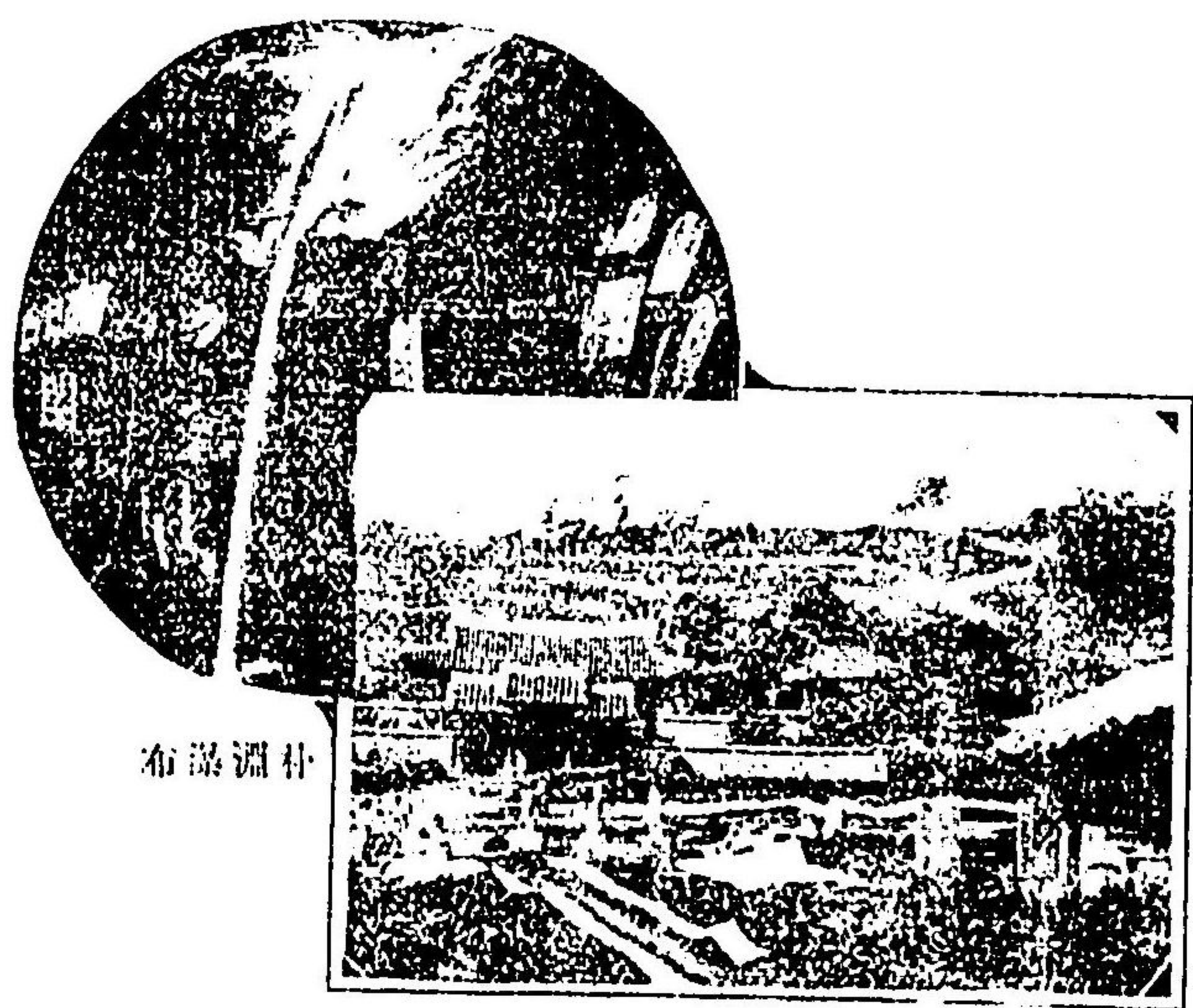
開城郡に在り一に松都と云ふ繞らずに城壁を以てし往昔高麗朝の帝都たり府尹在治の地なりしも光武十年(我明治四十年)地方官制改正の際府を改めて郡となし現に郡守を置く日露戰役の際兵站線路の樞區となり兵站司令部を置き軍政を布けり今や舊時の繁榮偉觀を存せずと雖も尙

韓國に於ける主要都會の一たるを失はず日本人戸數三百人口千三百韓人戸數七千人口三萬を有す蓋し京城平壤間に於ける大都會たり

高麗燒は高麗時代の産物にして現今全く其跡を絶ちしも當地に於ては稀れに之れを發見するごとあり人蔘も亦此地の特産にして之れを蒸して紅蔘となし年々清國に輸出するもの其額百萬乃至百五十萬圓に上ると云ふ韓國主要の産物にして宮内府蔘政課に於て之れを管理す附近の畑中



八藝製所



朴淵瀑布

善竹橋

低き柴垣を焼らし覆ふに苦筵の類を以てせるもの即ち人蔘なり

○勝地

朴淵瀑布一名山城瀑布 開城を距る北方三里餘朴淵里に在り韓國有名の勝地にして瀑布は絶壁に懸り垂下五十尺夏尙寒し附近に山寺ありて宿泊するを得べし行路難峻なるを以て漸く轎又は馬をして通さるを得るも却て徒歩の自由なるに如かず開城在留外國人の如きは夏期此

開城停車場附近市街圖

